LIXIL
INAX

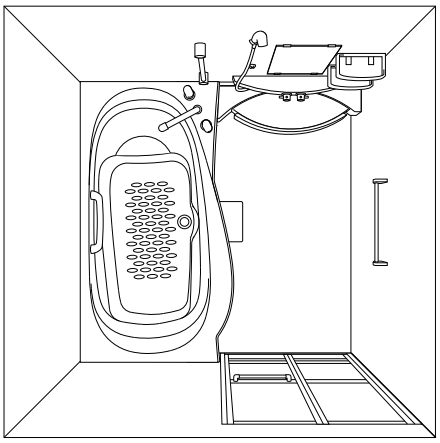
保証書付

システムバスルーム
PCX

※対象品番は、表紙の裏ページを参照して品番をご確認ください。

取扱説明書

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
このシステムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。



この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ この取扱説明書と水栓、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。
※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。

取付業者の皆様へ
この取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

対象品番の見方

■対象品番の見方

BFD - 1620LBUH2
❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼

❶BF=PCXシリーズ

❷D=1階用、F=階上用

❸ユニットサイズ　1216
1616
1620
1217
1717
1721
1618
1818

❹壁パネル　T：タイルパネル
L：Lパネル

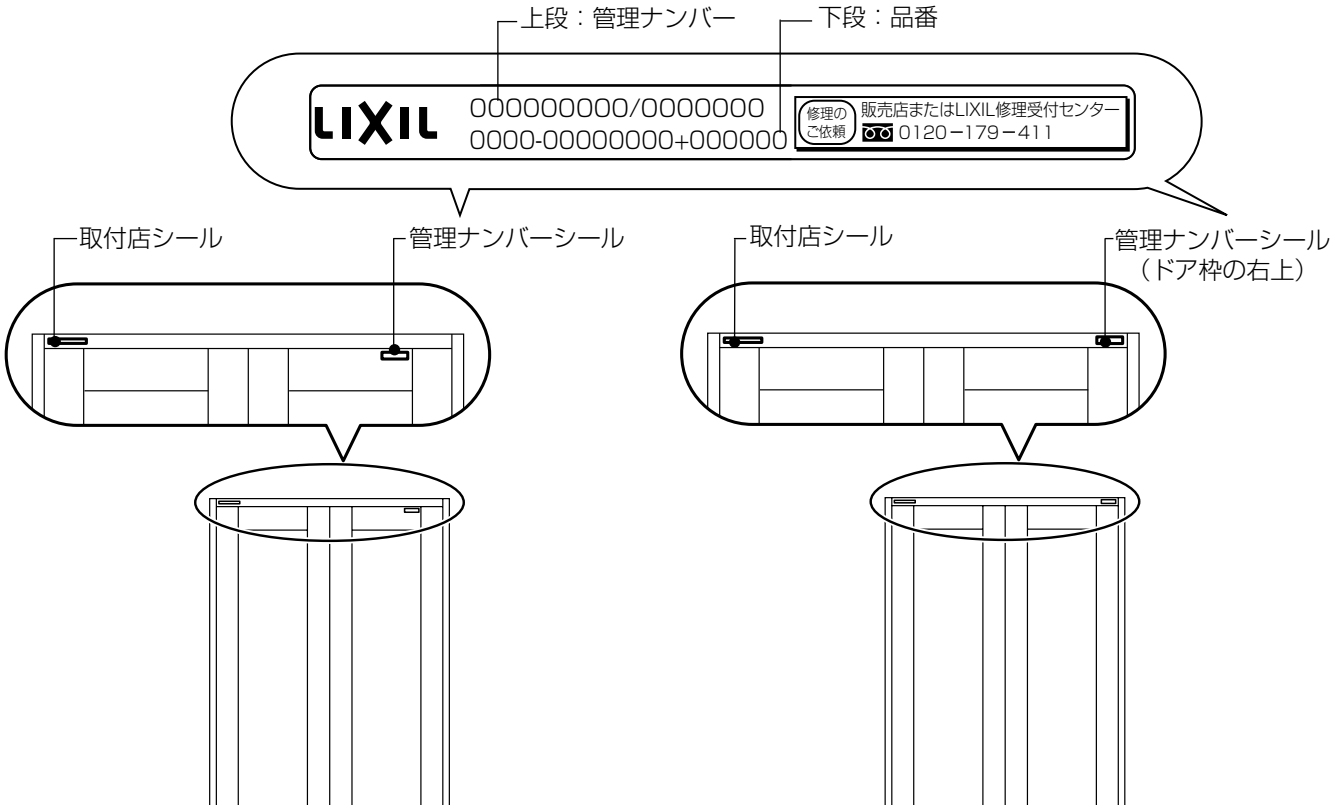
❺床仕様B

❻タイプ　UX、UH、UL　=Uタイプ
SX、SH、SL　=Sタイプ
DH、DL　=Dタイプ
EH、EL　=Eタイプ

❼1620サイズのみ
2 =オーバル浴槽、
スタンダード浴槽
なし=ワイド浴槽

■品番を調べるには

浴室内側ドア右側上部に張ってある管理ナンバーシールで管理ナンバーと品番をご確認の上、お問い合わせください。



〈ハイドーム天井・ドームアップ天井の場合〉　〈平天井の場合〉

もくじ

各部のなまえ ……1

専用の取扱説明書について ……2

安全上のご注意 ……3

さあ、お風呂に入りましょう ……6

故障をおこさないためにお守りください ……7

ご使用方法 ……8

- 浴槽にお湯をためる ……8
- 洗い場でお湯を使う……14
- ドアを開閉する……21
- 器具を使う……30

お手入れ方法……41

- お手入れについて……41
- 浴槽まわりのお手入れ……46
- 壁・床・天井のお手入れ……49
- 鏡のお手入れ……63
- アクセサリー類のお手入れ……64
- 水栓のお手入れ……67
- ドアのお手入れ……75
- 照明のお手入れ……79
- 換気扇・暖房機のお手入れ……83
- メンテナンス時の点検口の取外し……87

故障かな？と思ったら……89

交換部品のご案内……92

アフターサービスについて……96

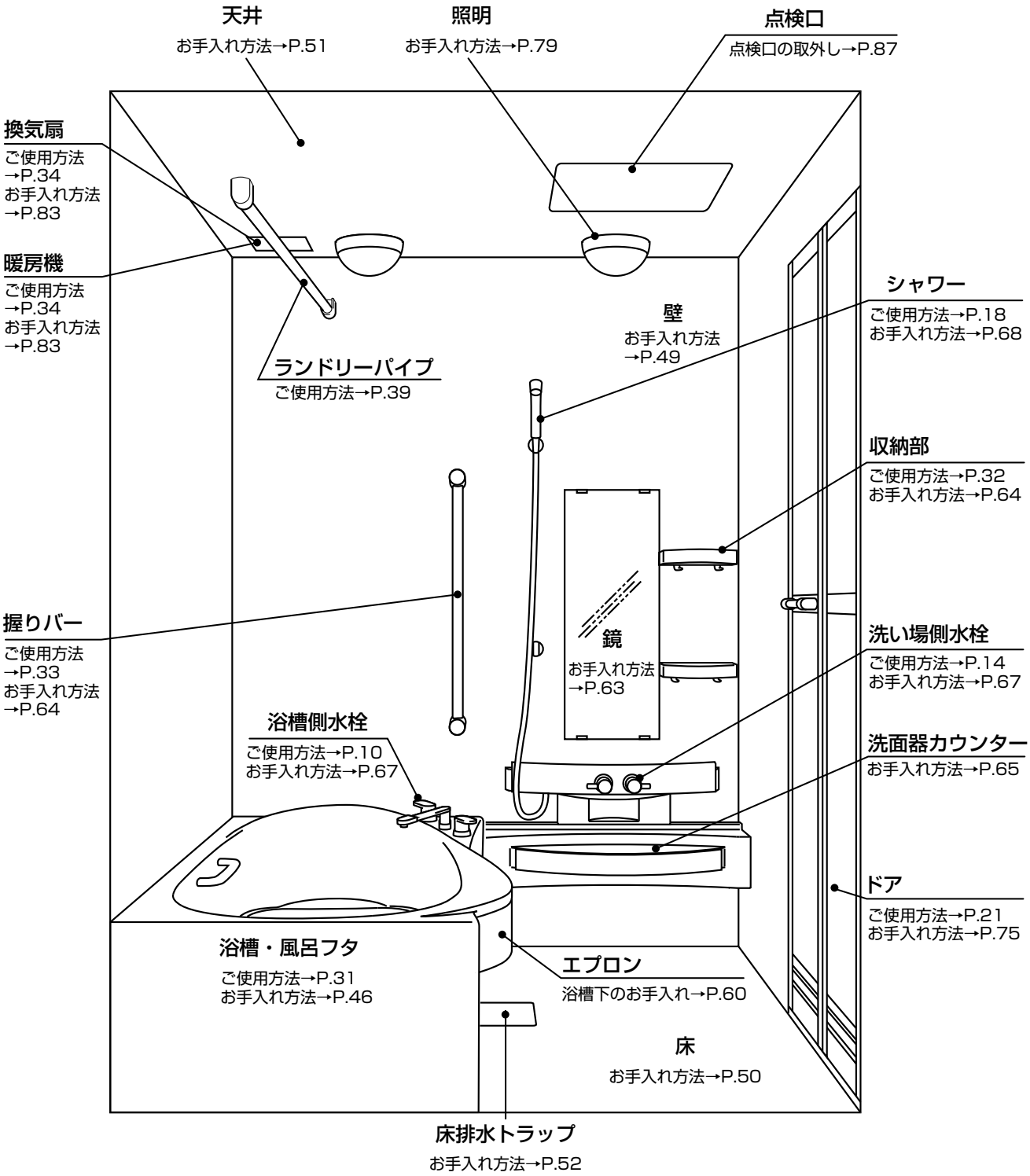
浴槽のサイズ・容量について……98

保証書 ……100

各部のなまえ

■各部のなまえと、その説明ページをあらわしています。

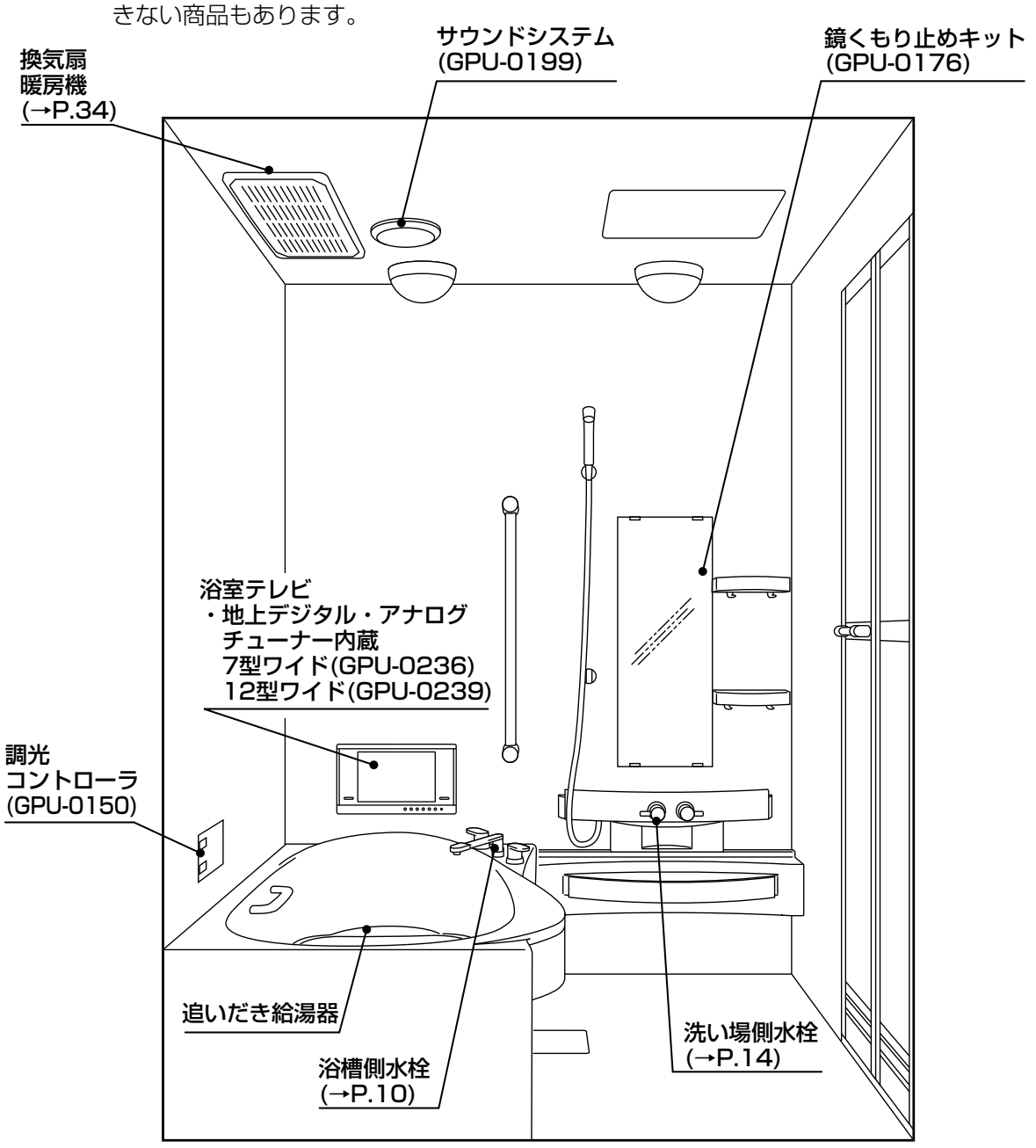
※ この図は、各商品の組み合わせの一例です。組み合わせが異なったり付属しない商品もあります。

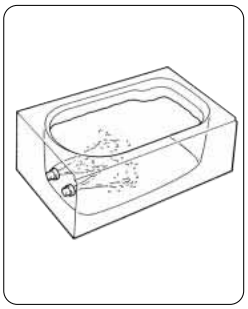


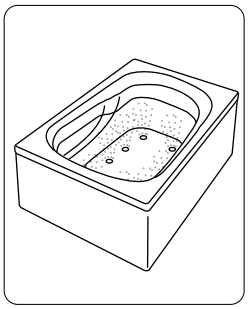
専用の取扱説明書について

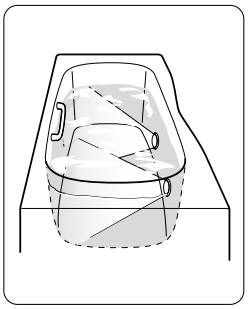
■以下の商品の使用方法については、各商品付属の「取扱説明書」をご覧ください。

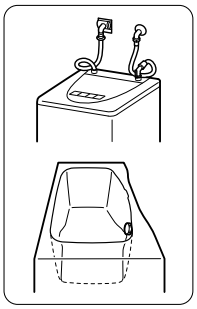
※（　　）内の品番は、各商品付属の取扱説明書品番、または取扱説明書品番掲載ページを示します。
※ 誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
※ この図は、各商品付属の取扱説明書の一覧を表しています。組み合わせが異なったり、組み合わせできない商品もあります。

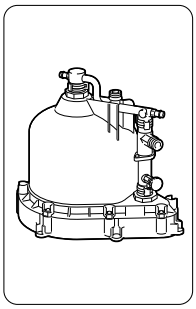



アクアジェット
(GPU-0174)


あわリズム
(GPU-0093)


ヒーリングライトⅡ
(GPU-0151)


洗濯用ふろ水利用システム
(GPU-0156)


即湯システム
(GPU-0112)

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※ 水栓、換気扇、アクアジェット等の専用取扱説明書が商品に付属である場合は、専用取扱説明書および本体表示に従ってお使いください。
※ 本体表示（ラベル）は、はがさないでください。

■表示マークについて

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告 **「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」**

⚠注意 **「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」**

■絵表示について

●お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

「分解してはいけません！」

「指示した場所に触れてはいけません！」

「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

●分解・修理・改造をしない

分解・修理・改造はしないでください。
※ **感電や故障する恐れ**があります。

●風呂フタ

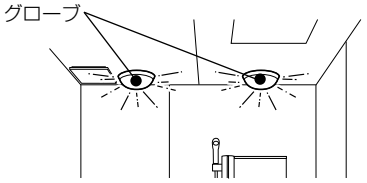
風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。
※ フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

●水栓や換気扇等の取扱い

水栓や換気扇等は、それぞれの商品に付属の取扱説明書および本体表示に従ってお使いください。
※ 誤った使い方をすると、**ヤケドや感電・ケガや故障の恐れ**があります。

●照明や換気扇

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。
※ **火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをする恐れ**があります。



照明器具にタオル等をかけないでください。
※ **過熱して火災になる恐れ**があります。

照明器具のランプ交換や換気扇等のお手入れをする場合は、必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。
※ **感電やケガをする恐れ**があります。

●アクアジェット

- 安全カバーやフィルターが外れたり破損したままで使用しないでください。
- 使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
- 浴槽内にもぐらないでください。
- お子さまだけで、入浴中の場合は運転させないでください。

※ 髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

●浴槽へのお湯張り

浴槽排水栓は、しっかりと閉まっていることを確認してください。
お掃除等で排水コアを取り外した時は正しくはめ込んでください。（P.47参照）
また、追いだき機器をご使用の場合、水を循環口より10cm以上入れてください。
※ 追いだき機器をご使用の場合排水栓のはめ込みが不十分ですと、湯が抜けて空だきによる**火災や機器が故障する原因**となります。

●幼児や身体の不自由な方の入浴

幼児や身体の不自由な方だけで入浴させないでください。
※ **おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

●幼児だけで遊ばせない

浴室内で幼児だけで遊ばせないでください。
※ **おぼれたり、ケガやヤケドをする恐れ**があります。

⚠ 注意

●ケガ・ヤケド

換気扇や暖房機運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※ **感電やケガ・故障の恐れ**があります。

浴槽に飛び降りる等、無理な力を加えないでください。
※ 浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する恐れ**があります。

鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※ 急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをする恐れ**があります。

点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物等を置かないでください。
※ **火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをする恐れ**があります。

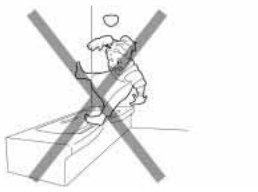
ものをぶつける等、**鏡や壁・照明カバー**への衝撃はお避けください。
※ 表面がキズついたり、割れて**ケガをする恐れ**があります。

シャワーヘッド・シャワーフックに無理な力を加えないでください。
※ 破損して**ケガをする恐れ**があります。

浴室内は石けん液や入浴剤等ですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※ 転んで**ケガをする恐れ**があります。

付属の**風呂フタ**以外をお使いになる場合は、風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお選びください。
※ フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

浴槽やカウンターの上に乗って、掃除や電球交換を行わないでください。
※ 不安定な作業になりますので、転倒して**ケガをする恐れ**があります。



スライドフック付握りバーをご使用の場合に、スライドフックを鏡や壁にぶつけたりしないでください。
※ スライドフックや壁がキズついたり、鏡が割れて**ケガをする恐れ**があります。

お手入れのときは必ずゴム手袋等で保護してください。
※ 突起部分やすき間等で**ケガをする恐れ**があります。

高い位置の**収納部**にガラス容器等割れやすいものは収納しないでください。
※ 誤って落下させますと割れて**ケガをする恐れ**があります。

点検口に無理な力や衝撃を加えないでください。
※ 点検口が割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

追いだき循環口に足をかけないでください。
※ 追いだき循環口が外れ、**転んでケガをしたり、ヤケドをする恐れ**があります。

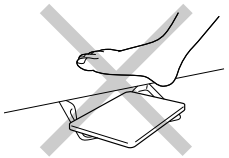
エプロンに無理な力や衝撃を加えないでください。
※ エプロンが割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 注意

●ケガ・ヤケド

目皿は正しく設置してご使用ください。また、目皿裏面のゴムを外して使用したり、目皿に体重をかけないでください。
※ 足を踏み外したり、すべって転び**ケガをする恐れ**があります。



●無理な力を加えないで

窓枠の上に植木ばち等の重いものを置いたり、窓枠に突っ張りブラインド等で押し広げる力を加えないでください。
※ **破損や漏水の原因**となります。

カウンターに乗ったりしないでください。
※ **破損や漏水する原因**となります。

収納棚に無理な力を加えないでください。
※ **破損しケガをする恐れ**があります。

●冬期凍結の恐れがある時期

冬期凍結の恐れがある時期（浴室内温度が零度以下へ低下）に長期間使用しない場合は、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、ヘアキャッチャーや防臭キャップまたは封水筒を外してから不要になったタオル等をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気があがってこないようにしてください。
※ トラップ内の水が凍結し、トラップが**破損、漏水する恐れ**があります。

●アクアジェットの使用について

次の方はアクアジェットを使用しないでください。妊産婦・心臓疾患のある方・高血圧の方・泥酔者・睡眠薬を服用している方・体力の衰えている方、持病のある方。
※ 身体に**異常を起こす恐れ**があります。

アクアジェットは15分以上使わないでください。
※ 心臓に**負担をかける恐れ**があります。

●自分で取り付けないで

器具の位置を変えたり、新しく取り付けるときは、必ず販売店等にご相談ください。
※ 誤った取付けをすると思わぬ**事故や漏水の恐れ**があります。

浴槽内握りバーや握りバーがグラついたり、固定がゆるんでいるときは、必ず販売店にご連絡ください。
※ そのまま使用されると**ケガや破損の恐れ**があります。

ご自分で壁に穴をあけて、**握りバーやタオル掛**等を取り付けないでください。
※ **漏水の原因**となります。

●溶剤、薬品に注意

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※ **漏水の原因**となります。

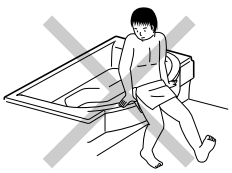
以下の水や入浴剤は使わないでください。
・水道水以外（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
・硫黄系、酸・アルカリ系の入浴剤
・溶剤、オイル、アルコールを含む入浴剤
・粉末でお湯に溶けにくい入浴剤
※ **浴槽・床・カウンター表面の変色やパッキン、目地材やゴム部品等を傷め、漏水の原因**となります。

固形、または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤を使ったり、近づけたりしないでください。
※ **金属やゴムが腐食、劣化して漏水の原因**となります。

化粧品、アロマオイル等の薬品が付着した場合は、すぐに水できれいに洗い流してください。
※ 付着したままの状態で放っておくと**漏水や変色、割れ等の原因**になります。

●ラウンドワイド浴槽の出入り

浴槽に出入りの際、浴槽の上縁面に立ったり、上縁面の中央部に座ったりしないでください。
※ 転倒して**ケガをする恐れ**があります。



●目地のキズに気をつけて

床・壁・天井・窓枠等の継目部分の目地材（または、コーキング材）をはぎ取ったり、キズつけないでください。
※ **漏水の原因**となります。

さあ、お風呂に入りましょう

入浴前

1 **給湯器でお湯の温度を設定する**

温度調節やその他のご使用方法については、給湯器の取扱説明書をお読みください。

ワンポイント

暖房機付きの場合、冬期などに暖房を使用するときは、入浴の30～60分前から暖房運転をしておくと、浴室全体が暖かくなります。

2 **排水栓を閉める**

3 **お湯をためる**

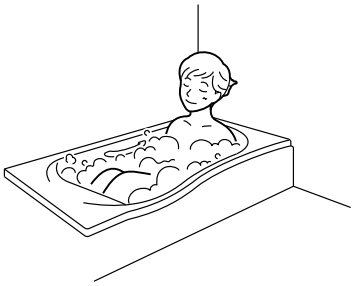
本書8ページをお読みください。

入浴中

足浴や半身浴、そしてリラックス浴で体の疲れをとって、リラックス。
ホッとできる入浴のために、本書をお読みのうえ、正しくお使いください。

非常時のドアの外し方

非常時、浴室の外側からドアを外す場合は、本書26ページ～をお読みください。



入浴後

シャワーで浴室全体の汚れを流しておくと、お手入れが楽になります。

次の人にお湯を残しておく場合

風呂フタをしておくと、お湯が冷めにくくなります。

こんな裏技

入浴後のふきとりがラクになるグッズ
水きりワイパーや吸水性の高い洗車タオルなら、浴室の水分を素早く取ることができ、浴室内も早く乾きます。

翌朝までお湯を残しておく場合

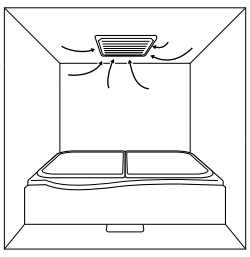
湿気を防ぐために風呂フタをして、換気扇を回すか、窓を開けておき、なるべく翌朝まで換気してください。床やカウンター等の水分を軽くふきとると、さらに効果的です。

気温が低く水道管凍結の恐れがある場合

水抜きを行ってください。本書72ページ～をお読みください。

お湯を排水する場合

換気扇を回すか、窓を開けておき、なるべく翌朝まで換気してください。床やカウンター等の水分を軽くふきとると、さらに効果的です。



故障をおこさないためにお守りください

お願い

●使用用途について

この商品は一般家庭用です。業務用等一般家庭用以外で使用しますと、寿命が著しく短くなる場合があります。

●重いものや硬いものを落とさないで

重いものや硬いものを落さないでください。
※ **キズの原因**となります。

●金属類を放置しないで

ヘアピン・カミソリの刃等を長い間放置しないでください。
※ **サビが付着して取れなくなる場合**があります。

●火を近づけないで

タバコ等の火気を近づけないでください。
※ **キズ・ヒビ割れの原因**となります。

●鏡くもり止めキットについて

鏡くもり止めキットをはじめてご使用になる場合は、浴室鏡のくもり止めを、10cm～20cm離して鏡にスプレーし、ティッシュ等で一面に薄く広げて乾燥させてください。入浴後にシャワーのお湯または水を全面にかけながら、柔らかいスポンジで洗っていただきますと効果が持続します。鏡くもり止めキットは鏡以外には塗らないようにしてください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。
※ 表面が**変色する恐れ**があります。

●化粧品（毛染め剤等）の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液を使用されるときは、必ずシート等で床等を保護してください。
※ 付着すると**シミになる場合**があります。

●吸盤付製品の使用について

吸盤付タオル掛、吸盤付石けん置き等を使用しないでください。
※ **変色する恐れ**があります。

●アクアジェットの使用について

アクアジェット付の浴槽では、浴槽内で石けん･ボディシャンプー類を使用しないでください。
※ 多量の泡が発生するとともに**故障の原因**となります。

●ジェルステッカー・ジェリーグミは張らないで

ジェルステッカー・ジェリーグミ等は鏡、タイル（目地を除く）、窓（ガラス面のみ）以外には張らないでください。
※ **色が付着して取れなくなる恐れ**があります。

●冬期凍結の恐れがある場合について

水栓､アクアジェット付の浴槽で凍結の恐れがある場合は、各々の取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。
※ 冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
追いだき付給湯器をご使用の場合は、給湯器の取扱説明書に記載の凍結防止処置を行ってください。アクアジェットをご使用の場合は、給湯器等に関係なく浴槽内の湯は必ず排水してください。
※ **破損や故障の原因**となります。

●排水トラップの封水について

排水トラップの水（封水）が蒸発等により減少、または無くなっている場合は、排水トラップに水をためてください。
※ 排水トラップの水（封水）が無くなると**臭気・害虫の侵入や、ガスにより金属・メッキ部品のサビの原因**となります。

●すのこ等の使用について

すのこ、バスマット等を洗い場に敷いた後は、水洗いして壁に立てかけてください。
※ **カビ、変色、ニオイの原因**となります。

●浴槽浄化保温機について

イデアトーン以外の浴槽には浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。イデアトーン浴槽でも、オゾン殺菌タイプの浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※ 継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

●シャワーヘッドを浸さないで

シャワーヘッドを浴槽・洗面器等に浸さないでください。
※ 一度吐水された湯水等が**配管に逆流する恐れ**があります。

●カウンター塗装品について

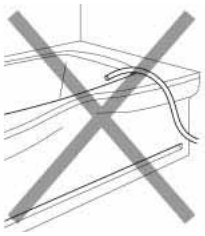
カウンターの塗装部分（シルバー色の部分）にはガラス容器等の硬いものをぶつけたり、カミソリの刃等の刃物を載せたりしないように注意してください。

●イデアトーン浴槽について

イデアトーン浴槽は必ず専用の風呂フタを使用してください。
※ フタの素材によっては、**浴槽を傷める原因**となったり、保温性能が維持できなくなったりすることがあります。

イデアトーン浴槽の場合は､入浴中以外はシャワーホースを上方のシャワーフックにかけてください。
※ ホースが長時間浴槽に触れていると､**浴槽表面を傷める原因**となります。

イデアトーン浴槽、出窓一体型カウンターの上にビニールホース等樹脂製品を長時間置かないでください。
※ 塩ビ､ゴム等､材質によっては**浴槽を傷める原因**となります。



注）イデアトーンとは表面に深い透明の層をもった浴槽です。

ご使用方法/浴槽にお湯をためる

排水栓を開閉する

■排水栓の種類

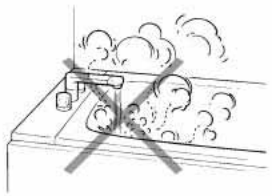
お使いの器具をご確認ください。

ゴム栓

プッシュワンウェイ排水栓
（オート排水栓）

お願い

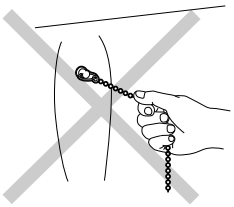
お湯は温度を調節して給湯してください。
※ 直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎると**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



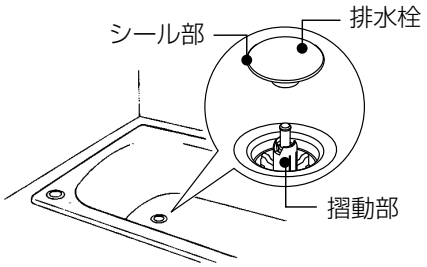
お掃除等で、排水栓や排水コアを取り外した後は、正しくはめ込んでから、使用してください。
※ **排水管の詰まりや悪臭の原因**になります。

排水栓が開いた状態で栓の上に乗ったり、栓に荷重がかかった状態で、押ボタンを無理に押さないでください。
※ **排水栓が破損する原因**となります。

ゴム栓の玉くさりを強い力で引っ張ったり、玉くさりの取付部を無理に回さないでください。
※ **破損の原因**となります。



冬期に排水栓のシール部や機構部の水が凍結した状態で押ボタンを無理に押さないでください。
※ **破損の原因**となります。
凍結により押ボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40℃以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。



ご使用方法/浴槽にお湯をためる

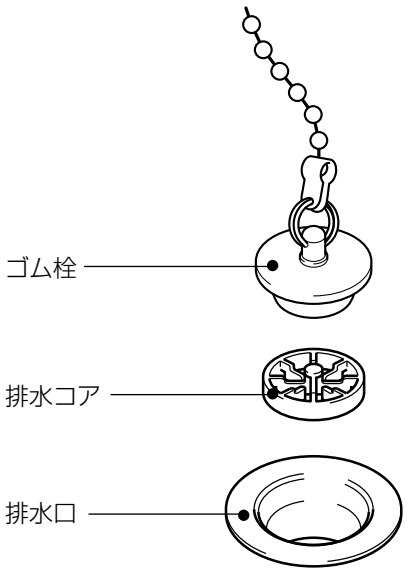
■ゴム栓の場合

お願い

ゴム栓を抜く場合は、チェーンを持たずにゴム栓に付いているリングを持って抜いてください。
※ **破損の原因**となります。

ゴム栓は手でしっかりと排水口に押し込みます。

※ ゴム栓の閉まりが悪く、お湯が漏れていく場合は、47ページのゴム栓のお手入れを参照して、排水コアをきちんとはめ直してください。



■プッシュワンウェイ排水栓の場合

お願い

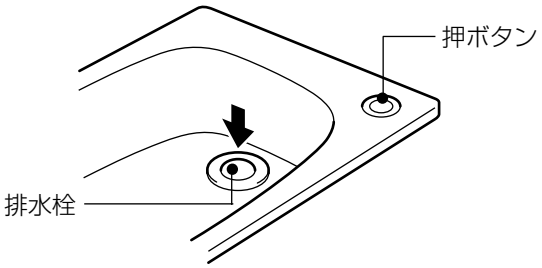
押ボタンはゆっくりと操作してください。
※勢いよく操作すると、排水栓や押ボタンが外れたりずれたりして、正しく開閉できない可能性があります。
※オート排水栓の場合は、正しい位置を検知できずに誤動作する可能性があります。

押ボタンを押して排水栓を開閉します。

● 浴槽にお湯をためるには

押ボタンを上げた状態にし、排水栓を閉めます。

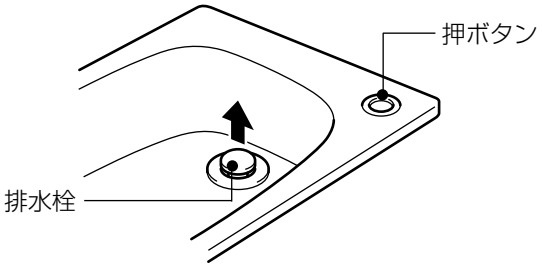
お湯をためる



● お湯を排水するには

押ボタンを下げた状態にし、排水栓を開けます。

お湯を排水する



ご使用方法/浴槽にお湯をためる

水栓について

⚠ 注意

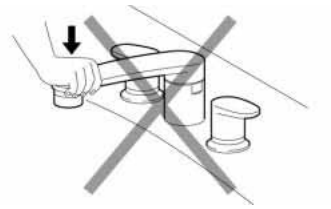
水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※ 高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

高温の湯をお使いの時には、吐水口やシャワーホースが高温になることがあります。
金属部の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ **ヤケドをする恐れ**があります。

ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※ **ウォーターハンマー（衝撃音）が発生する**ことがあります。
※ 配管から漏水し、**家財等をぬらす原因**となります。

お使いになる前に切替ハンドルが吐水口側かシャワー側か確認してください。
※ 不意に水をかぶったり、高温の湯で**ヤケドをする恐れ**があります。

水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※ **破損やケガをする恐れ**があります。



使用後は、必ず温度調節ハンドルの目盛りを「40」以下に戻しておいてください。
※ 次に使用するときに、高温のお湯が吐出し、**ヤケドをする恐れ**があります。

凍結が予想される場合は、水栓の取扱説明書をご覧になり水抜きを行ってください。
※ 凍結破損で漏水し、**家財等をぬらす恐れ**があります。

ONE POINT ワンポイント

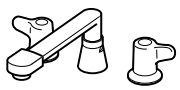
サーモ水栓では、給湯器の設定温度が低温（40℃前後）の場合、水栓から吐水される湯温が、表示温度から低めにずれることがあります。給湯器の温度設定は、使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
また季節によって給水温度も変化しますので、冬期は給湯器の温度設定を夏期に比べて高めに調節いただくと表示温度とのズレが少なくなり、快適にご使用いただけます。
詳しくは給湯器や水栓の取扱説明書をご覧ください。
※LIXIL修理受付センターにご依頼いただければ、調節にお伺いします。（有料）（P.91参照）

水栓を使う（浴槽側）

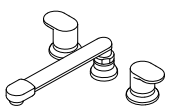
自動湯張りの給湯器がついている場合は、給湯器の取扱説明書をご覧ください。

■水栓の種類

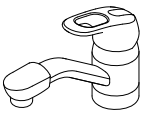
お使いの水栓をご確認ください。



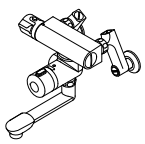
ツーハンドルデッキ水栓（ミーティス）
代表品番
BF-M093C-PU
BF-M093C-U-PU



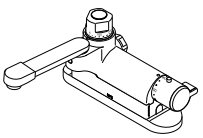
ツーハンドルデッキ水栓（アステシア）
代表品番
BF-7093C-PU3
BF-7093C-U-PU3



シングルデッキ水栓
代表品番
BF-B420SX-PU3
BF-B420SXN-PU3
（GMS-1169）



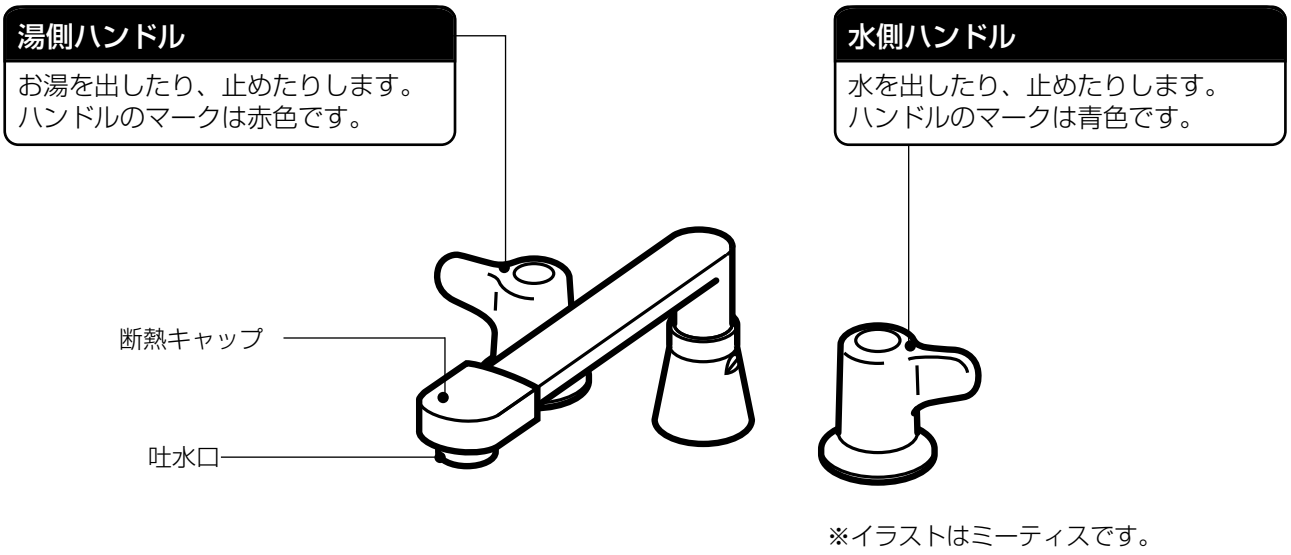
壁付定量止水サーモ水栓
代表品番
BF-7340T(220)-PU
BF-7340TN(220)-PU
（GMS-1081）



デッキ定量止水サーモ水栓
代表品番
KM297JGIN3
KM297ZJGIN3
（GPU-0178）

ご使用方法/浴槽にお湯をためる

■ツーハンドルデッキ水栓の場合（ミーティス、アステシア）



※イラストはミーティスです。

必ず水側ハンドルを回してから、湯側ハンドルを回し、適温にしてください。

■シングルデッキ水栓の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1169）をご覧ください。

⚠ 注意

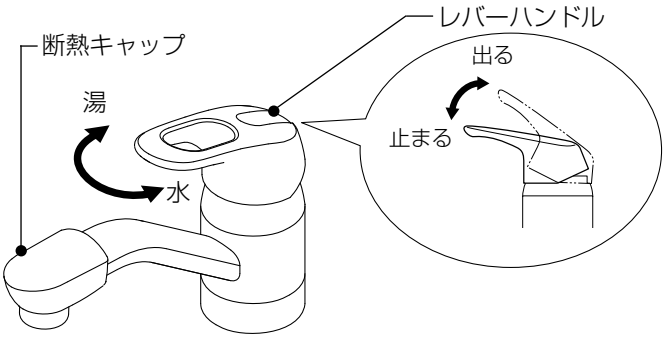
使用後は、必ずレバーハンドルを水側で止めてください。
※高温の位置で止めておくと、身体がレバーハンドルにあたる等不意の動作で高温のお湯が出て、**ヤケドをする恐れ**があります。

● 吐出量を調節するには

レバーハンドルを上げると吐出し、下げると止水します。
レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節してください。

● 温度を調節するには

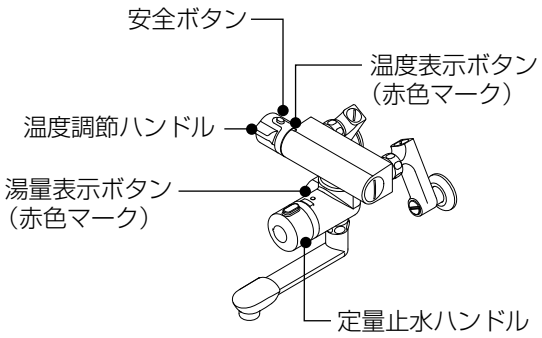
レバーハンドルを左方向に回すと吐出温度が上がり、右方向に回すと下がります。



ご使用方法/浴槽にお湯をためる

■壁付定量止水サーモ水栓の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1081）をご覧ください。

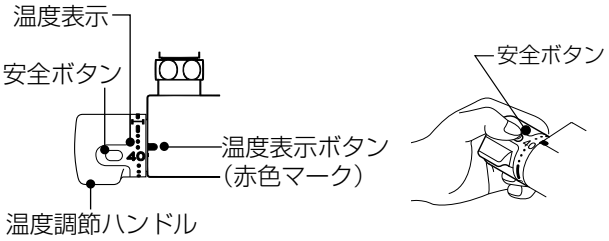


● 温度を調節するには

お好みの目盛を温度表示ボタン（赤色マーク）に合わせます。目盛は「40」を目安にしてください。高温側に回すと、「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。
さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。
高温側は目盛「H」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。

安全ボタンを押して高温のお湯を出した場合は、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻してください。

※目盛は温度表示ではありません。温度調節の目安としてください。

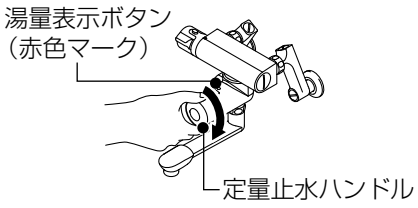


● 吐出量を調節するには

定量止水ハンドルを右（時計回り）に回して、定量止水ハンドルの数字（湯量目盛：L）を本体の湯量表示ボタン（赤色マーク）にセットしてください。

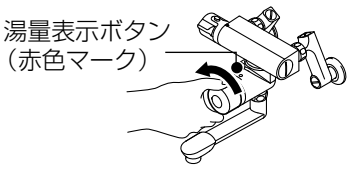
（例）200Lを必要とする場合は、目盛「200」を湯量表示ボタン（赤色マーク）に合わせます。

「100」以下の目盛にセットするときは、ハンドルを1度「100」以上の目盛に回してから戻してセットしてください。



浴槽の大きさ	目盛
1150浴槽	200
1200浴槽	200
1600スタンダード浴槽	250
1600オーバル浴槽	250
1600ワイド浴槽	300
ラウンドワイド浴槽	350

連続して吐出する場合は、定量止水ハンドルを左（反時計回り）に回して、「ON」のマークを湯量表示ボタン（赤色マーク）に合わせてください。
定量止水ハンドルを「OFF」に戻さない限り連続して吐出されます。



ONE POINT ワンポイント

浴槽の大きさに合わせた適量目盛は、上表を参考にして決めてください。

ご使用方法/浴槽にお湯をためる

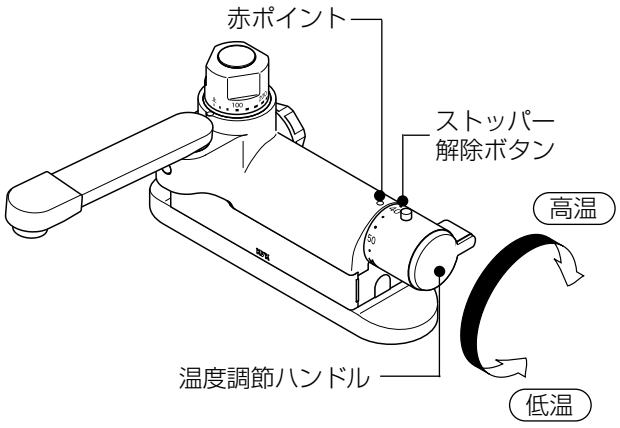
■デッキ定量止水サーモ水栓の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（GPU-0178）をご覧ください。

● 温度を調節するには

お好みの目盛を赤ポイントに合わせます。目盛は「40」を目安にしてください。
高温側に回すと、「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。
さらにお湯の温度を上げたい場合は、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。

ストッパー解除ボタンを押して高温のお湯を出した場合は、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻してください。
※ 目盛は温度表示ではありません。温度調節の目安としてください。



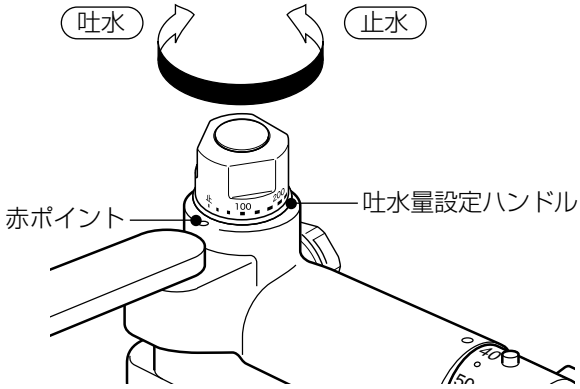
● 吐出量を調節するには

ハンドルの目盛（L）を浴槽の大きさに応じて赤ポイントに合わせます。
※ 工場出荷時は、1回の最大吐水量を約300Lに設定してあります。
（例）200Lを必要とする場合は、目盛「200」を赤ポイントに合わせます。

目盛「100」以下に合わせるときは、ハンドルを一度「100」以上に回してから合わせてください。
※ 目盛「100」以上回さないで合わせると、止水不良の原因になります。

ハンドルは計量しながら自動で「止」に戻り、止水します。なお、手動で「止」に戻し、止水することもできます。

計量以外で使用する場合は、目盛範囲でハンドルを回して吐水させ、また「止」に戻してください。
※ これは計量機器ではありません。また、ハンドルの目盛は、吐水量の目安としてください。



浴槽の大きさ	目盛
1150浴槽	200
1200浴槽	200
1600スタンダード浴槽	250
1600オーバル浴槽	250
1600ワイド浴槽	300
ラウンドワイド浴槽	350

ONE POINT ワンポイント

浴槽の大きさに合わせた適量目盛は、上表を参考にして決めてください。

ご使用方法/洗い場でお湯を使う

● 最大吐水量の変更方法

ストッパーガイドを調節することで、浴槽の大きさに合わせて最大吐水量を変更することができます。
※ 工場出荷時は最大吐水量を約300Lに設定してあります。

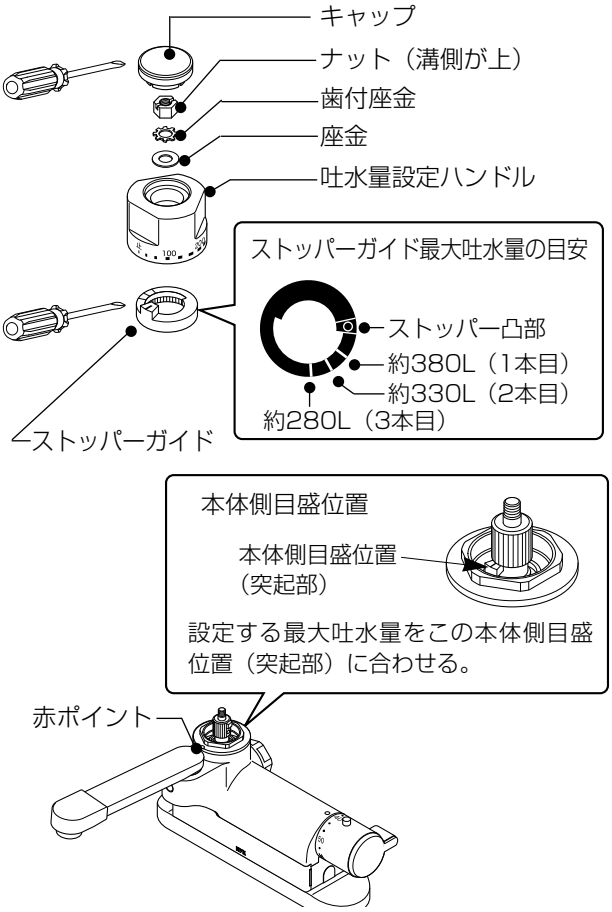
❶ 吐水量設定ハンドルを止水の位置にします。

❷ キャップ、ナット、歯付座金、座金、吐水量設定ハンドル、ストッパーガイド（黒色）を外します。
※ 吐水量設定ハンドルは、回転しないように注意して外してください。
※ キャップ、ストッパーガイド、ナットはマイナスドライバー等で外してください。

❸ 設定する吐水量に合わせて、ストッパーガイドを本体側の目盛位置（突起部）にはめ込みます。
※ ストッパーガイドの溝は約50L間隔になっておりますが、溝と溝の間の微調整も可能です。
※ 吐水量は多少ばらつくことがあります。あくまでも目安量とお考えください。

ストッパーガイド装着例
約280L設定の場合、ストッパーガイド最大吐水量の目安より、このようにはめる。

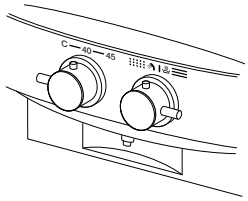
❹ 吐水量設定ハンドルの「止」を本体の赤ポイントに合わせてはめ、外した逆の手順で組み込みます。



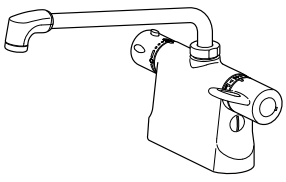
水栓を使う（洗い場側）

■ 水栓の種類

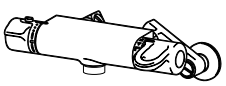
お使いの器具をご確認ください。



カウンター埋込サーモ水栓
代表品番
BF-M648TR-D-PU
BF-M648TNR-D-PU
（GMS-1276）



デッキサーモ水栓
代表品番
BF-B646T(330)-A120-D-PU2
BF-B646T(330)-A120-DW-PU2
（GMS-1253）



壁付サーモ水栓
代表品番
BF-7146T-D-PU2
BF-7146TN-D-PU2
（GMS-1077）

※ 洗い場では、**高さ30cm程度**の風呂イスをご使用することをお勧めします。
また、ゴム脚付の風呂イスをご使用いただくと、床表面のキズ防止にもなります。

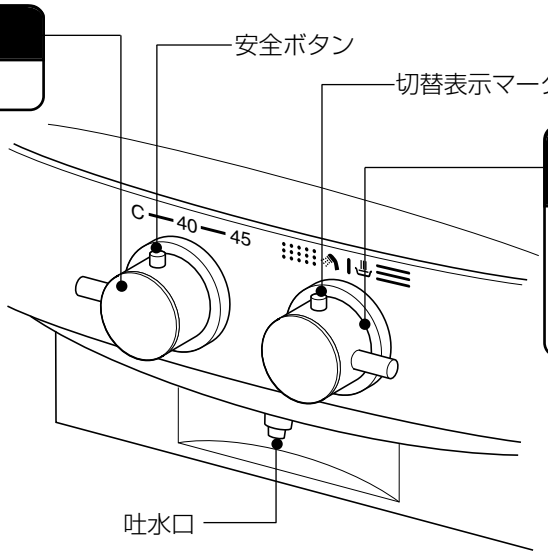
※ 脚が金属等の硬い材質でできた風呂イスは、床をキズつけたり、表面のケズレ等の原因となりますので使用しないでください。

※ 洗面器をカウンターに置いて使う場合、洗面器の仕様や置く位置によっては、洗面器が床に落ちることがあります。
洗面器は**直径27cm以下**、底裏面にゴムが取り付けてあるものをご使用いただくと、移動防止とカウンター表面のキズ防止にもなります。

■カウンター埋込サーモ水栓の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1276）をご覧ください。

温度調節ハンドル
お湯の温度を調節します。



シャワー・バス切替ハンドル
シャワー使用のときは、ハンドルを左に回します。
吐水口使用のときは、ハンドルを右に回します。

ONE POINT ワンポイント

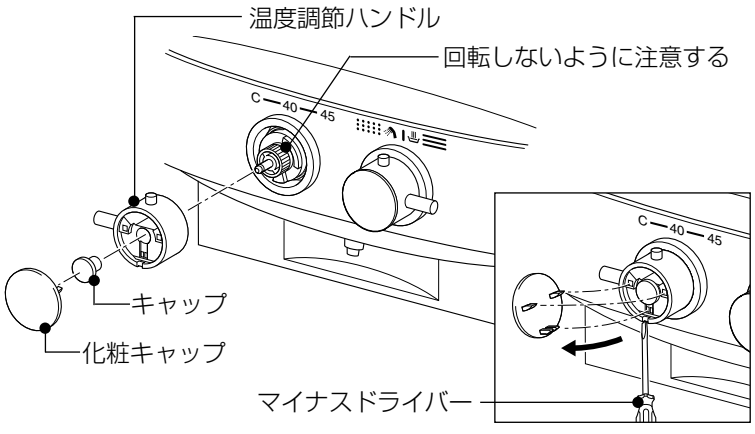
高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。高温側は目盛「45」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。

温度調節ハンドルの表示と吐出温度が異なるときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

❶ 吐出したお湯の温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

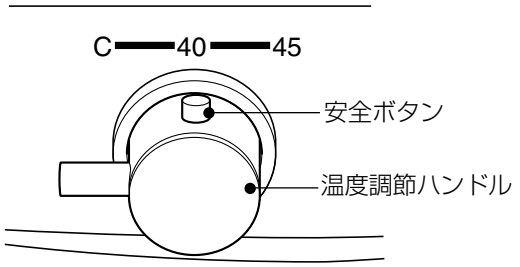
❷ 吐出温度が約40℃になったところでシャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークを「❙」の位置に合わせ止水します。

❸ 化粧キャップ、キャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。
※ 小型のマイナスドライバー等でキャップを外してください。
※ 温度調節ハンドルが回転しないように注意してください。



❹ 抜き取った温度調節ハンドルの安全ボタンが温度表示の「40」に合うように温度調節ハンドルをはめ込みます。

❺ キャップを挿入し、化粧キャップをはめ込みます。

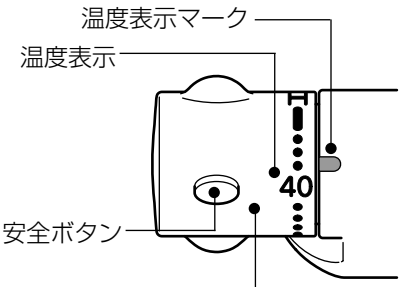


■デッキサーモ水栓の場合

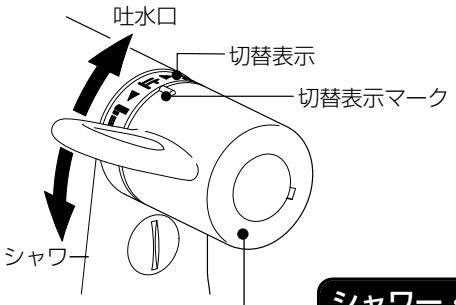
詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1253）をご覧ください。

⚠ 注意

水栓の左側（背面）は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接肌を触れないようにしてください。
※ **ヤケドをする恐れ**があります。水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。



温度調節ハンドル
お湯の温度を調節します。



シャワー・バス切替ハンドル
シャワー使用のときは、ハンドルを上に回します。吐水口使用のときは、ハンドルを下に回します。

ONE POINT ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。高温側は目盛「H」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。

温度調節ハンドルの表示と吐出温度が異なるときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

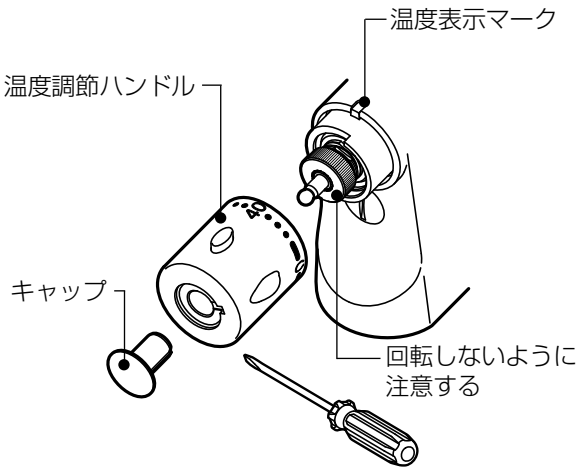
❶ 吐出したお湯の温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

❷ 吐出温度が約40℃になったところでシャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークを「止」の位置に合わせ止水します。

❸ キャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。
※ 小型のマイナスドライバー等でキャップを外してください。
※ 温度調節ハンドルが回転しないように注意してください。

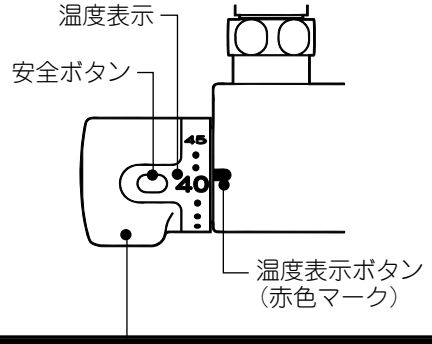
❹ 抜き取った温度調節ハンドルの温度表示「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルを取り付けます。

❺ キャップをはめ込みます。



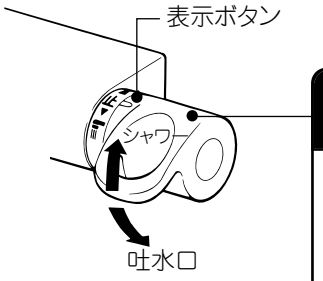
■壁付サーモ水栓の場合

詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1077）をご覧ください。



温度調節ハンドル

温度を調節するにはお好みの目盛を温度表示ボタン（赤色マーク）に合わせます。



シャワー・バス切替ハンドル

シャワー使用のときは、ハンドルを上に回します。吐水口使用のときは、ハンドルを下に回します。

ONE POINT ワンポイント

高温側に回すと、安全ボタンの働きで「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。高温側は目盛「45」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。

温度調節ハンドルの表示と吐出温度が異なるときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

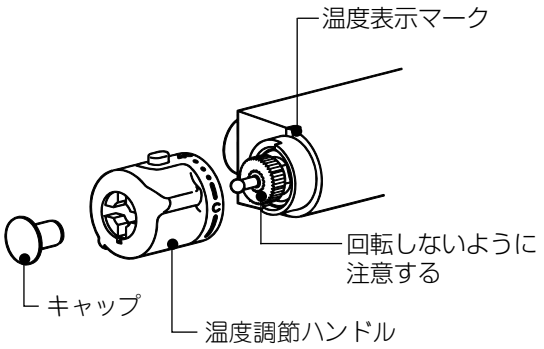
❶ 吐出したお湯の温度が約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。

❷ 吐出温度が約40℃になったところでシャワー・バス切替ハンドルの切替表示マークを「止」の位置に合わせ止水します。

❸ キャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。
※ キャップを外すと、温度調節ハンドルは手で引っ張るだけで外れます。
※ 温度調節ハンドルが回転しないように注意してください。

❹ 抜き取った温度調節ハンドルの温度表示「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルを取り付けます。

❺ キャップをはめ込みます。



ご使用方法/洗い場でお湯を使う

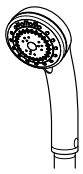
シャワーを使う

■シャワーの種類

お使いの器具をご確認ください。

スイッチ付CC(塩素除去)シャワー
代表品番
BF-6EWBP-PU/N85

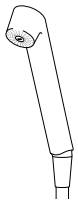
スイッチ付マッサージシャワー
代表品番
BF-6GWBP-PU



高級多機能シャワー（メタル調）
代表品番
BF-6MBG-PU

高級スプレーシャワー（メタル調）
代表品番
BF-6LBG-PU-1

スイッチ付スプレーシャワー
代表品番
BF-8WBP-PU



スプレーシャワー
代表品番
BF-6JBP-PU

■スイッチ付CC（塩素除去）シャワーの場合

詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。

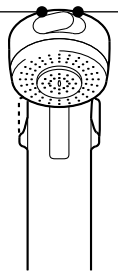
⚠ 注意

水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※ 高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

シャワーヘッド先端の切替スイッチで浄水 - 原水の切替えをします。

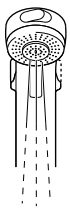
切替スイッチ 浄水

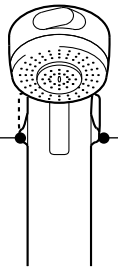
散水板外側から吐水します。
※ マッサージシャワーは、「切替スイッチ通常」にしてください。



切替スイッチ 原水

散水板内側から吐水します。
※ マッサージシャワーは、「切替スイッチマッサージ」にしてください。





一時止水スイッチ（灰色）

シャワーの吐出を一時的に止めます。

吐出スイッチ（青色）

シャワーの吐出を再開します。

止水後も数秒間シャワーヘッド内からポタポタと水が垂れる場合がありますが、これは、シャワーヘッド内の残留水によるものです。水栓の止水不良ではありません。シャワーフックに戻す場合はシャワーヘッド内の残留水をよく切ってから戻してください。

交換部品については92ページの交換部品のご案内を参照ください。

スプレーシャワーからスイッチ付シャワー、スイッチ付シャワーからスプレーシャワーへ交換する場合は、シャワーホースやシャワーエルボも一緒に交換になります。
（水栓本体も交換しなければならない場合があります。）
※LIXIL修理受付センターにご依頼いただければ、交換にお伺いします。（有料）（P.95参照）

■スイッチ付マッサージシャワーの場合

詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※ 高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

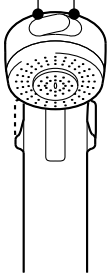
シャワーヘッド先端の切替スイッチで通常 - マッサージの切替えをします。

切替スイッチ 通常

散水板外側から吐水します。

切替スイッチ マッサージ

散水板内側から吐水します。

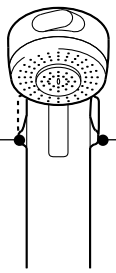


一時止水スイッチ（灰色）

シャワーの吐出を一時的に止めます。

吐出スイッチ（青色）

シャワーの吐出を再開します。



止水後も数秒間シャワーヘッド内からポタポタと水が垂れる場合がありますが、これは、シャワーヘッド内の残留水によるものです。水栓の止水不良ではありません。シャワーフックに戻す場合はシャワーヘッド内の残留水をよく切ってから戻してください。

スプレーシャワーからスイッチ付シャワー、スイッチ付シャワーからスプレーシャワーへ交換する場合は、シャワーホースやシャワーエルボも一緒に交換になります。
（水栓本体も交換しなければならない場合があります。）
※LIXIL修理受付センターにご依頼いただければ、交換にお伺いします。（有料）（P.96参照）

ご使用方法/洗い場でお湯を使う

■高級多機能シャワーの場合

詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。

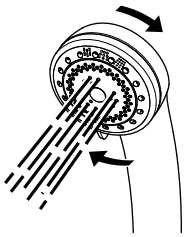
⚠ 注意

水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※ 高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

切替リングを回転させ、マッサージ吐水 - スプレー吐水 - ミスト吐水の切替えをします。

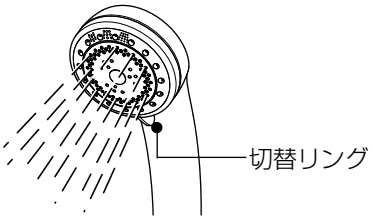
マッサージ吐水

シャワーが断続的に吐水。マッサージと同様の効果があります。



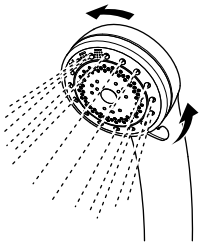
スプレー吐水

細めの勢いのあるシャワー吐水。適度なマッサージ効果が得られます。



ミスト吐水

細めの霧状で身体にやさしくマイルドな感覚が心地よいシャワー吐水。



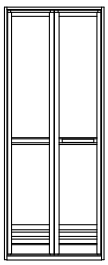
止水後も数秒間シャワーヘッド内からポタポタと水が垂れる場合がありますが、これは、シャワーヘッド内の残留水によるものです。水栓の止水不良ではありません。シャワーフックに戻す場合はシャワーヘッド内の残留水をよく切ってから戻してください。

ご使用方法/ドアを開閉する

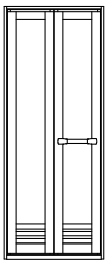
ドアを施錠・解錠する

■ ドアの種類

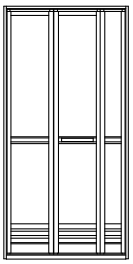
お使いのドアをご確認ください。



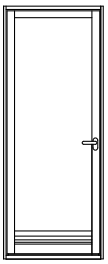
折り戸
VDY-□□（□）



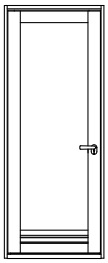
折り戸（高級タイプ）
VDY-□□（□）



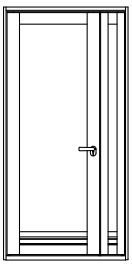
親子折り戸
VDYW-□□（□）



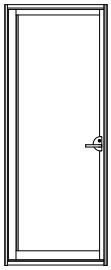
開き戸
UDY-□□（□）



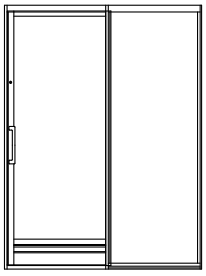
開き戸（高級タイプ）
RDY-□□（□）



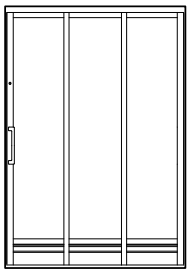
親子開き戸
RDYW-□□（□）



スタイリッシュ開き戸
TDY-□□（□）



片引き戸
SDY-□□（□）



3枚引き戸
SDY-□□（□）

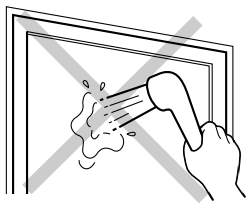
スタイリッシュ片引き戸
PDY-□□（□）

浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能かどうか、確認してください。もし、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。

小さなお子さまが浴室内に一人で入らないように、入浴時以外もドアを必ず閉めておいてください。また、浴室外側からの施錠をお勧めします。

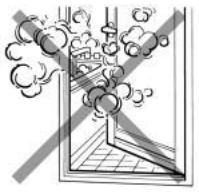
⚠ 注意

ドアに直接水をかけないでください。
※ 浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。



浴槽から勢いよくお湯をあふれさせないでください。
※ 浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。

入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※ 浴室外に湿気や水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。
※ ドアが閉まった状態でも、シャワー等で勢いよくドアの合わせ目に散水すると外へ漏れることがあります。また湿気や光につきましても**完全に遮へいする構造ではありません。**



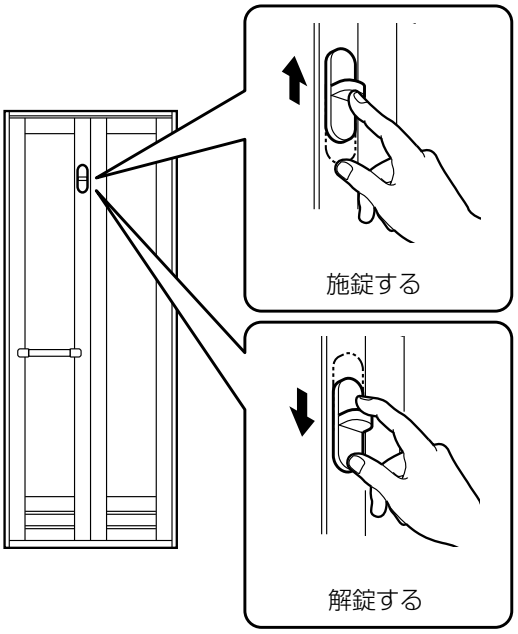
■折り戸・親子折り戸の場合

● ロックの使い方

浴室内側から

とびら上側にあるロックツマミを上げてドアを施錠します。

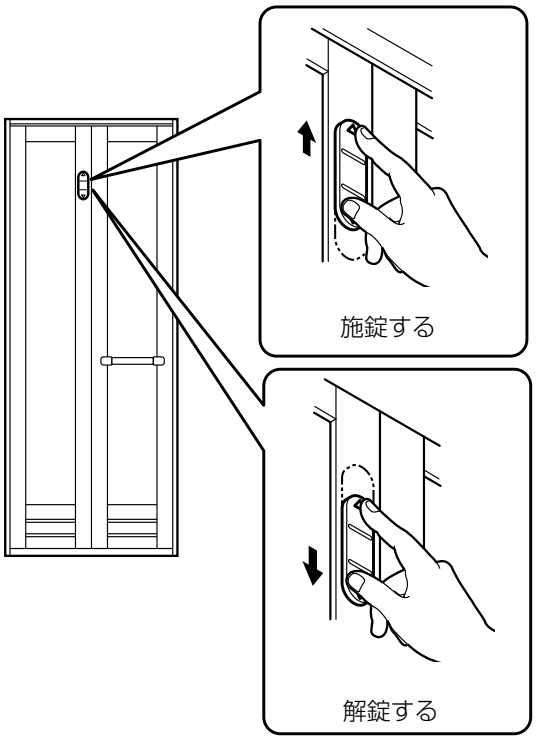
ロックツマミを下げてドアを解錠します。



浴室外側から

とびら上側にあるロックツマミを上げてドアを施錠します。

ロックツマミを下げてドアを解錠します。



ご使用方法/ドアを開閉する

■親子折り戸の子とびらの場合

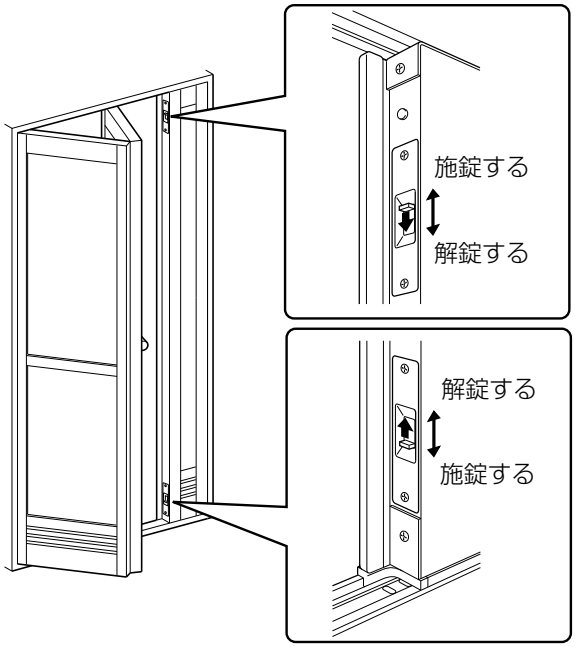
● ロックの使い方

浴室ご使用時は子とびらのロックをかけた状態で使用してください。

浴室外側から

親とびらを開いた状態で、子とびら側面にあるロックツマミをスライドさせます。

※ 子とびらは外さないでください。



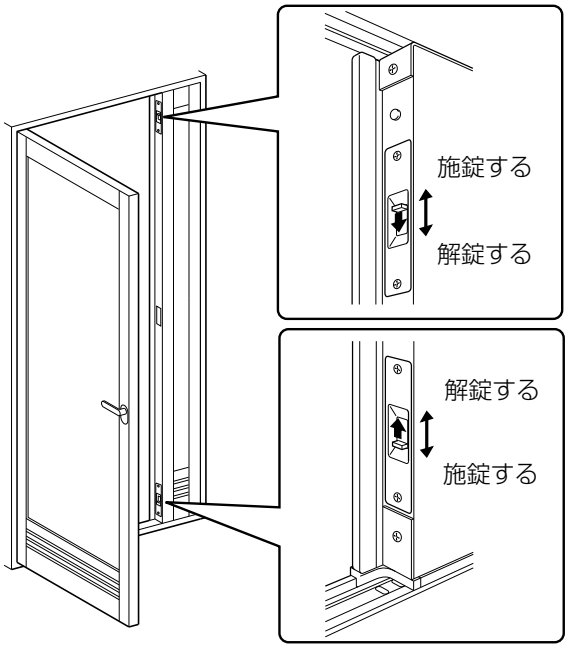
■親子開き戸の子とびらの場合

● ロックの使い方

浴室ご使用時は子とびらのロックをかけた状態で使用してください。

親とびらを開いた状態で、子とびら側面にあるロックツマミをスライドさせます。

※ 子とびらは外さないでください。



■開き戸・親子開き戸・スタイリッシュ開き戸の場合

● ロックの使い方

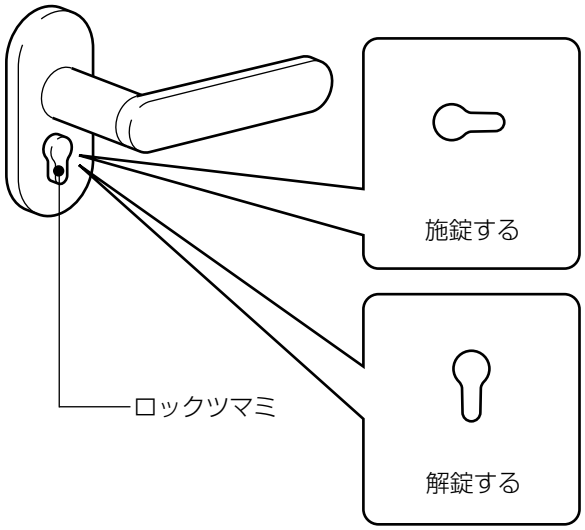
浴室内側から

ロックツマミを横向きにしてドアを施錠します。

ロックツマミを下向きにしてドアを解錠します。

※ 浴室から出てドアを閉めるとき、ロックツマミを横向きにしたままドアを閉めると施錠されます。

※ スタイリッシュ開き戸の場合は形状が異なります。

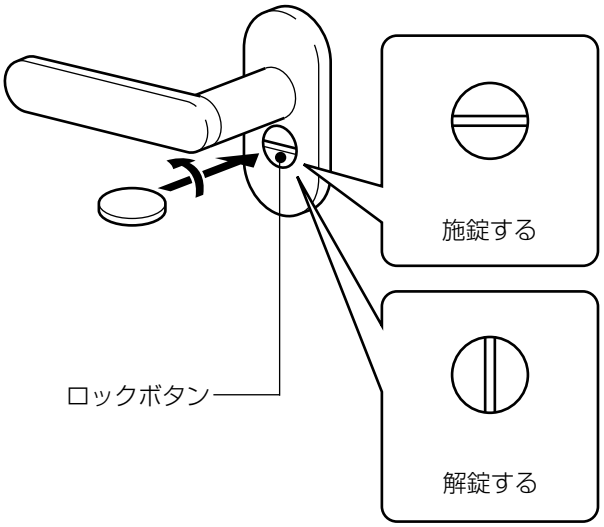


浴室外側から

ロックボタンにコイン等を差し込み、横向きに回してドアを施錠します。

縦向きに回してドアを解錠します。

※ スタイリッシュ開き戸の場合は形状が異なります。



ご使用方法/ドアを開閉する

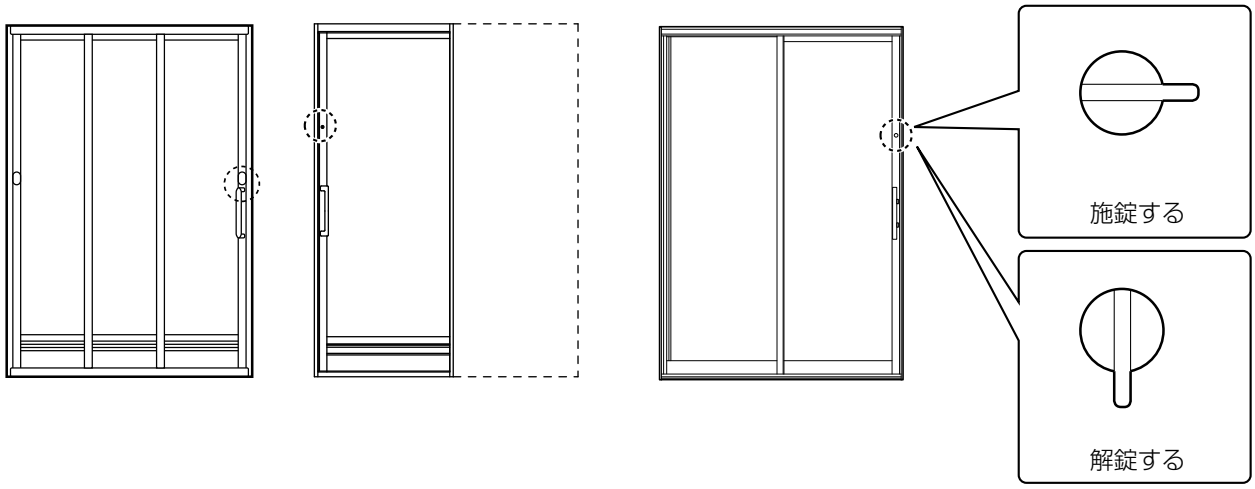
■3枚引き戸・片引き戸・スタイリッシュ片引き戸の場合

● ロックの使い方

浴室内側から

ロックツマミを横向きにしてドアを施錠します。

ロックツマミを下向きにしてドアを解錠します。



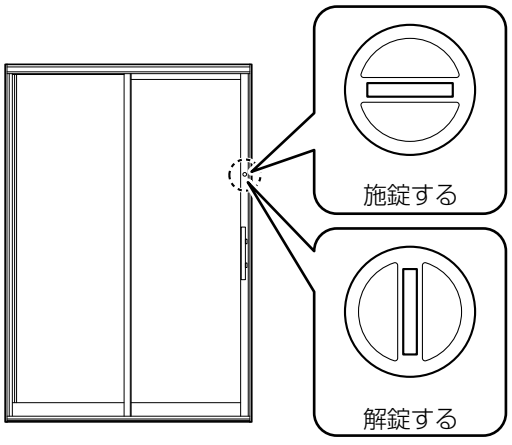
浴室外側から

3枚引き戸、片引き戸の施錠・解錠方法・ロックツマミ形状は浴室内側からと同様です。

スタイリッシュ片引き戸の場合

ロックボタンにコイン等を差し込み、横向きに回してドアを施錠します。

縦向きに回してドアを解錠します。



非常時にとびらを取り外す

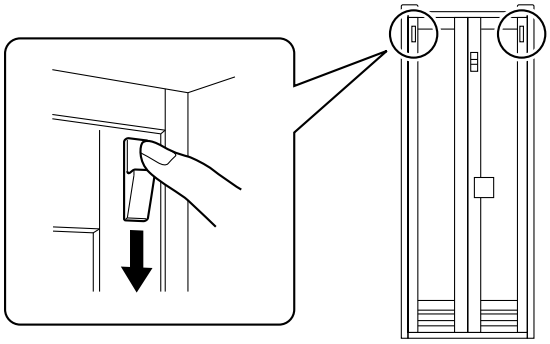
ドアが開かなくなったとき、浴室外側からとびらを取り外すことができます。

■折り戸・親子折り戸の場合

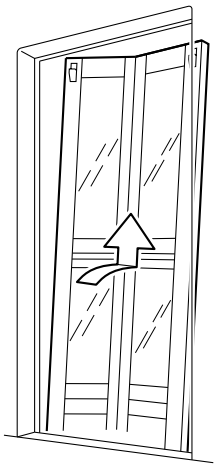
● とびらを取り外す

❶ 浴室内側からとびらを押さえてとびら上部の着脱ツマミ（2か所）を片方ずつ下げ、浴室内側へ傾けながら上戸車をレールから外します。

※ 着脱ツマミを2か所同時に下げると、とびらが倒れて危険です。



❷ とびらを折りたたみ、上方へ持ち上げて下戸車をレールから外します。



ご使用方法/ドアを開閉する

● とびらを取り付ける

❶ とびらを折りたたんで浴室内に運び、図のように戸車の向きを合わせます。（4か所）

❷ とびらを浴室内側に傾けて、下戸車をレールに取り付けます。

❸ 折りたたんだとびらをひろげ、とびら上部の着脱ツマミ（2か所）を下げ、上戸車をレールに取り付けます。

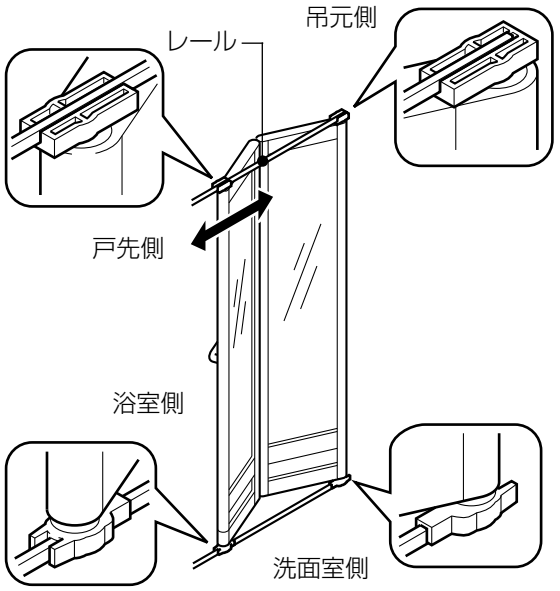
※ とびらは正しく取り付け、取付後は開閉することを確認してください。

※ 上戸車はとびらを折りたたんだ状態では取付けできません。

※ 吊元（固定）側の戸車は、レール端の切欠部に引っ掛けて固定します。

※ とびらを外した時は、落とさないように注意してください。

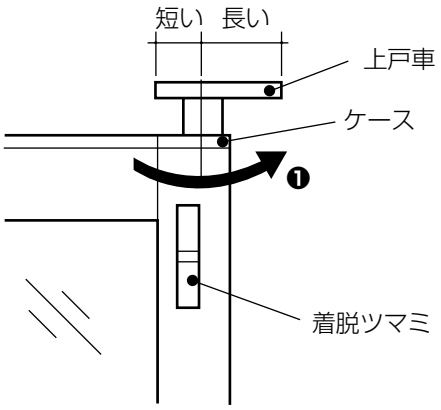
※ とびらや戸車に付着したゴミは取り除いてください。



着脱ツマミを操作しても上戸車が下がらない場合

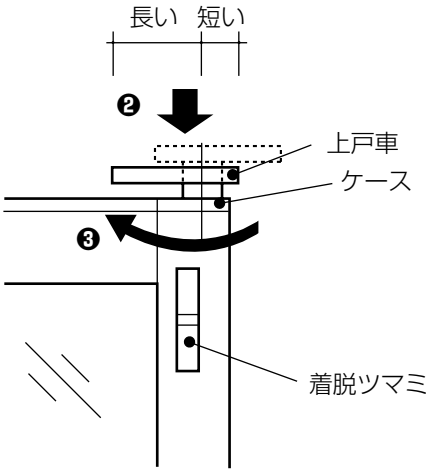
上戸車と着脱ツマミの連結部が外れていますので、以下の手順で直してください。

❶ 上戸車の長い方を外側に向けます。



❷ 上戸車をケースにあたるまで押し込みます。

❸ 上戸車を180度回転させて短い方を外側に向け、着脱ツマミを操作して上戸車が同時に動けば完了です。

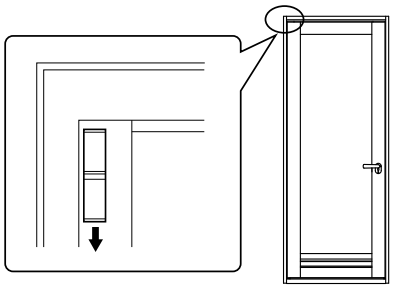


ご使用方法/ドアを開閉する

■開き戸・親子開き戸・スタイリッシュ開き戸の場合

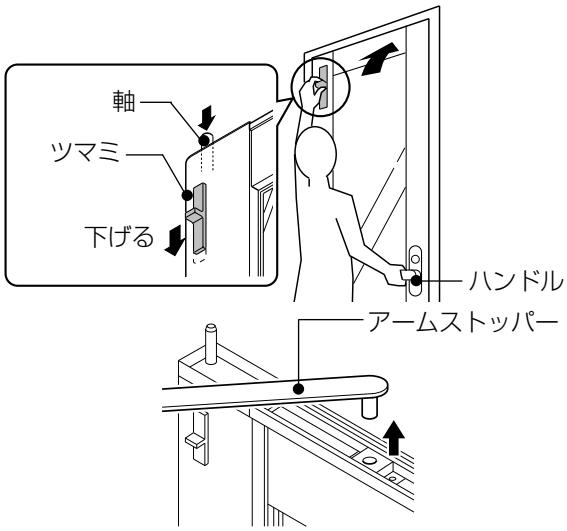
● とびらを取り外す

❶ 浴室外側からとびら上部の着脱ツマミを下げます。



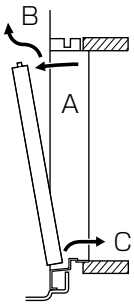
❷ レバーハンドルを回して、とびらを浴室内側に少し開きます。
とびらが外れるまで離さないでください。

❸ とびら上部のアームストッパーを上へ押し、とびら本体から外します。



❹ とびらの上部を浴室内側に傾けて（A）上方へ持ち上げます。（B）

とびらを少し斜めにしながら、浴室外側へ取り出します。（C）



● とびらを取り付ける

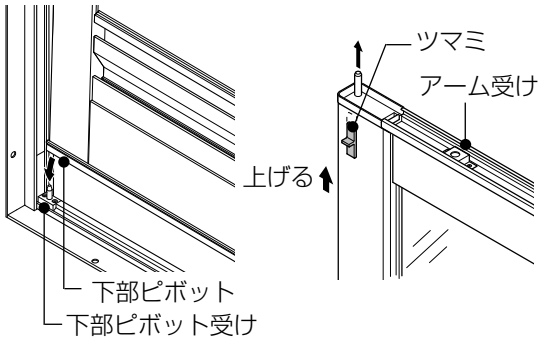
❶ とびらを浴室内側に運び、少し傾けながらとびらの下部ピボットを下部ピボット受けに差し込みます。（A）
とびら上部をはめこみます。（B）

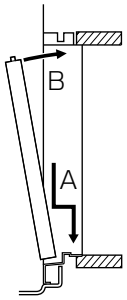
❷ 取外し方❸と逆の手順で、とびら上部のアームストッパーをはめます。

❸ とびら上部の着脱ツマミを上げます。

※ 取付けの際、下枠溝ととびら下部にゴミが付着しているときは、取り除いてください。

※ 取付後は、アームストッパーが確実にはめ込まれていること、着脱ツマミが元の位置（上側）に戻っていることを確認してください。

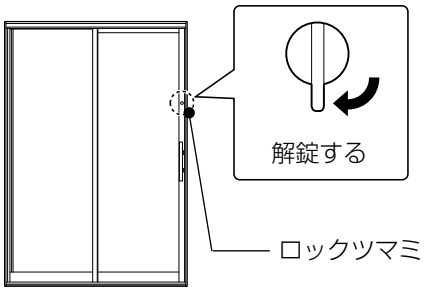




■3枚引き戸・片引き戸・スタイリッシュ片引き戸の場合

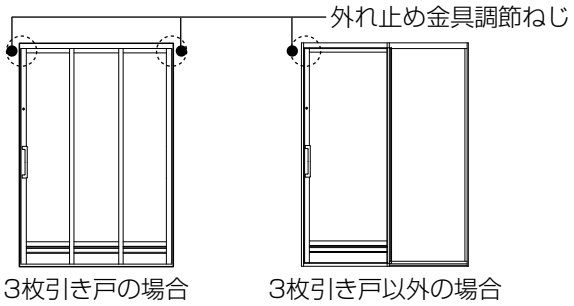
● とびらを取り外す

❶（3枚引き戸の場合）
固定側とびらのロックツマミを縦向きにして解錠します。



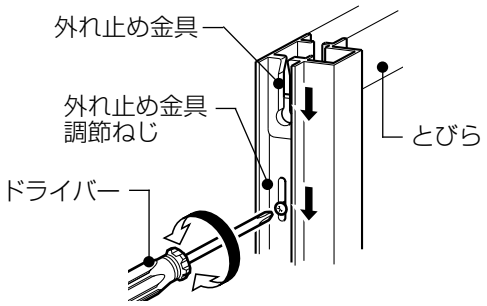
❷ とびら上部の外れ止め金具調節ねじを2回転ゆるめて下げます。

3枚引き戸以外は戸先側に1か所、3枚引き戸の場合は両端のとびらに2か所あります。



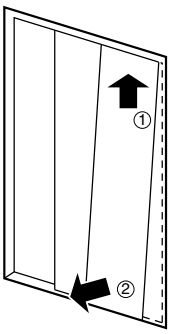
※ 2回転を超えて調節ねじを回さないでください。

※ 調節ねじのおよその位置を覚えておくとドア取り付け後の調節が簡単になります。



❸ とびらを上へ持ち上げ、とびら下部を手前に引きながら外します。

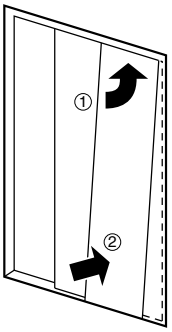
（3枚引き戸の場合）
浴室外側のとびらから順番に取り外します。



● とびらを取り付ける

❶ とびらを傾けながら上部を上レールに差し込みます。（①）
とびらを持ち上げながら、下戸車を下レールに乗せて取り付けます。（②）

（3枚引き戸の場合）
浴室内側のとびらから順番に取り付けます。



※ とびらは正しく取り付け、取付け後は開閉することを確認してください。

❷ 外れ止め金具調節ねじを元の位置に戻します。

※ 外れ止め金具調節ねじを上げすぎると開閉しづらくなることがあります。
開閉に支障のない範囲で調節してください。

※ 外れ止め金具が下がっている場合は、開閉の際にとびらが外れることがあります。

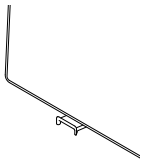
器具を使う

■器具の種類

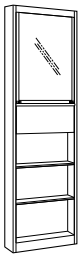
お使いの器具をご確認ください。

巻フタフック
R122-K

組フタフック
FK-□/□□

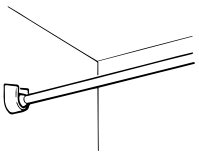


組フタ置き台
FK-2

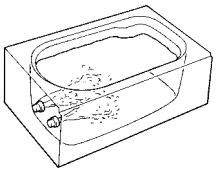


間仕切ユニット
MBN-F□□(□)SET

スライドフック付握りバー
CKNB(2)-B-L1000□□□



ランドリーパイプ
LAP-□□-T



アクアジェット
JP-4A2
JP-4A4

⚠ 注意

高い位置の収納部にガラス容器等割れやすい物は、収納しないでください。
※ 誤って落下させますと、割れて**ケガをする恐れ**があります。

タオル掛やシャワーフック、ランドリーパイプ、天井照明カバー、天井排水樋、S字フック、収納棚等の内装品にぶらさがったり無理な力を加えないでください。
※ **破損や漏水の原因**となります
※ 収納棚等が外れて**ケガの原因**となります。

収納部に無理な力を加えないでください。
※ 破損して**ケガをする恐れ**があります。

風呂フタを収納する

■巻フタフックの使い方

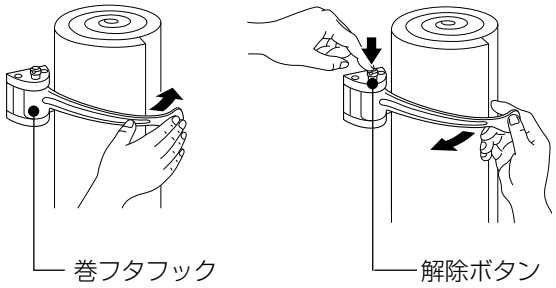
お願い

フック先端を急に回転させたり、無理な力をかけないでください。
※ **破損の原因**となります。

解除ボタンを押しながらフック先端を回転させ、巻フタフックを解除します。

※ 事故防止のためフックを使用しない時はフック先端を壁に寄せてください。

保持するとき　　解除するとき



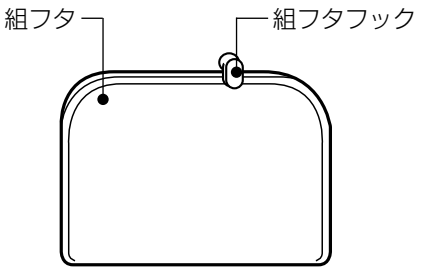
■組フタフックの使い方

⚠ 注意

組フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※ **破損したり、ケガをする恐れ**があります。

組フタをスライドさせて収納します。

※ 組フタフックの形状が異なる場合があります。

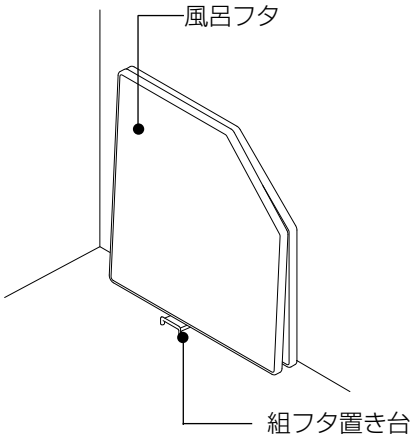


■組フタ置き台の使い方

⚠ 注意

組フタ置き台を踏んだり、無理な力をかけないでください。組フタ置き台を使用しないときは、誤って踏んだりしないよう、置き場所に注意してください。
※ **破損したり、ケガをする恐れ**があります。

風呂フタを組フタ置き台に置き、風呂フタを壁に立てかけます。

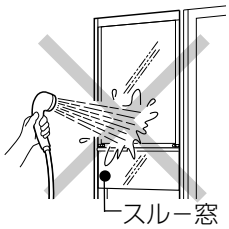


収納部を使う

■間仕切ユニット収納の使い方

⚠ 注意

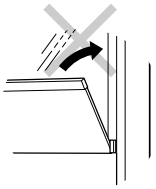
間仕切ユニット収納タイプスルー窓に直接水をかけないでください。
※ 浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。

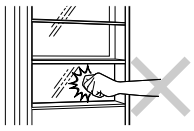


浴室内側、浴室外側の収納棚に10kg以上のものを載せないでください。
※ 棚が外れて、**ケガをする恐れ**があります。

お願い

スルー窓ストッパーで止まった位置からそれ以上は無理に開けないでください。
また、浴室外側からスルー窓を叩いて開けないでください。
※ 樹脂面材が割れたり、スルー窓が**破損し脱落する恐れ**があります。

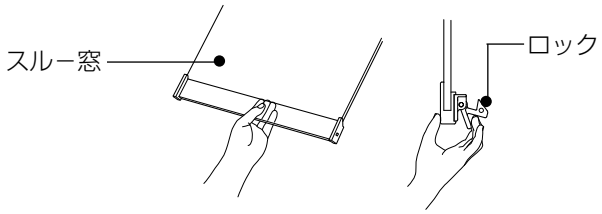


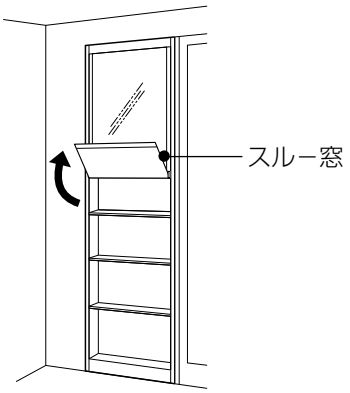


（浴室外側）

間仕切ユニット収納のスルー窓部は浴室内側、浴室外側の両方から収納することができます。
浴室内側からスルー窓を開けてご使用ください。

※ スルー窓を開ける時は、浴室内側からロックを外してから開けてください。
浴室外側から開けることはできません。





握りバーを使う

■スライドフック付握りバーの使い方

⚠ 注意

スライドフックを鏡や壁にぶつけたりしないでください。
※スライドフックや壁がキズついたり、鏡が割れて**ケガをする恐れ**があります。

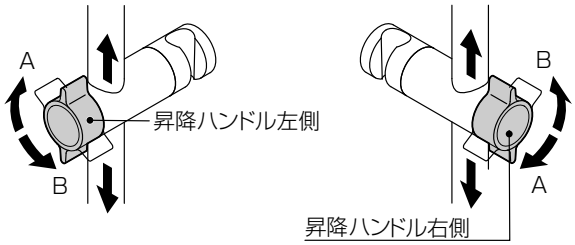
お願い

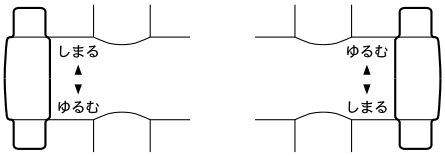
昇降ハンドルは矢印A、Bの方向に強く回しすぎないでください。
※昇降ハンドルが**破損する恐れ**があります。

● 高さを調節するには

❶ 昇降ハンドルを、イラストの矢印Aの方向に回します。
スライドフック本体をお好みの位置に合わせます。

❷ 昇降ハンドルをイラストの矢印Bの方向に回します。
スライドフック本体を固定します。

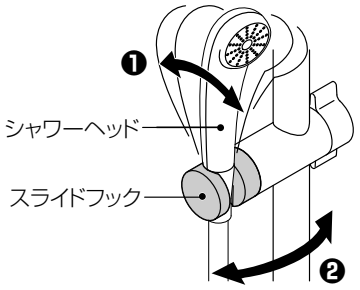




● 散水方向を調節するには

❶ シャワーヘッドをスライドフックに掛けます。
シャワーヘッドを前後に動かし、散水方向を調節します。

❷ ハンドルをゆるめ、スライドフックの向きを回転させて、散水方向を調節します。

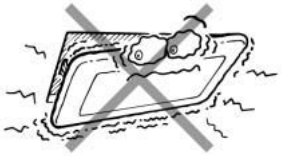


換気扇・暖房機を使う

※ 当社以外の換気扇、暖房機が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

⚠ 警告

フロントカバーは確実に取り付けてください。
※ **落ちてケガをする恐れ**があります。



換気扇・暖房機運転中はフロントカバーを外して羽根に触れたり、指や棒を入れないでください。
※ **感電やケガ、故障の恐れ**があります。

ガス漏れに気づいた時は、換気扇・暖房機のスイッチを入・切しないでください。
※ **爆発や引火の恐れ**があります。

⚠ 注意

異常な振動や音が発生した場合は、直ちに使用を中止してLIXIL修理受付センターまたは、各暖房機の製造メーカーへ修理を依頼してください。
※ 本体や部品の落下により**ケガをする恐れ**があります。

長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
※ **絶縁劣化による感電や漏電火災の恐れ**があります。

お願い

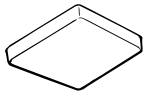
換気扇や暖房機の吸込口をタオル等でふさがないでください。
※ **故障の原因**となります。

換気機能を使用する時は、窓やドアを開けないでください。
※ 十分な換気ができません。

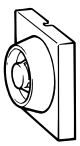
入浴後は窓を開けたり、換気扇や暖房機の換気機能を使用する等、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。
※ 浴室にこもった湿気は、悪臭やカビの発生原因になります。

■換気扇・暖房機の種類

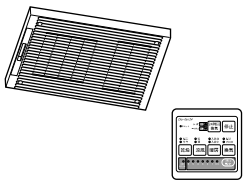
お使いの器具をご確認ください。
（　）内は換気扇・暖房機の取扱説明書品番を示します。



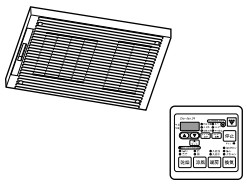
天井換気扇
UF-23A（GPU-0047）
UF-26A（GPU-0135）



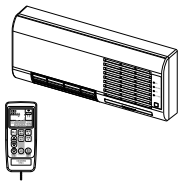
壁付換気扇
UF-19A
UF-19B
（GPU-0026）



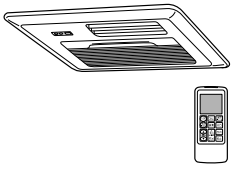
電気式換気乾燥暖房機
（100V、200V）
UFD-16A（GPU-0265）
UFD-17A（GPU-0267）



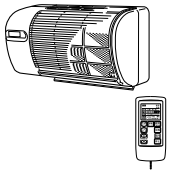
電気式換気乾燥暖房機除菌イオンタイプ
（100V、200V）
UFD-16PA（GPU-0266）
UFD-17PA（GPU-0268）



電気式洗面室暖房機
SH-3A (GPU-0269)



温水式換気乾燥暖房機
UFDW-1B (GPU-0272)



温水式洗面室暖房機
SHW-1A (GPU-0120)

■換気扇を使う

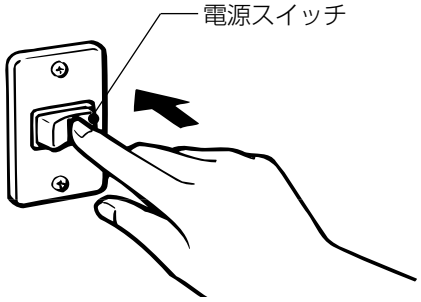
換気扇のスイッチは付属品ではありません。（建築側で用意）
下記とは異なる場合があります。

ONE POINT ワンポイント

●入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用する等して浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。

● 入浴中

換気運転を停止することをお勧めします。
※入浴中に換気運転をする場合、フロントカバーから水滴が落ちてくることがあります。
また、ドアの通気部分からの冷たい空気により肌寒く感じることがあります。



● 入浴後

浴室内に水残りがある場合は、タオル等でふきとってください。
浴槽に湯水がある場合は、湯水を抜くかフタをしてください。

カビを生えにくくするため、入浴後は換気運転することをお勧めします。
※換気扇を運転する場合は、窓やドアを閉めてください。

ONE POINT ワンポイント

●冬場や湿気が多いとき等、フロントカバーから水滴が落ちることがありますが、換気扇内の結露水によるもので異常ではありません。
●頻繁に水滴が落ちてきたり、色がついた水滴が落ちてくる場合は、フロントカバーに水が溜まっている可能性があります。「お手入れガイド」を参考にフロントカバーのお手入れをしてください。

● 常時換気機能付換気扇の場合（UF-26A）

三菱電機（株）製スイッチ（P-04SWL5）の場合

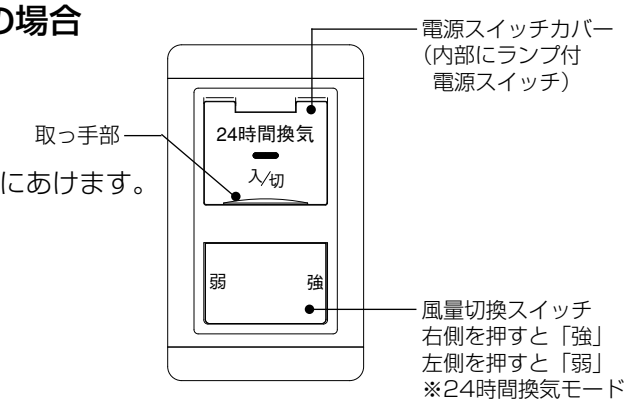
・ 風量を「強」・「弱」に切り換えられます。
・「弱」で24時間運転をすることをお勧めします。

❶ 電源スイッチカバーの取っ手部に指を掛けて上側にあけます。

❷ 電源スイッチ操作

① 右側を押すと「入」ランプが点灯します。

② 左側を押すと「切」ランプが消灯します。



ONE POINT ワンポイント

●常時（24時間）換気機能付の場合は、入浴後「強」運転を行い、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してから常時換気運転を行ってください。なお、常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

■換気乾燥暖房機の使い方

詳しくは各換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

● 入浴前

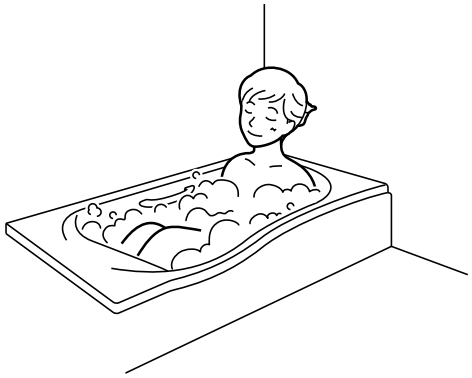
暖房

冬場等、浴室が寒いときには、入浴の30分～60分前から、「暖房」もしくは「暖房（入浴前）」運転を行うと浴室全体が暖かくなります。
※浴室のサイズ、季節、窓の有無等によって暖房効果は異なります。

● 入浴中

換気

換気運転を停止することをお勧めします。
※入浴中に換気する場合、暖房機本体から水滴が落ちることがあります。また、ドアガラリからの冷たい空気により肌寒く感じることがあります。



暖房

「暖房（入浴中）」を運転することをお勧めします。
※ 温風が直接身体にあたると肌寒く感じることがあります。

「暖房（入浴中）」運転することをお勧めします。
※「暖房（入浴中）」がない機種もあります。
温水式の場合は、風量「自動」を選択すると、浴室内温度、経過時間で自動的に風量を低下させます。また、風量「弱」に切替えることで風量を低下させることもできます。

ONE POINT ワンポイント

常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

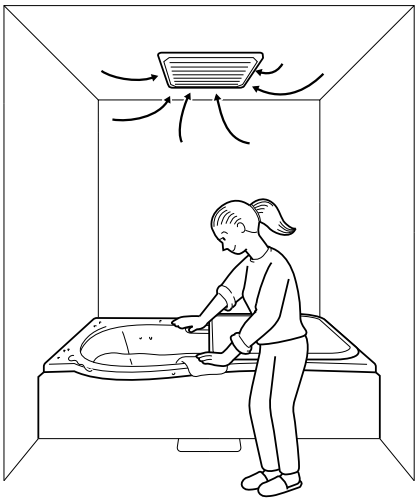
● 入浴後

浴室内に水残りがある場合はタオル等で軽くふきとってください。

浴槽に湯水がある場合は、湯水を抜くかフタをしてください。

カビを生えにくくするため、入浴後は「換気」もしくは「乾燥」運転することをお勧めします。

通常の「換気」「乾燥」のほかに、「ブロー換気」、「クリーン換気」、「クリーン乾燥」機能を備えた機種もあります。この場合は、「ブロー換気」、「クリーン換気」、「クリーン乾燥」運転することをお勧めします。
※「クリーン換気」、「クリーン乾燥」では除菌イオンの放出により、浴室内のカビの増殖をより一層抑えることができます。



ONE POINT ワンポイント

●冬場や湿気が多いとき等、フロントパネルから水滴が落ちることがありますが、換気乾燥暖房機内の結露水によるもので異常ではありません。

●頻繁に水滴が落ちてきたり、色がついた水滴が落ちてくる場合は、換気乾燥暖房機内部に水が溜まっている可能性があります。2時間以上「乾燥」運転を行い、内部を乾燥させてください。
また、入浴後には「換気」または、「乾燥」運転を行ってください。

● 衣類乾燥について

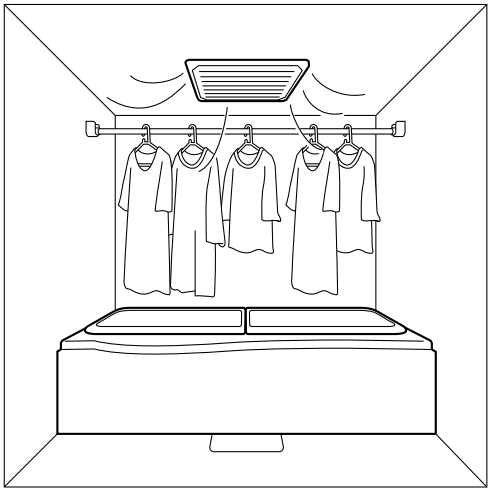
浴槽に湯水が残っている場合は、風呂フタをして浴室の湿気をよくふきとります。

洗濯物は十分脱水してください。

乾きにくい洗濯物は温風吹出口の近くに吊るしてください。

洗濯物の間を温風が通り抜けるように間隔をあけてください。

※ 乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により、乾燥時間が長くなる場合があります。

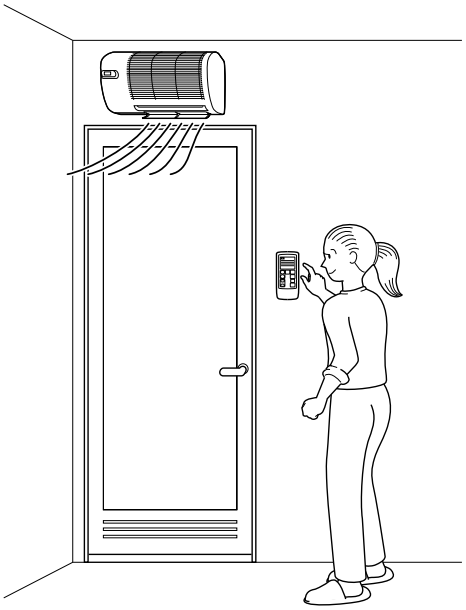


■洗面室暖房機の使い方

詳しくは各洗面室燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

● 入浴前

冬場等、洗面室が寒いときには、入浴の30分～60分前から、「暖房」運転を行うと洗面室が暖かくなります。
※ 洗面室の広さ、断熱状態、窓の有無等の使用条件によって暖房効果は異なります。



温水式換気乾燥暖房機との連動運転（暖房のみ）の場合

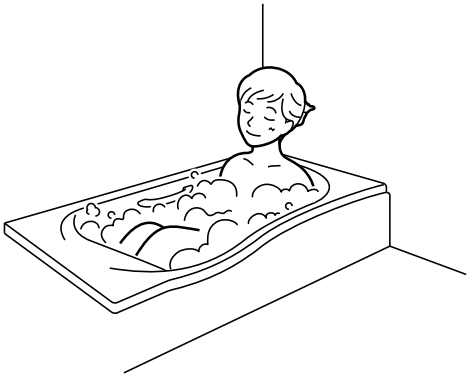
※連動運転の使い方は、暖房機・給湯器の取扱説明書をご覧ください。

ONE POINT ワンポイント

運転状態は毎回以下のようになります。
風量「自動」、温度「高」、タイマー「換気乾燥暖房機のタイマー時間」

● 入浴中

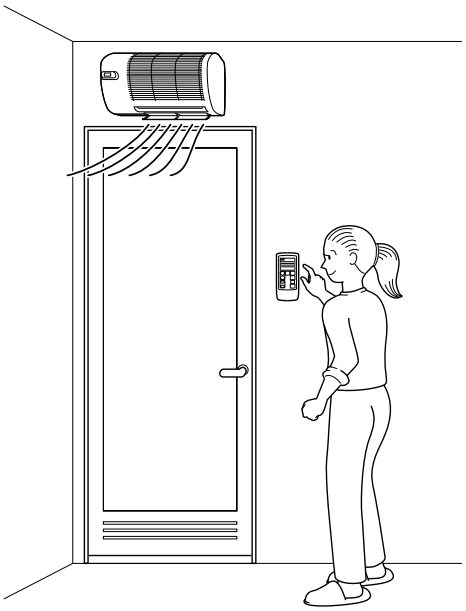
洗面室の温度低下防止のため、状況に応じて「暖房」運転を継続することをお勧めします。



● 入浴後

温風が直接身体にあたると肌寒く感じることがあります。
状況に応じて「暖房」運転を停止させてください。

夏場等は「涼風」運転することで、扇風機代わりにも使用できます。



ランドリーパイプを使う

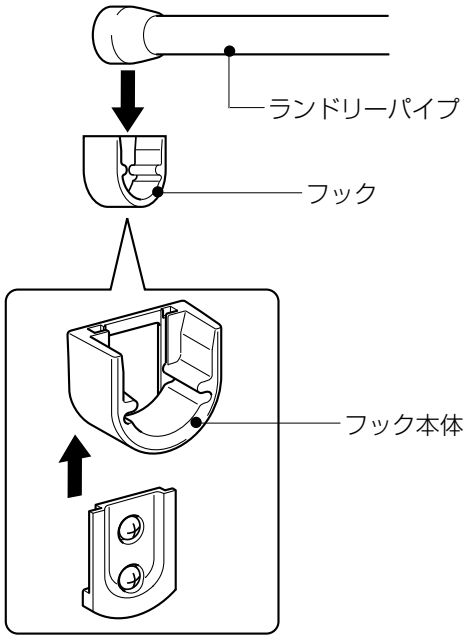
⚠ 注意

ランドリーパイプにぶら下がったり、強く引っ張らないでください。
※ **ケガの恐れ**があります。
※ 洗濯物の安全荷重の目安は10キログラムです。

■ランドリーパイプの取付け方

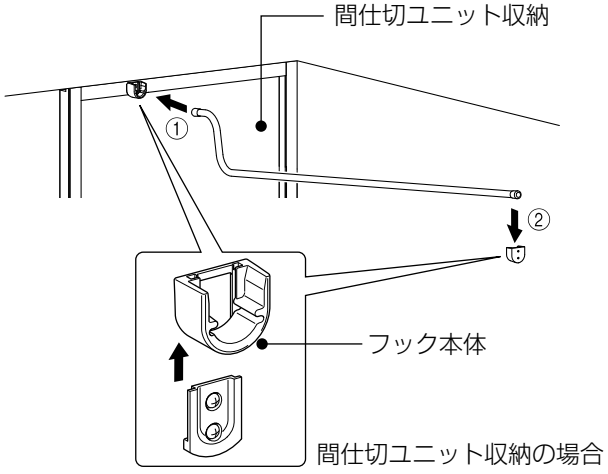
ランドリーパイプを、浴室の壁にあるフックに確実にはめ込んでください。

※フック本体は上にスライドさせると取り外すことができます。



間仕切ユニット収納がある場合のランドリーパイプ（L型）は、まず間仕切ユニット収納側のフックにはめ込み（①）、それから反対側のフックにはめ込んでください（②）。

※フック本体は上にスライドさせると取り外すことができます。



アクアジェットを使う

⚠ 警告

- 安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
- 使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
- 浴槽内にもぐらないでください。
- お子さまだけで入浴中の場合は、運転させないでください。
  ※ 髪や身体の一部が吸い込まれて、おぼれたり**ケガをする恐れ**があります。

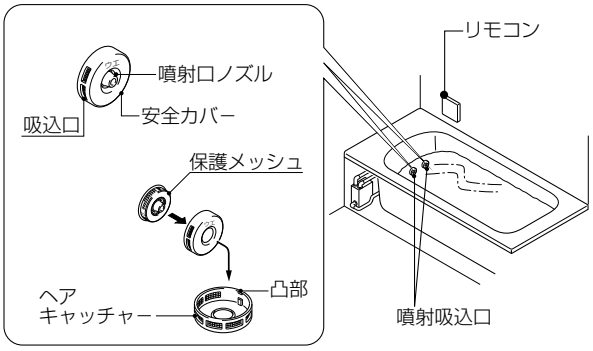
⚠ 注意

次の方はアクアジェットを使用しないでください。
妊産婦、心臓疾患のある方、高血圧の方、泥酔している方、睡眠薬を服用している方、体力の衰えている方、持病のある方
※ 身体に**異常を起す恐れ**があります。

アクアジェットは15分以上使わないでください。
※ 心臓に**負担をかける恐れ**があります。

■アクアジェットの使い方

詳しくはアクアジェットの取扱説明書（GPU-0174）をご覧ください。



● 2穴タイプの場合

ジェットの部分を押すことで、運転を開始します。
再度押すと停止します。

つよさの部分を押すことで噴流強さが切り替わります。

リモコン（2穴タイプ）

● 4穴タイプの場合

ジェットの部分を押すことで、運転を開始します。
再度押すと停止します。

つよさの部分を押すことで噴流強さが切り替わります。

位置の部分を押すことで噴流位置が切り替わります。

リモコン（4穴タイプ）

※ 停止忘れ防止のためタイマーが内蔵されており、15分後に自動的に停止します。
交換部品については92ページの交換部品のご案内を参照ください。

お手入れ方法/お手入れについて

お手入れのコツ

■いつもキレイで快適なお風呂であるために

お風呂につかると「ヌルッ！」、タイルや壁も「ヌルヌルッ！」
これではせっかくの気持ちいいバスタイムが台無しですね。ツルツル＆ピカピカなお風呂で快適なバスタイムを過ごすためにも、カビを生えなくしましょう。

最後に入浴された方がその日の汚れを落とします。
浴室をいつまでもきれいに使っていただくためには、最後に入浴された方がお手入れをする習慣をつけることが大切です。

まずは熱めのシャワーで汚れを浮かせて流します。
最後に浴室をお使いになられた方は、壁・浴槽・床・鏡・水栓等に熱めのシャワーをかけて汚れを落とします。浴槽等にこびりついた汚れはやわらかいスポンジを使いこすり落とします。

最後に浴室の温度と水分を取り除きます。
その後、水のシャワーをかけて室内の温度を下げます。最後に、水が残っている部分は乾いた布等でふきとり、十分な換気をすることが効果的です。

■もしカビが生えてしまったら

カビはふくだけで落ちる場合もありますが、これだけでは完全に死滅しません。カビ取り剤を使わないと除去できません。

そこで、カビの上手な除去方法をご紹介します。

※ ゴム手袋、マスク、保護メガネ（水泳用ゴーグルでも代用できます。）等着用の上でお手入れをしてください。

※ 肩の高さより高い場所には、カビ取り剤を直接スプレーしないでください。

❶ 窓を開けるか、換気扇を回します。

❷ カビ取り剤をカビの部分に塗っていきます。

❸ そのまま、しばらく置いて、カビの色が消えるのを待ちます。

❹ シャワーの水でよく洗い流します。

❺ まだ汚れが気になるようなら、浴室用クリームクレンザーとブラシを使ってこすり落としてください。

※ カビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

■汚れの種類とお手入れの道具、目安について

汚れの種類は様々です。
浴室には多くの種類の汚れがあり、汚れによりお手入れ方法も違います。・・・P42

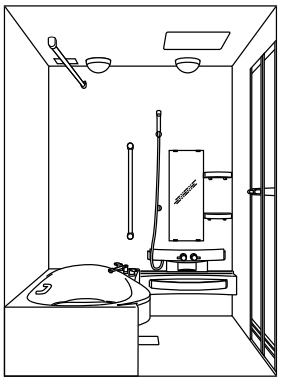
お手入れに特別なものは不要です。
これだけの道具をそろえておけば、お手入れに困りません。・・・P43、44

場所によって、お手入れの頻度が異なります。
汚れやすい場所は、週に１度、あまり汚れない場所は月に１度等、メリハリをつけます。・・・P45

お手入れ方法/お手入れについて

汚れについて

浴室の汚れは意外と多く、お手入れ方法もさまざまです。
汚れの色や発生する場所から汚れの正体を特定し、それぞれに適したお手入れをされると効果的です。

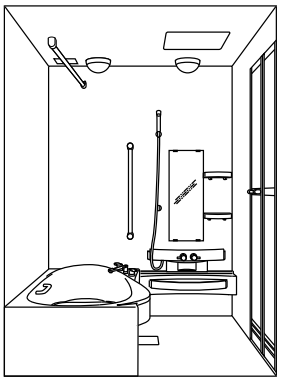


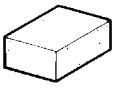
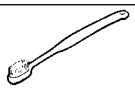
種類	色	発生しやすい場所	原因・特徴	お掃除方法
水アカ、湯アカ	白 褐色	鏡 水栓（金属部分） 浴槽（水面部）等	水道水に含まれるケイ酸が積み重なったもの。または、水道水に含まれるカルシウム等が酸素や二酸化酸素と結びついて炭酸カルシウムとなったもの。表面が白っぽくてざらつくのが特徴です。	軽い汚れは、水洗いで簡単に落とします。こびりついた汚れは、浴室用合成洗剤（中性）でこすり落とします。浴槽の水面付近についた汚れは、洗剤をかけて2～3分おいてからこすると、落ちやすくなります。
カルシウム石けん	白	床 ドア 鏡 浴槽まわり等	石けん分や身体の脂肪分が水道水に含まれるカルシウム等の金属成分と反応してできるもの。表面が白っぽくてざらつく硬い汚れが特徴です。	軽い汚れは、浴室用合成洗剤（中性）でこすり落とします。ガンコな汚れは、浴室用クリームクレンザーでこすり落とすか、歯ブラシと歯みがき粉でこすり落とします。（鏡には歯ブラシを使わないでください。）
金属（銅）石けん	青 薄紫	鏡 浴槽内側等	配管や配管に使われている銅管、給湯器内部からわずかに溶け出した銅イオンと、石けんやアカに含まれる脂肪酸が反応してできるもの。	銅イオンは新築当初の銅管の表面が新しいときに溶け出しやすいですが、通常は数ヶ月くらいでおさまります。なお、水質によっては長年にわたり出続ける場合もあります。こびりついた汚れは、浴室用クリームクレンザーで表面をキズつけないようにこすり落とします。
カビ	黒 紫 ピンク等	浴室全体	温度・水分・栄養源（石けんカスや湯アカ、人のアカ等）がそろう場所で発生する微生物の一種。	入浴後は汚れが残らないように隅々まで十分に洗い流し、換気を心がけましょう。発生してすぐの場合は、浴室用合成洗剤（中性）で落とします。落ちにくい場合は、市販のカビ取り剤で落とします。 ※ カビ取り剤を使用する際は、製品の注意表示をよくご覧ください。 ※ 詳細は、「もしカビが生えてしまったら」をお読みください。
サビ	赤茶	床 浴槽まわり等	金属の表面が酸素と化合した、または湿気や腐食性ガスに侵されて発生する化合物。	発生を防ぐには、金属表面の汚れを取り除き、水滴をふきとっておきます。ガンコな汚れは、浴室用合成洗剤（中性）や浴室用クリームクレンザーで落とし、からぶきをします。
もらいサビ			ぬれたヘアピンやカミソリ、スプレー缶等に発生したサビが付着したもの。または水道水に含まれる微量の鉄粉が付着したもの。	ガンコな汚れは、浴室用クリームクレンザーで表面をキズつけないようこすり落とします。
ヌメリ	―	排水口周辺等	排水口等水がたまる場所にできるぬるぬるしたもの。水分がある状態で細菌が付着し、汚れを栄養に細菌が繁殖した時に発生してできるもの。	浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてお掃除します。
ピンクヌメリ	ピンク	排水口周辺 床等	ピンク色のヌメリ汚れ。酵母が皮脂等を養分に発生してできるもの。	浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてお掃除します。

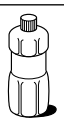
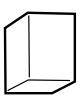
お手入れ方法/お手入れについて

用意するもの

汚れに適した道具と洗剤を用意します。
お手入れは効果的にしましょう。



道具	
スポンジ  （高い場所用には、長い柄付のスポンジ）	手にあまるぐらいの大きなやわらかいスポンジがお勧めです。広い範囲を少ない動きでお掃除することができます。 メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。 ※ メラミンフォームとはメラミン樹脂製のスポンジのことです。使い方は、洗剤を使わず水を含ませて汚れをこすり落とします。使用していくうちに消しゴムのようにすりへっていきます。
やわらかい布 	ぞうきんはもちろん、着古したＴシャツや、使い古したタオル等でも。 ※こんな裏技：水切ワイパーや吸水性の高い洗車タオルなら浴室の水分を素早く取ることができます。
ゴム手袋 	折り返して使うと、水や洗剤が入りません。中に綿素材の手袋をしたうえにゴム手袋をすると、肌荒れ防止になります。
浴室用ブラシ 	床等の広範囲でのこすり洗いに。素材を傷めないためにも、毛先が樹脂製のものがお勧めです。 ※サーモフロアのお掃除には、先割れタイプの細かなブラシをお使いください。
歯ブラシ 	使い古しの毛先が広がっているものをお使いください。

洗剤	※カビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
浴室用合成洗剤（中性） 	浴室用には、湯アカ、石けんカス等による汚れに強い成分が配合されています。洗剤が残ると変色やシミの原因となるので、使用後はよく洗い流してください。肌の弱い方には台所用もお勧めします。
浴室用クリームクレンザー 	弱アルカリ性の微粒子クレンザーです。こすりすぎると素材にキズがついたり、逆につやが出すぎたりすることがありますので、ご注意ください。また、常用はしないでください。
カビ取り剤 	アルカリ性の洗剤でカビを落とします。スプレーしたあと、規定外の長時間放置したり、洗剤が残ると変色やサビ、ゴムの劣化の原因となるので、使用後はよく洗い流してください。
風呂釜用洗浄剤 	発泡する泡でパイプ内や風呂釜内部の汚れを落とします。

お手入れ方法/お手入れについて

⚠ 警告

- カビ取り剤等の使用中、使用後は必ず十分に換気してください。
- カビ取り剤を使用の際は、目や服に飛沫がかからないようにご注意ください。
  ※ マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の着用をお勧めします。
- 塩素系の洗剤、洗浄剤と酸性タイプの洗剤、洗浄剤を混ぜて使用しないでください。（同時使用および前後の使用でも有害な塩素ガスが発生します）

⚠ 注意

- 洗剤ラベルに記載されている使用上の注意をよく読みお使いください。
- 洗浄剤は、使用されている給湯器に適したものを使用してください。

お願い

粉末クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダ等の薬品は使用しないでください。
※ **キズ、変色等の原因**になります。
カビ取り剤等の薬品を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで正しくお使いください。また、使用後はすみやかに水でよく洗い流してください。

メラミンフォーム（P.43参照）は水栓金具の印字部分（温度表示や切替表示等）には使わないでください。
※ 温度表示等の**印字が消える恐れ**があります。

どのようなタイプの洗剤・洗浄剤でも、浴槽や床・壁・カウンターには塗布後長時間放置しないでください。洗剤分を残さないように十分水で洗い流してください。
※洗剤分が残っていると、材質が**変色したり変質する恐れ**があります。

カビ取り剤を使った後、長時間放置したり洗剤が残ると表面が変色することがあります。
また、水栓金具やドア枠等にサビが生じたり、排水栓のゴム部が劣化することがあります。カビ取り剤使用後は、洗剤が残らないようによく洗い流してください。

浴室用合成洗剤（中性）以外を使用する場合は、事前に目立たないところで変色等ないか確認してください。

オレンジオイル配合の洗剤は使わないでください。
※**樹脂部品を傷める恐れ**があります。

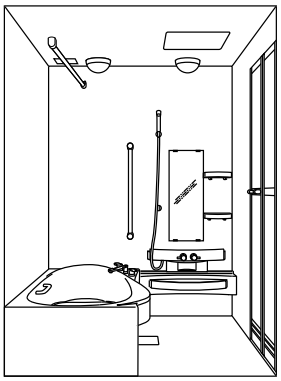
使わないで	
硬いスポンジ 金属タワシ、ナイロンタワシ	表面にキズをつけ、傷めてしまう原因になります。
「酸性」「アルカリ性」表示のある洗剤、洗浄剤	表面が変色したり、シミになる原因になります。
粉末クレンザー、磨き粉等研摩力の強いもの	表面にキズをつけ、傷めてしまう原因になります。
シンナー・アセトン等の溶剤 ・塩酸等の薬品類および上記を含む洗剤・洗浄剤	表面が変色したり、シミになる原因になります。

お勧めの洗剤	
スーパークリーナー万能Jr.くん	中性植物性の洗剤です。 ホームセンター等で購入できます。
クリームクレンザージフ　バスクリーナー	粒子の細かい研磨剤入りコンパウンドです。 ホームセンター等で購入できます。

お手入れ方法/お手入れについて

お手入れの目安

入浴のたびに汚れる部位や、日々汚れがたまっていく部位等、浴室のお手入れはさまざま。
汚れの具合や頻度によって、計画的にお手入れされることをお勧めします。



部位	日常	週に１回	月に１回	半年に１回または 汚れが目立ってきたら	参照ページ
浴槽	最後に入浴された方が ① シャワー等でその日の汚れ（石けんカスや皮脂、アカ等）を洗い流します。 ※ 浴槽や風呂フタはスポンジでかるくこすります。 ② その後、水のシャワーをかけて温度を常温程度に下げます。 ③ 乾いた布等で残っている水をふき取ります。 ④ 窓を開けるか換気扇を回します。			浴室内の金属石けんを浴室用クリームクレンザーでこすり落とします。	46
追いだき口（循環口）		フィルターの汚れを歯ブラシで落とします。	風呂釜用の洗浄剤で配管を洗浄します。		46
風呂フタ		細部の汚れは歯ブラシで落とします。		スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすります。	47
浴槽排水口		たまったゴミや毛髪を取り除きます。			47～48
壁		スポンジでなで洗いします。		カビをカビ取り剤で落とします。	49
床		床まわりのコーキング材を浴室用合成洗剤（中性）で洗います。	目地の汚れを浴室用合成洗剤（中性）とブラシでこすり落とします。	カビをカビ取り剤で落とします。	50～51
天井			長い柄のついたスポンジで軽くこすります。		51
床排水トラップ		ヘアキャッチャーについたゴミや毛髪を取り除きます。	排水トラップ内部の汚れを落とします。		52～59
浴槽下				エプロンを取り外してお掃除します。	60～62
鏡		スポンジでなで洗いします。		スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすります。	63
握りバー タオル掛		乾いたやわらかい布で汚れをふきとります。		浴室用合成洗剤（中性）を含ませたスポンジでやさしくふきとります。	64
収納部 カウンター		浴室用合成洗剤（中性）を含ませたスポンジでやさしくふきとります。		収納棚を外し、浴室用合成洗剤（中性）で洗います。	64～66
水栓		スポンジでなで洗いします。	付着している石けんカスや水アカを浴室用合成洗剤（中性）で落とします。	ストレーナー、整流口の汚れを落とします。	67～74
ドア	しめらせた布で汚れをふきとります。			ドアやドア下、ドアのまわりのパッキン等の汚れには、歯ブラシで落とします。	75～78
照明				浴室用合成洗剤（中性）を含ませたスポンジでやさしくふきとります。	79～82
換気扇 暖房機			フロントカバー・本体（換気扇）やフィルター（暖房機）をお掃除します。	フロントカバーやフィルター、リモコン等を薄めた浴室用合成洗剤（中性）でお掃除します。	83～86

お手入れ方法/浴槽まわりのお手入れ

浴槽のお手入れ

日常

浴槽に熱めのシャワーをかけて汚れを洗い流します。浴槽にこびりついた汚れはやわらかいスポンジでこすり落とします。その後水のシャワーで温度を下げ、最後に水をふきとります。

※ 汚れが落ちにくい場合は、浴室用合成剤（中性）をスポンジにつけてこすり洗いをします。

汚れが目立ってきたら

浴槽内やふちにこびりついた白い汚れは、「カルシウム石けん」と呼ばれるがんこな汚れです。
スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすり落とした後、水で洗い流してください。

※ 強くこすらず、4～5回磨いては水をかけ、これを繰り返して落とします。

追いだき口（循環口）のお手入れ

※ 当社以外の追いだき口（循環口）が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになりお掃除してください。

⚠ 注意

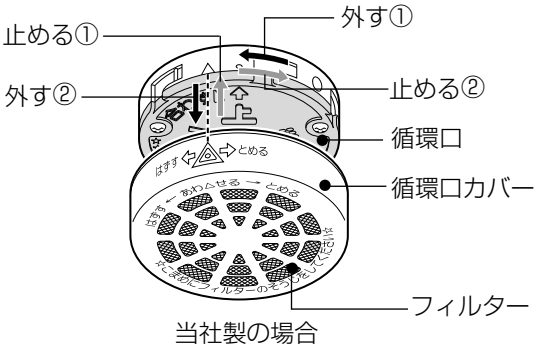
市販の風呂釜用洗浄剤に記載されている注意事項、使用方法にそってご使用ください。
※ 詳しい内容は、機器の取扱説明書をご参照ください。

お掃除の後は、循環口カバーを正しい位置に固定してください。
※ 循環口カバーが正しい位置に固定されていないと、給湯器の温度制御ができず、沸きあがりの湯温がずれる原因となります。

フィルターに湯アカや毛髪がたまると、目詰まりを起こし、湯沸し機能が正しく働かない場合があります。

週に１回

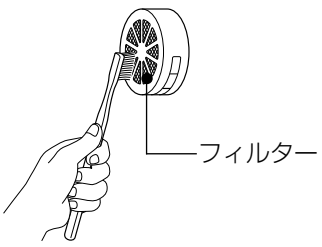
❶ 循環口カバーを「はずす」の方向（左）へ回し、循環口カバーの△と循環口の△を合わせてから手前に引いて外します。



当社製の場合

❷ 循環口カバー（フィルター）のゴミを歯ブラシ等で取り除きます。

❸ 循環口カバーの△と循環口の△を合わせてはめ込み、「とめる」の方向（右）へ止まるまで回します。



月に１回

市販の風呂釜用洗浄剤を使用してください。

※ 風呂釜用洗浄剤には1口用と2口用があります。追いだき口に適合する風呂釜用洗浄剤をお使いください。

風呂フタのお手入れ

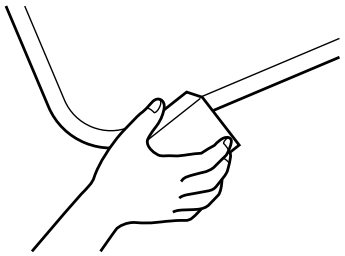
日常

飛び散った水アカや石けんカスにシャワーをかけて洗い流します。その後軽くからぶきをしておくとより美しく保てます。

※ 汚れが落ちにくい場合は、浴室用合成剤（中性）をスポンジにつけてこすり洗いをします。

週に１回

巻フタの狭い場所や、組フタの細かい凹凸、縁の部分等汚れやすい部分は歯ブラシ等も使って念入りに洗ってください。シャワーで洗い流した後は、月に一回程度、陰干しして乾燥させることをお勧めします。



汚れが目立ってきたら

スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけてこすってください。

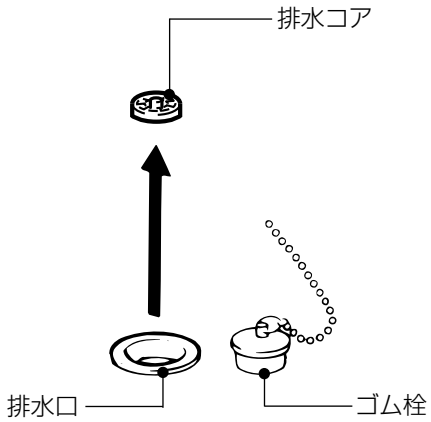
浴槽排水口のお手入れ

■ゴム栓の場合

週に１回

❶ 排水コアのツマミをつまんで取り出しゴミを取り除いてください。

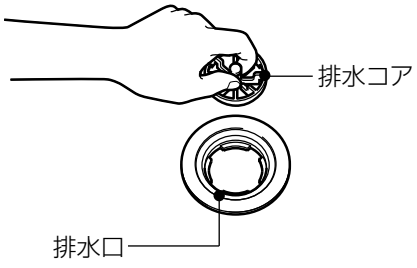
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



❷ 排水コアを排水口に取り付けます。

※ 斜めに浮いた状態にならないよう排水口底面にきちんと押し当ててください。
押込みが不十分な場合は浴槽の湯張りができなくなります。

※ 排水コアを外したまま使用しないでください。
排水管詰まりの原因となります。

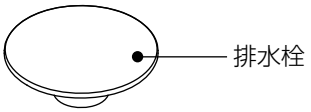


■プッシュワンウェイ排水栓の場合

● 排水口のお手入れ

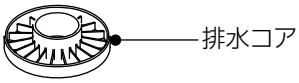
週に１回

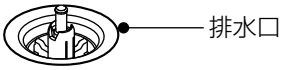
❶ 排水栓（密閉栓）をまっすぐ上に引っ張って取り外します。



❷ 排水口から排水コアを取り外し、排水コアについているゴミを取り除きます。

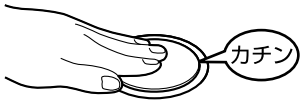
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。





❸ 排水コアの突起をつまんで取り付けます。

※ 排水コアを外したまま使用しないでください。排水管詰まりの原因となります。



❹ 排水栓を排水口に取り付けます。

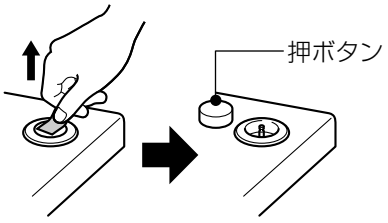
※「カチン」というまではめ込んでください。

❺ 押ボタンを押して排水栓の開閉を確認してください。

● 押ボタンのお手入れ

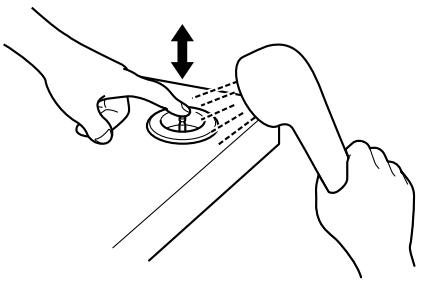
汚れが目立ってきたら

❶ 押ボタンにガムテープもしくは吸盤を張って、１度押し込んでから引き上げ、ボタンを外します。



❷ 外れた押ボタンのヌメリやゴミを取り除きます。

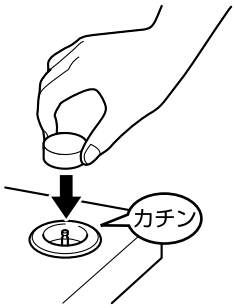
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



❸ シャワーを当てながら中央の突起部を押し、上下に動かしてください。動きがスムーズになるまで、続けます。

※ 押ボタンに入り込んだ水は浴槽下から排水されるので問題ありません。

❹ 押ボタンを取り付けます。
※「カチン」というまではめ込んでください。

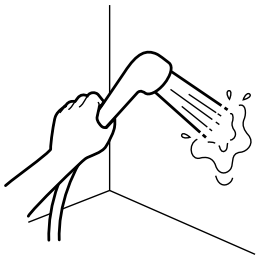


お手入れ方法/壁・床・天井のお手入れ

壁のお手入れ

日常

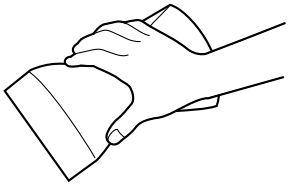
❶ 飛び散ったシャンプー・リンス・石けんの泡にシャワーをかけて洗い流します。
※ このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



❷ 換気扇を回すか、窓を開けます。

週に1回

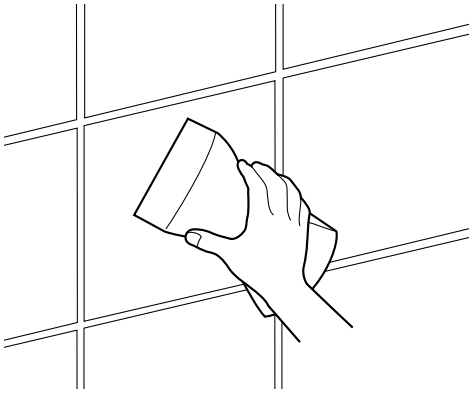
浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてなで洗いした後、水で洗い流してください。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



■タイル目地の場合

週に1回

浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてなで洗いした後、水で洗い流してください。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



汚れが目立ってきたら

目地にカビが発生しているときは、市販のカビ取り剤をお使いください。

※ カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

※ カビ取り剤等は肩より高い場所に直接スプレーしないでください。顔や衣服にカビ取り剤が付着することがあります。

お手入れ方法/壁・床・天井のお手入れ

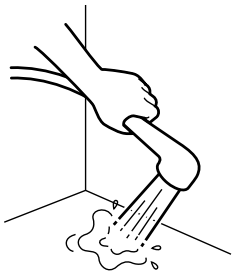
床のお手入れ

お願い

はじめてご使用になる場合は、床にホコリ等が付着していることがありますので、浴室用合成洗剤（中性）でお掃除されることをお勧めします。
床表面は水はけの良いモザイクパターンになっていますが、一部に水滴が残り乾燥に時間がかかることがあります。また、入浴時使用のリンス等の汚れの固着により、床の乾燥性が悪くなる場合があります。月に1回、浴室用合成洗剤（中性）で床をお掃除されることをお勧めします。
※ 床に残った大きな水滴は、お掃除用のスポンジやブラシ、ワイパー等で除去しておくと乾燥に時間がかかりません。

日常

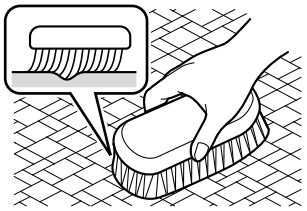
❶ 床に熱めのシャワーをかけて、表面の汚れを洗い流します。こびりついた汚れは浴室用ブラシ（毛先が樹脂製のもの）でこすり落とします。その後、水のシャワーで洗い流し、軽くからぶきをします。



❷ 換気扇を回すか、窓を開けます。

月に１回

モザイクパターンは床が汚れていると水はけの性能が落ちてしまいます。浴室用合成洗剤（中性）と毛先が樹脂製の浴室用ブラシでモザイクパターンに合わせて、縦・横にこすり洗いをします。



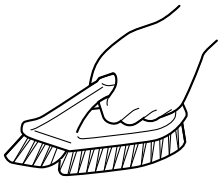
■サーモフロアの場合

● サーモフロアのお手入れ

※ 日常のお手入れは、床のお手入れと同様です。

汚れが目立ってきたら

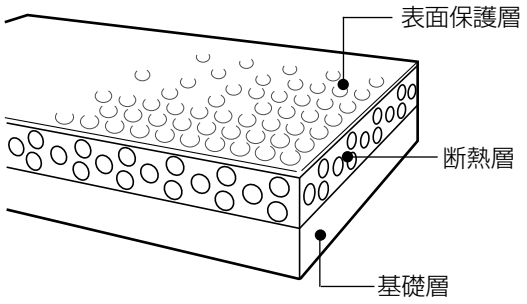
サーモフロアは、洗い場コーナー付近等に黒ずんだ汚れが発生することがあります。
この汚れは浴室用合成洗剤（中性）やカビ取り剤で取り除くことができない場合があります。
そのような場合は、先割れタイプの細かいブラシ（毛先が樹脂製のもの）を使い、かき出すようにすると取り除くことができます。



※ 先割れタイプのブラシはホームセンター等で購入できます。

● サーモフロアのしくみ

サーモフロアは床本体（基礎層）の上に、微細な中空バルーンを含んだ約2mm厚の独自の断熱層を重ねた構造を採用しています。
この断熱層の効果で従来の床に比べ床に触れたときに足裏から逃げる熱を抑え、浴室に入ったとき足に感じる「冷たさ」を軽減することができます。



■床まわりのコーキング材の場合

週に1回

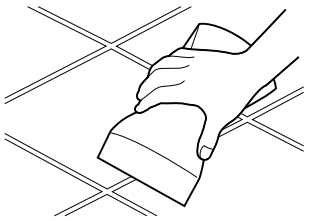
浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけてなで洗いした後、水で洗い流してください。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。

汚れが目立ってきたら

目地にカビが発生しているときは、市販のカビ取り剤をお使いください。

※ カビ取り剤や防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

※ 床まわりのコーキング材が切れたりはがれたりしている場合、漏水する恐れがあります。目地材が切れたりはがれたりしている場合は、修理を依頼してください。（P.90）

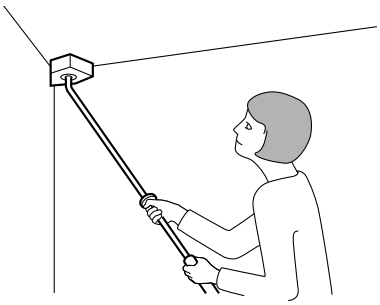


天井のお手入れ

月に１回

❶ 水分にホコリがついて固まると、カビが生えやすくなります。長い柄がついたスポンジ等に浴室用合成洗剤（中性）をつけて軽くこすります。

❷ 汚れを落とした後は、洗剤分を残さないようによく水で洗い、乾いた布で水分をしっかりふきとってください。



床排水トラップのお手入れ

スタンダード排水口の場合（標準）

⚠ 注意

排水トラップ本体のフランジは絶対にゆるめないでください。
※排水トラップが外れ、**漏水の原因**となります。

週に１回

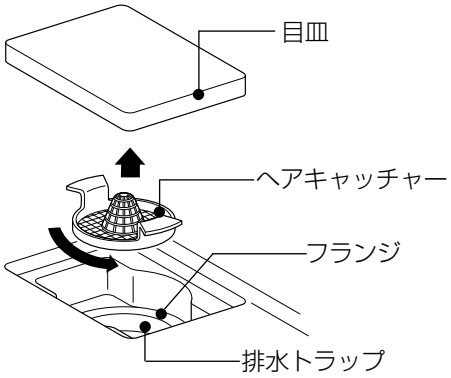
■ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ

❶ 目皿を外し、ヘアキャッチャーを左（反時計回り）に回して取り外します。

❷ ヘアキャッチャーや排水トラップ周囲にたまったゴミを取り除きます。汚れは歯ブラシ等で落とします。

❸ 目皿や目皿のまわりについているヌメリや汚れを落とします。

❹ お掃除後は右（時計回り）に回して取り付け、目皿を元通りにセットしてください。
※ ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲にゴミがたまったまま使用しないでください。排水が遅くなったり、排水管の詰まりの原因になります。
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



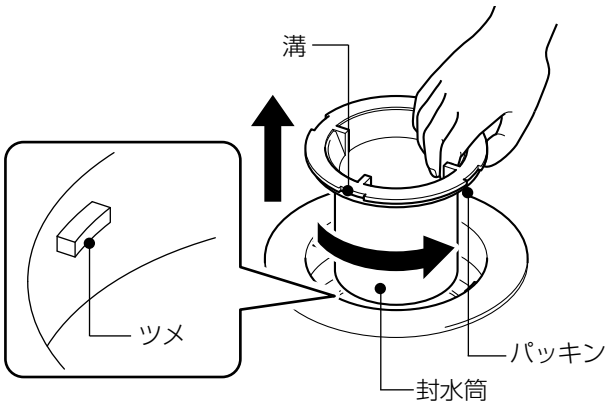
月に１回

■封水筒・排水トラップ内部のお手入れ

❶ 封水筒を左（反時計回り）に「止まるまで」回し、排水トラップのツメと封水筒の溝の位置を合わせ上へ引き上げます。

❷ 封水筒と排水トラップ内の汚れをスポンジや歯ブラシ等で洗い落としてください。
※ 封水筒に取り付いているパッキンは外さないようにしてください。

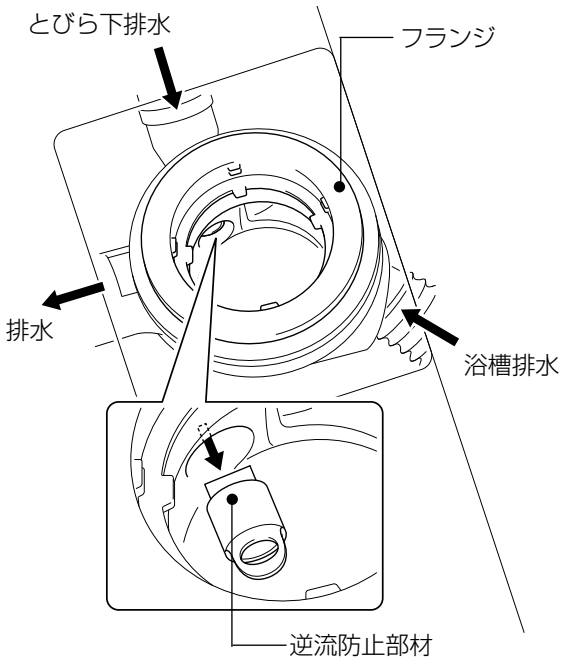
❸ お掃除後は、封水筒を排水トラップのツメの位置に合わせて入れ込み、「止まるまで」右（時計回り）に回してください。



ドアのとびら下排水口が流れにくくなったら（洗い場とドアの下枠との段差が3mmの場合）

■とびら下排水管・逆流防止弁のお手入れ

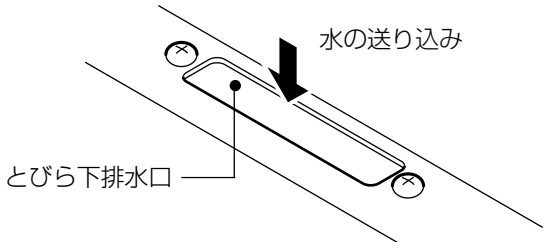
ドアから脱衣室への漏水を防ぐために、ドアのとびら下排水口から排水トラップへとびら下排水管が接続されています。このとびら下排水管には、洗い場の排水口に流れ込んだ水がドア側へ逆流するのを防ぐために、逆流防止弁が取り付けられています。



❶ 封水筒を外し（封水筒のお手入れ参照）、逆流防止弁をとびら下排水管より引き出します。

❷ 逆流防止弁およびとびら下排水管周囲のゴミを取り除き、汚れを歯ブラシ等で落とします。

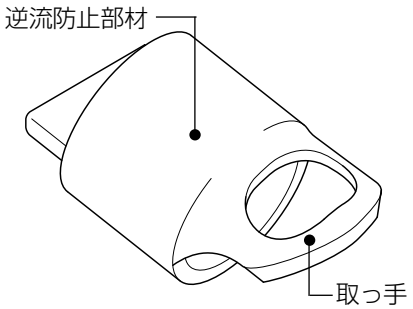
※ お掃除の際は、逆流防止弁を一緒に流してしまうことのないよう注意してください。



❸ ドアのとびら下排水口よりシャワー等で水を送り、とびら下排水管内の汚れを排出します。

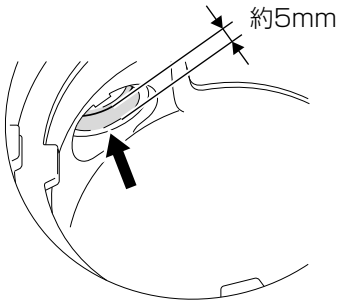
※ ドアのとびら下排水口・排水溝のゴミは必ず事前に取り除いてください。詳細は、ドアのお手入れの項を参照ください。

※ 排水溝より水があふれたり、飛散しないよう注意してください。



❹ お掃除後は逆流防止弁を方向（取っ手が上になるよう）に注意し、奥まで確実に押し込んでください。

※ 逆流防止弁は排水トラップ側面から約5mm取っ手が飛び出した状態が正しい取付状態です（右下図参照）。確実に押し込まれていないと逆流防止機能が発揮されず、ドアから漏水する恐れがあります。



❺ 封水筒を取り付けてください。
（封水筒のお手入れ参照）

くるりんポイ排水口の場合（オプション）

⚠ 注意

排水トラップ本体のフランジは絶対にゆるめないでください。
※ 排水トラップが外れ、**漏水の原因**となります。

■くるりんポイ排水口のしくみ

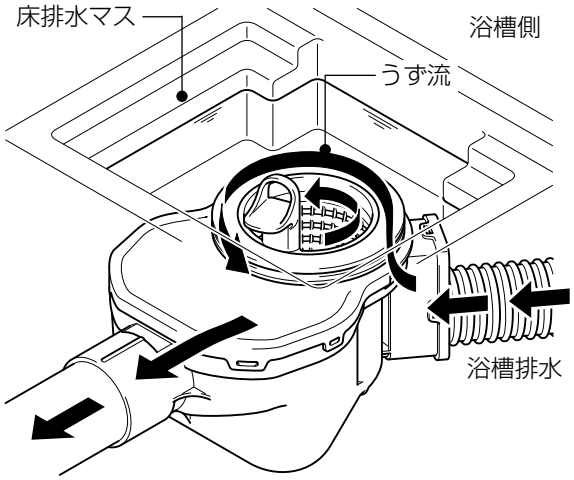
● くるりんポイ排水口とは

浴槽の排水でトラップ内に「うず流」を発生させ、排水口部のお掃除をより簡単にします。

・「うず流」でヘアキャッチャー内の汚れをすすぎ、目詰まりしにくくヌメリのもとを減らします。
・「うず流」で髪の毛やゴミ等をまとめ、捨てやすくします。

※ 浴槽の水位が高い状態から排水すると床排水マスに一時的に排水がたまりますが、床排水マスのゴミ等を集めるためのもので異常ではありません。

※ 浴槽排水をしない場合や、水位が低い場合（約150mm以下）等は、十分に効果が得られないことがあります。

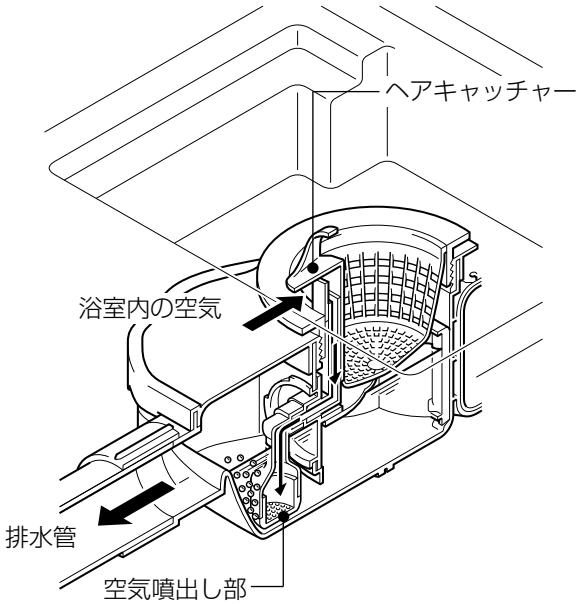


● 給気構造について

排水中に排水管内で負圧が発生した場合に排水トラップの中の水（封水）が一時的に不足して異音が発生することがあります。
この排水トラップには異音を抑えるために浴室内の空気をヘアキャッチャーから取り込み、空気噴出部から噴出し排水管へ送り込む構造になっています。

※ 空気を送り込む際、給気音がしますが異常ではありません。

※ ご使用状態、排水管の経路によっては空気を取り込まない場合もあります。

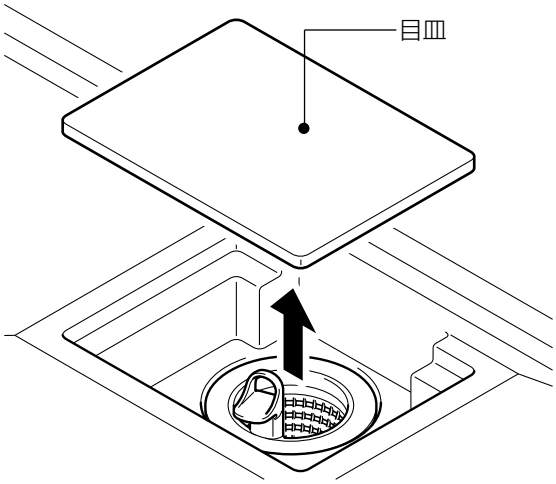


週に１回

■ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ

❶ 目皿を外し、ヘアキャッチャーを真上に引き抜いて取り外します。

※ ヘアキャッチャーは回さないでください。回すと外れなくなる恐れがあります。

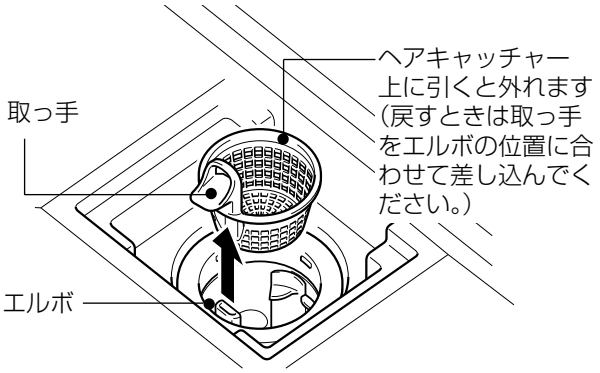


❷ ヘアキャッチャーにたまったゴミを取り除きます。汚れはスポンジや歯ブラシ、細いブラシ等で落とします。

❸ 排水トラップ周囲や目皿の汚れをスポンジや歯ブラシ等で落とします。

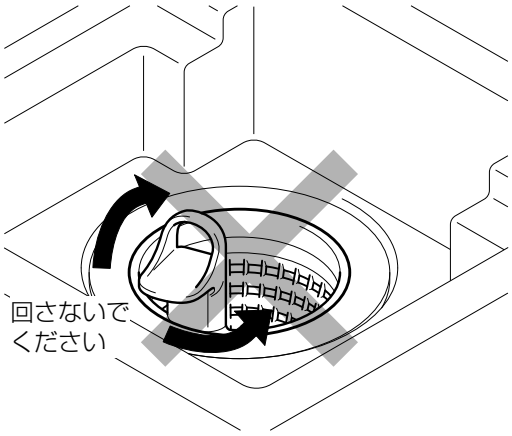
※ ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲にゴミがたまったままで使用しないでください。排水が遅くなったり、排水管の詰まりの原因になります。

※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



❹ お掃除後はヘアキャッチャーの取っ手をエルボの位置に合わせて真上から差し込みます。

※ ヘアーキャッチャーは回したり、傾けたりしないでください。取り付かない場合があります。



ONE POINT ワンポイント

ヘアキャッチャーのゴミがぬれた状態の方がより取り除きやすいため、排水直後のお手入れをお勧めします。

お手入れ方法/壁・床・天井のお手入れ

月に１回

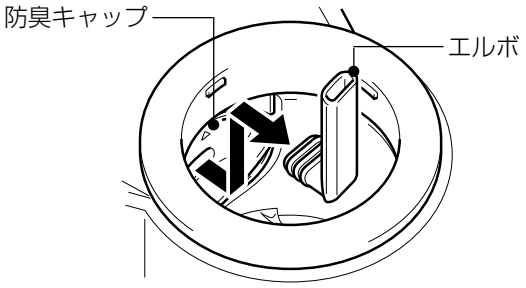
■エルボのお手入れ

❶ 排水トラップ内のエルボを横に引き抜いて取り外します。

❷ 汚れをスポンジや歯ブラシ、細いブラシ等で洗い、エルボの内側は、綿棒等で汚れを落とします。

❸ お掃除後は、エルボを防臭キャップの穴に最後までしっかり押し込みます。

※ お掃除の際は、エルボを一緒に流してしまうことのないよう注意してください。

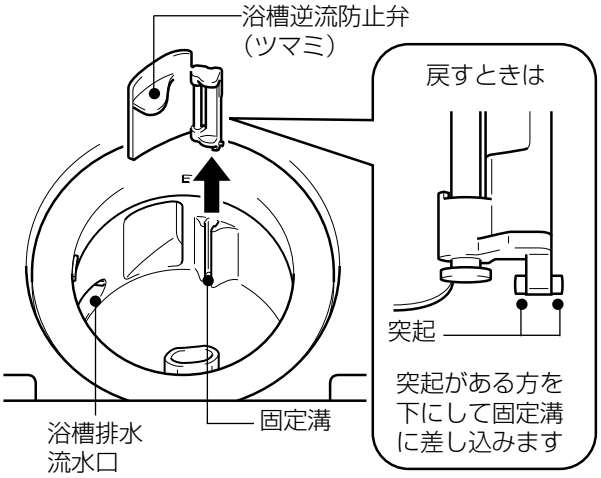


■浴槽逆流防止弁のお手入れ

❶ 浴槽逆流防止弁のツマミを持って上に引き抜きます。

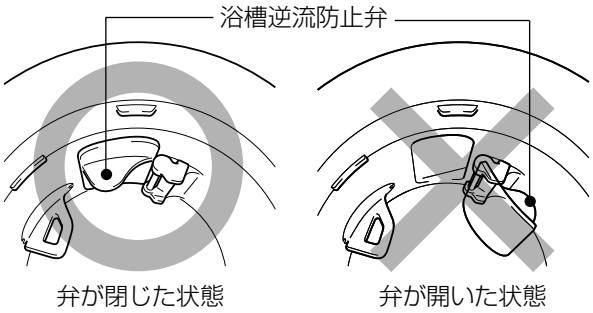
❷ 汚れをスポンジや歯ブラシ、細いブラシ等で洗います。

❸ お掃除後は、浴槽逆流防止弁を排水トラップ本体の固定溝に最後までしっかり差し込みます。（右図参照）



❹ 逆流防止弁が閉じた状態にします。（右図参照）

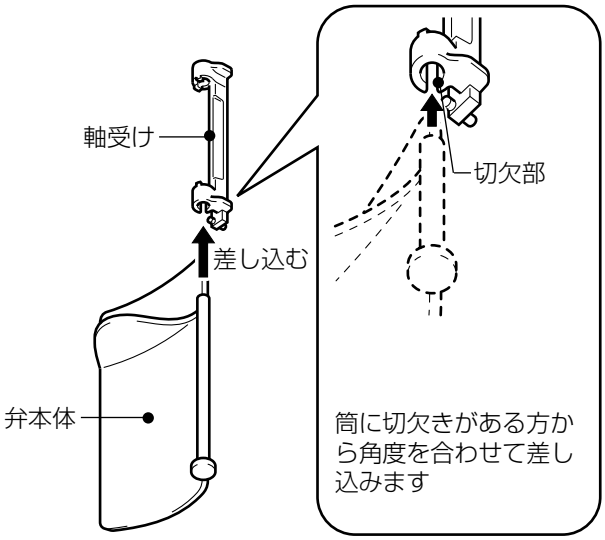
※ お掃除の際は、浴槽逆流防止弁を一緒に流してしまうことのないよう注意してください。

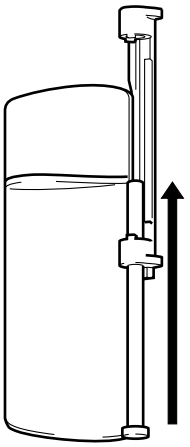


お掃除の時に浴槽逆流防止弁本体が軸受けから外れてしまったら以下の手順で元に戻してください

❶ 軸受けの下部から弁本体の軸を差し込みます。

※軸受けは切欠部を下にしてください。

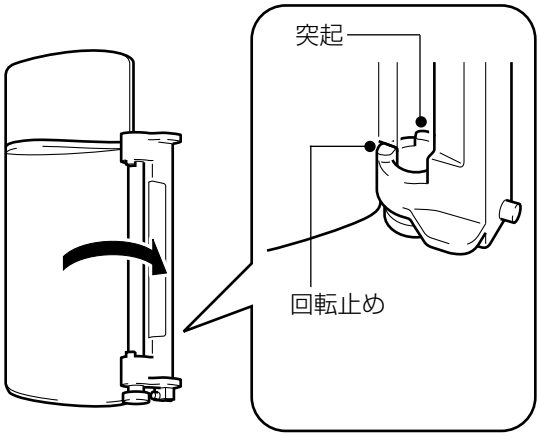




❷ 最後まで差し込んだら突起を越えるまで弁本体を回します。

※回転止めを越えないように注意してください。

❸「浴槽逆流防止弁のお手入れ」（P.56参照）の手順で排水トラップ本体に取り付けます。



■トラップ内部のお手入れ

❶ エルボと浴槽逆流防止弁を外し、トラップの内部をスポンジや歯ブラシ、細いブラシ等で汚れを落とします。

❷ お掃除後、エルボと浴槽逆流防止弁を取り付けます。

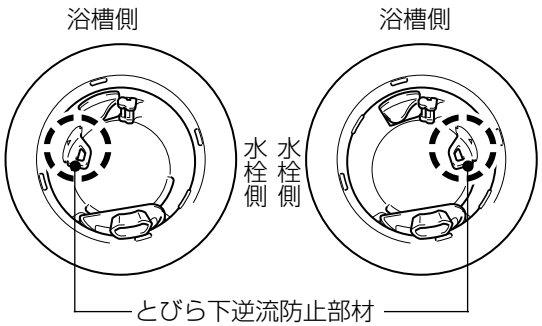
※ エルボのお手入れ（P.56）、浴槽逆流防止弁のお手入れ（P.56）を参照ください。

※ お掃除の際は、エルボや浴槽逆流防止弁を一緒に流してしまうことのないよう注意してください。

ドアのとびら下排水口が流れにくくなったら（洗い場とドアの下枠との段差が3mmの場合）

■とびら下排水管・逆流防止部材のお手入れ

ドアから脱衣室への漏水を防ぐために、ドアのとびら下排水口から排水トラップへとびら下排水管が接続されています。
このとびら下排水管には、洗い場の排水口に流れ込んだ水がドア側へ逆流するのを防ぐために、逆流防止部材が取り付けられています。

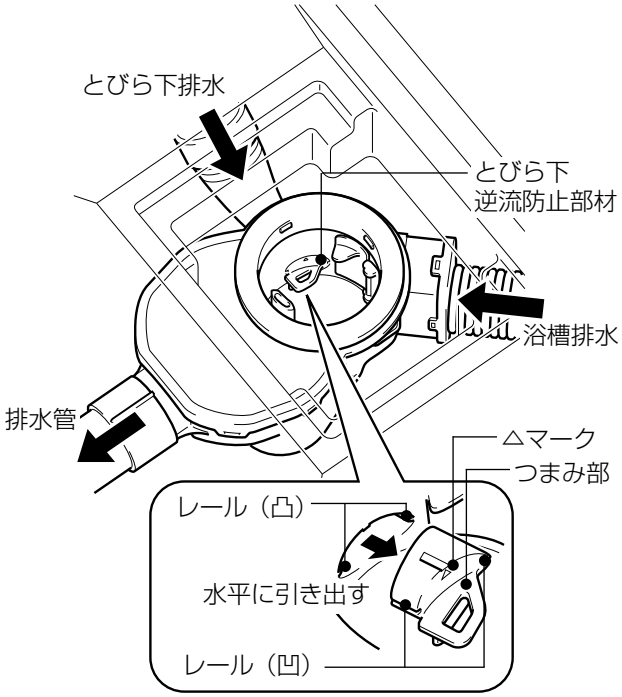


❶ 排水トラップより逆流防止部材のつまみ部を持って水平に引き出します。

※ 斜めに引っ張ると外しにくくなります。

❷ 逆流防止部材および排水管周囲のゴミを取り除き、汚れを歯ブラシ等で落とします。

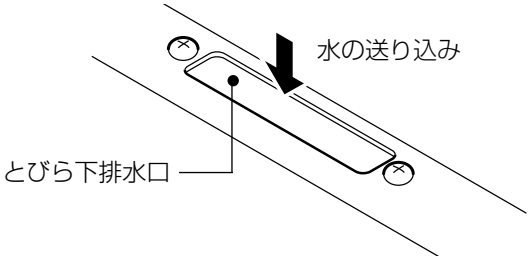
※ お掃除の際は、逆流防止部材を一緒に流してしまうことのないよう注意してください。



❸ ドアのとびら下排水口よりシャワー等で水を送り、排水管内の汚れを排出します。

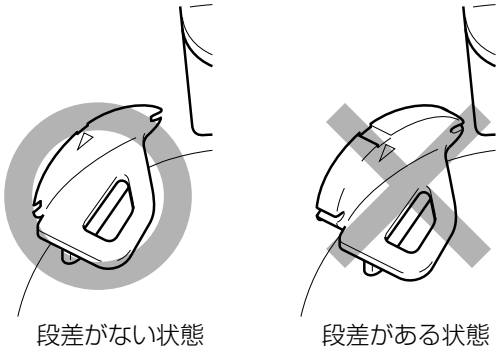
※ ドアのとびら下排水口・排水溝のゴミは必ず事前に取り除いてください。詳細は、ドアのお手入れ（P.75）を参照ください。

※ 排水溝より水があふれたり、飛散しないよう注意してください。



❹ お掃除後は逆流防止部材の【△マーク】を上にして両側のレール（凹）を排水トラップの穴の両側のレール（凸）に合わせて最後まで差し込みます。

※ 逆流防止部材は排水トラップ側面と段差が無いのが正しい状態です。確実に押し込まれていないと逆流防止機能が発揮されず、ドアから漏水する恐れがあります。



排水口から異臭がしてきたら・排水音（異音）が大きくなったと感じたら

■床排水トラップ内部・防臭キャップのお手入れ

❶ 防臭キャップからエルボを外します。

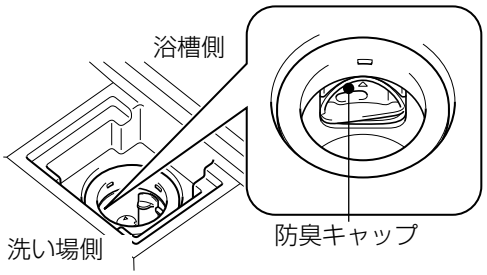
エルボのお手入れ（P.56）を参照ください。

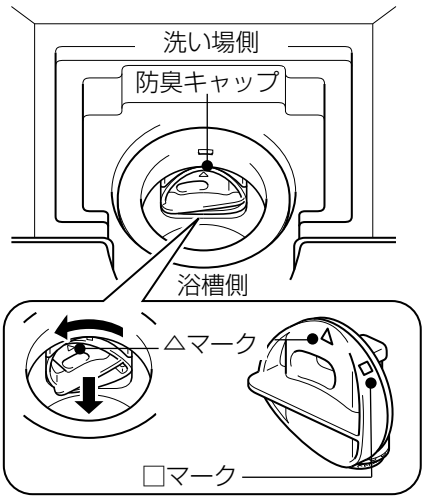
❷ 防臭キャップを左（反時計回り）に止まるまで回して取り外します。

❸ 排水トラップ、防臭キャップの汚れをスポンジや歯ブラシ等で落とします。
防臭キャップのパイプ内は綿棒等で汚れを落とします。

❹ 防臭キャップの空気噴出し部の目詰まりが取れない場合は空気噴出しキャップを左（反時計回り）に回し、外して汚れを落とします。

※ お掃除の際は、空気噴出しキャップやお掃除道具等を一緒に流してしまうことがないように注意してください。



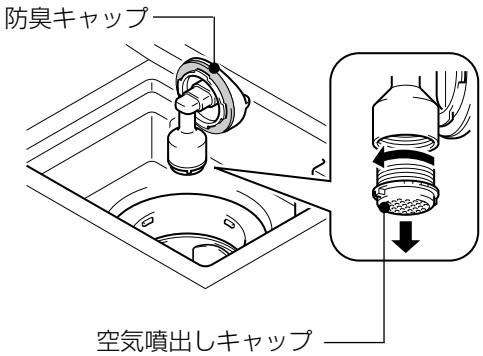


❺ お掃除後は、防臭キャップに空気噴出しキャップを防臭キャップに止まるまで右（時計回り）に回します。

❻ 防臭キャップの側面の【□マーク】を上にして穴に差し込み、【△マーク】が上にくるまで右（時計回り）に止まるまで回します。

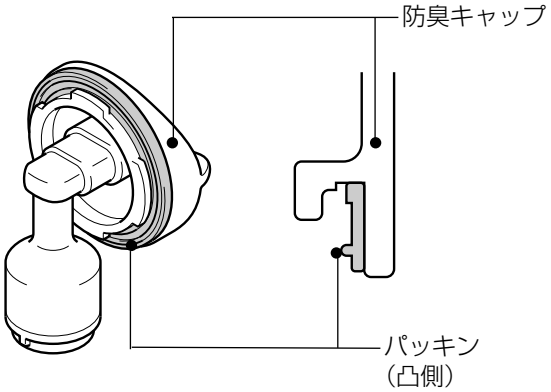
❼ エルボ、ヘアキャッチャーを取り付けます。

エルボのお手入れ（P.56）、ヘアキャッチャー・排水トラップ周囲のお手入れ（P.55）を参照ください。



※ お掃除の際、防臭キャップのパッキンが外れてしまった場合、右図のようにパッキンの外周に凸がある面が表になるように取り付けてから防臭キャップを取り付けてください。

※ お掃除後は、必ず防臭キャップを取り付けてください。下水管の臭いが上がってきたり、「うず流」が発生しなくなります。



お手入れ方法/壁・床・天井のお手入れ

浴槽下のお手入れ

⚠ 注意

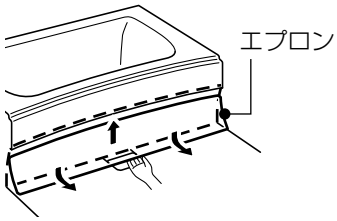
- 浴槽下のお掃除は、腕が露出しない服装で、ゴム手袋を使って行ってください。
  ※ **ケガをする恐れ**があります。
- 浴槽下には直接腕や手を入れないでください。
  ※ 突起部等で**ケガをする恐れ**があります。
- エプロンの取外しおよび取付けは、エプロン下中央を持って行ってください。
  ※ 端を持つと、防水パンとエプロンの間に指をはさみ、**ケガをする恐れ**があります。
- エプロンを取り付けた後は、確実に収まっていることを確認してください。
  ※ エプロンが外れ、**ケガをする恐れ**があります。

浴槽下のお掃除は浴槽目皿によって違います。浴槽目皿の種類を確認の上、お掃除を行ってください

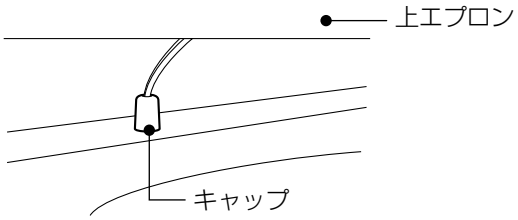
■ストレーナー仕様の場合

半年に１回

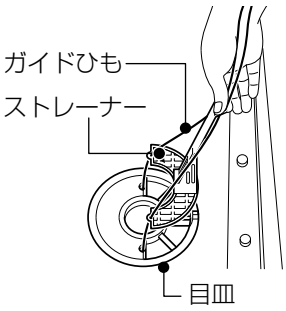
❶ エプロンを取り外します。
エプロンの下中央を持ち、軽く押し上げながら手前に引き出します。



❷ 防水パンに取り付いているキャップを取り外します。



❸ ガイドひもをたどり、ストレーナーの柄を持って目皿からストレーナーを外してください。

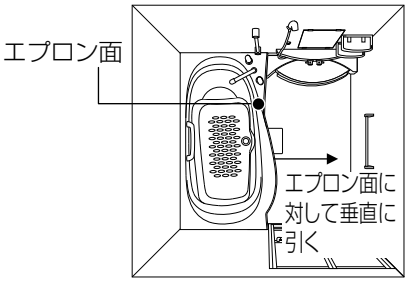


お手入れ方法/壁・床・天井のお手入れ

❹ ストレーナーについたゴミ、髪の毛等を取り除きます。ストレーナー自体が汚れている場合は、歯ブラシ等でお掃除してください。

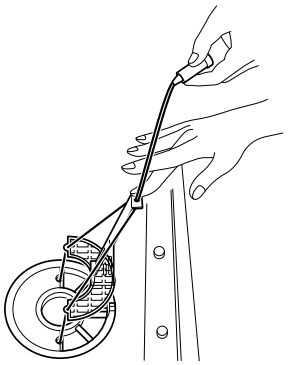
※ ストレーナーを外した状態で浴槽下に水を流したり、取り除いたゴミ等を直接排水口に流したりしないでください。
排水管の詰まりの原因となります。

❺ ガイドひもをエプロンの面に対し、垂直になるように引きながら図のように指先でストレーナーをカチッと音がするまではめ込んでください。

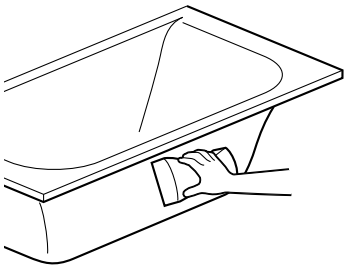


※ ストレーナー取付後は柄を軽く引っ張り、しっかりと取り付いていることを確認してください。しっかりと取り付いていない場合、使用中にストレーナーが外れゴミ等をキャッチできなくなります。

※ ガイドひもを強く引っ張らないでください。
部品が破損する恐れがあります。

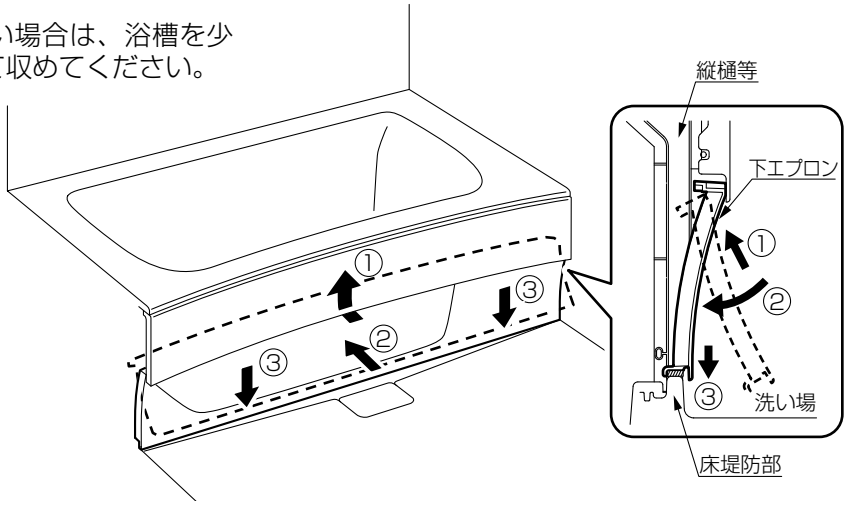


❻ サーモバスの場合の浴槽保温材のお掃除の際はスポンジ等をご使用ください。



❼ エプロンの取付け
エプロン上部を差し込み、両端部を壁に取り付けられている縦桶等に当ててそのまま上方へすべらせます。
エプロン下端を床堤防部に乗せ、エプロン下端のツメを引っ掛けて固定します。

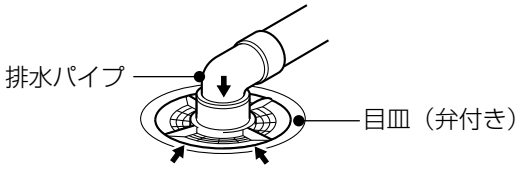
※ エプロンが収まりにくい場合は、浴槽を少し持ち上げるようにして収めてください。



■目皿仕様の場合

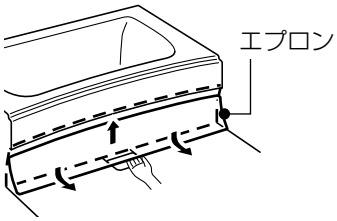
お願い

目皿を取り外してお掃除をした際は、目皿に排水パイプを確実に差し込んでください。
※浴槽排水が浴槽下（防水パン）へ流れ、汚れや悪臭の原因となります。

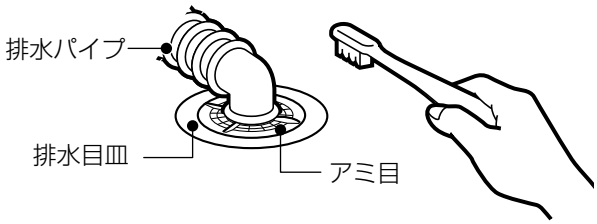


半年に１回

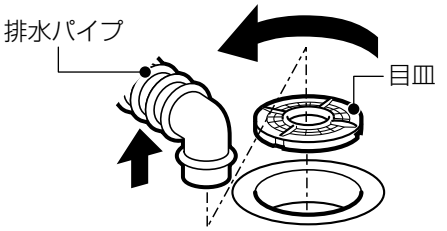
❶ エプロンを取り外します。
エプロンの下中央を持ち、軽く押し上げながら手前に引き出します。



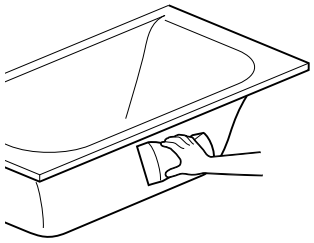
❷ 排水パイプ周りのアミ目に詰まった髪の毛・ゴミ等を歯ブラシ等でかき出して取り除きます。



❸ **ゴミ等の詰まりが著しくひどい場合**
排水パイプを目皿から取り外します。目皿を図の方向に回転させて取り外します。お掃除後、逆の手順で取り付けます。
※ 取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。

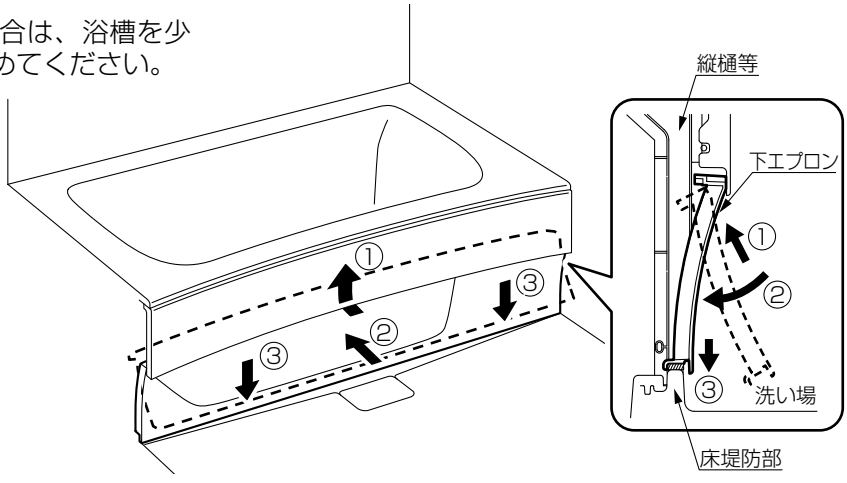


❹ サーモバスの場合の浴槽保温材のお掃除の際はスポンジ等をご使用ください。



❺ エプロンの取付け
エプロン上部を差し込み、両端部を壁に取り付けられている縦桶等に当ててそのまま上方へすべらせます。
エプロン下端を床堤防部に乗せ、エプロン下端のツメを引っ掛けて固定します。

※ エプロンが収まりにくい場合は、浴槽を少し持ち上げるようにして収めてください。



鏡のお手入れ

お願い

磨き粉等粒子の粗い研磨剤が入っているコンパウンドは鏡をキズつけてしまうのでご注意ください。

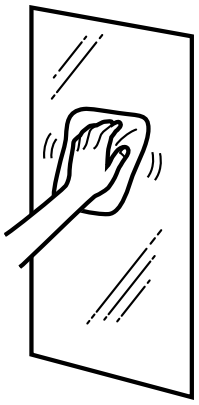
スポンジの硬い面やナイロンタワシ等硬いものは鏡をキズつけてしまうのでご注意ください。

日常

飛び散ったシャンプー・リンス・石けんの泡にシャワーをかけて洗い流します。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。

週に１回

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふき、シャワーをかけて洗い流します。このとき、軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。



汚れが目立ってきたら

スポンジに浴室用クリームクレンザーをつけて水アカのついた部分をこすり落とします。汚れを落とした後は、洗剤分を残さないようによく水で洗い、乾いた布で水分をしっかりふきとってください。

鏡がくもる場合は

鏡をくもりにくくする商品（鏡くもり止めキット）がありますので下記およびP.94を参照ください。

■鏡くもり止めキットでのお手入れ

❶ 水または固く絞ったきれいなタオルで鏡表面のホコリを除去した後、鏡表面の水分をふきとってください。

❷ 浴室鏡のクリーナーボトルをよく振った後、同梱の布に少量を取りむらなく直線的に数回こすってください。

❸ きれいなタオルを使いながら水で薬剤を洗い流した後、十分に乾燥させてください。（汚れのない乾いた面に塗る方が浴室鏡のくもり止めの効果が持続します。）

❹ 浴室鏡のくもり止めボトルをよく振った後、10～20cm離して鏡にスプレーし、ティッシュ等で一面に薄く広げて乾燥させてください。（半日程度乾燥状態で放置すると浴室鏡のくもり止めの効果が持続します。）

※ 入浴後にシャワーのお湯または水を全面にかけながら、やわらかいスポンジで洗っていただきますと、効果が持続します。

ONE POINT ワンポイント

鏡は長く使用している間に、塗膜を通して水分や酸素の影響を受けます。そして鏡の周辺部に黒っぽいシミのようなものが発生します。（浴室は湿度が高いため、周辺部以外にも発生することがあります。）この黒っぽいシミは取り除くことができないため、鏡のお取り替えのサインです。

お手入れ方法/アクセサリー類のお手入れ

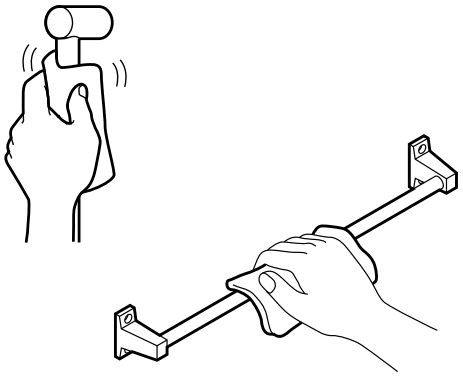
握りバー・タオル掛（タオルリング）のお手入れ

週に１回

乾いたやわらかい布で、汚れをふきとってください。

※ 硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがついたり、メッキがはがれたりします。

※ 酸・アルカリ性の洗剤等がつかないようにしてください。メッキを傷めます。



汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふき、シャワーをかけて洗い流します。

収納部・カウンターのお手入れ

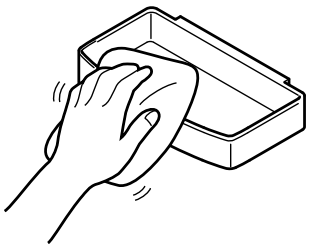
お願い

どのようなタイプの洗剤・洗浄剤でも、収納部やカウンター等には塗布後長時間放置しないでください。
洗剤分を残さないように十分水で洗い流してください。
※洗剤分が残っていると、**材質が変色したり変質する恐れ**があります。

シャンプーやリンスのボトルの底についた液だれを放置すると、カビやヌメリの原因となるため、収納棚やカウンター表面の汚れはこまめにふきとってください。

週に１回

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふき、シャワーをかけて洗い流します。



汚れが目立ってきたら

収納棚や収納部のとびらを取り外し、浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、隅々までの汚れを落とします。

シャワーをかけて洗い流し、収納棚や収納部のとびらを取り付けます。

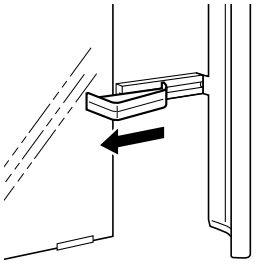
お手入れ方法/アクセサリー類のお手入れ

■収納棚の取外し方

● 扉付収納を取り外す

❶ 収納棚を横（鏡の方向）へスライドさせて外します。

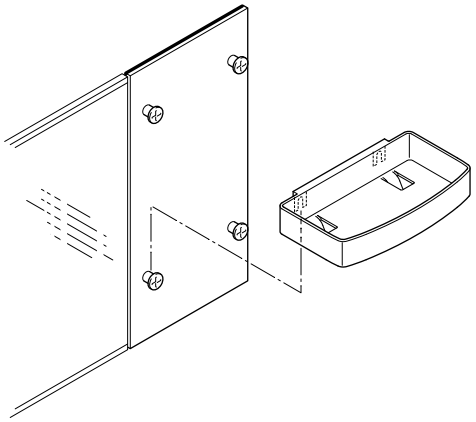
❷ 収納棚を水平にスライドさせて元通り取り付けてください。



● 小物フック付収納棚を取り外す

❶ 収納棚を上に持ち上げて外します。

❷ 収納棚が水平になるよう元通り取り付けてください。

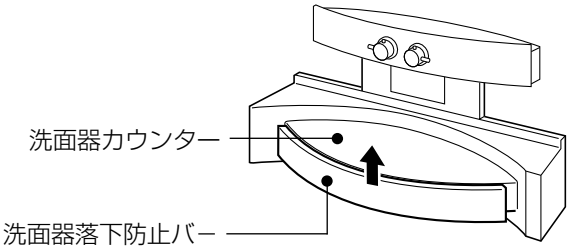


● 洗面器カウンターの洗面器落下防止バーを取り外す

❶ 洗面器落下防止バーを上にスライドさせて取り外します。

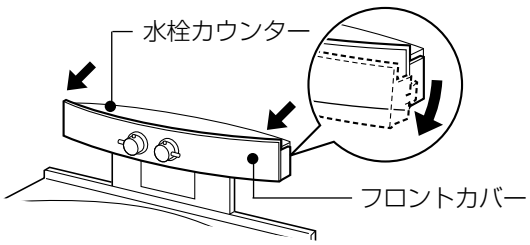
❷ 洗面器落下防止バーの裏面溝と洗面器カウンターの受け材の位置を確認し、下へ差し込むようにして元通り取り付けてください。

※ 洗面器落下防止バーの内側は歯ブラシ等でお掃除をしてください。



※ 水栓カウンターのフロントカバーの端部に力を加えると外れることがありますのでご注意ください。

※ フロントカバーの端部が外れた場合は、手前から差し込んで元通りにはめてください。



お手入れ方法/アクセサリー類のお手入れ

■掃除道具収納のとびらの取外し方

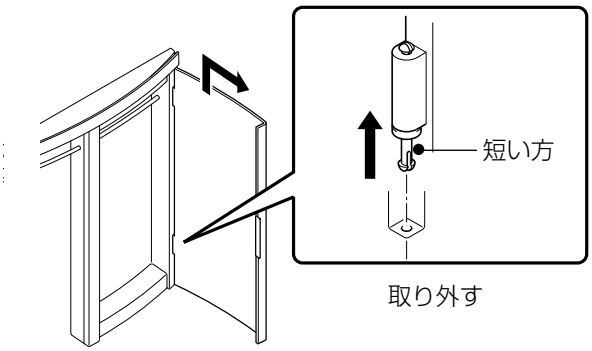
⚠ 注意

お掃除後は必ず元の位置に取り付けてください。
※ とびらが外れたり収納物が落下して、**ケガをする恐れ**があります。

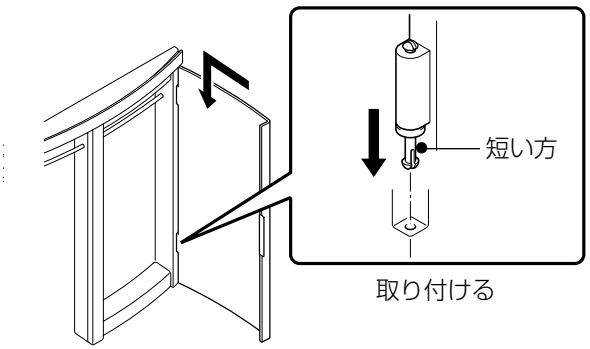
お願い

S字フックをお使いの場合は無理な力や重い物をかけないでください。
※ 安全荷重の目安は3キログラムです。

❶ とびらを上に持ち上げて取り外します。



❷ 取外しと逆の手順で取り付けます。



水栓のお手入れ

⚠ 注意

メタル調シャワーヘッドにキズが生じた場合は、LIXIL修理受付センターに修理、交換を依頼してください。（P.91参照）
※ そのまま使用すると**ケガをする恐れ**があります。

お願い

水栓金具の印字部分（温度表示や切替表示等）にメラミンフォーム（P.43参照）を使わないでください。
※温度表示等の**印字が消える恐れ**があります。

水栓の表面についた石けんカスや水アカを放置すると取れにくくなります。飛び散った泡等はシャワーで洗い流してください。さらに水気をふきとっておくと、水アカの防止になります。

週に１回

浴室用合成洗剤（中性）をスポンジにつけ、汚れを落とし、シャワーで洗い流します。そのとき軽くからぶきをしておくと、より美しく保てます。

月に１回

付着した石けんカスや水アカを、浴室用合成洗剤（中性）または歯みがき粉でこすり落とします。

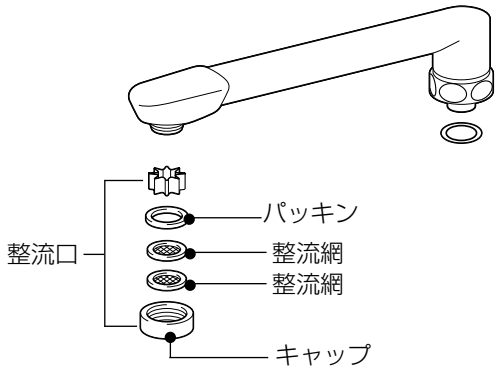
洗剤分が残らないように十分に水洗いし、からぶきします。

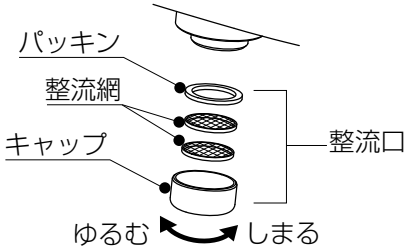
■整流口のお手入れ

半年に１回

手でキャップを回して整流口を取り外し、整流網のゴミ等を取り除きます。その後、水洗いをしてください。

※ 取り付けるときに、整流網を逆向きにしないようにご注意ください。





お手入れ方法/水栓のお手入れ

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら、散水板やストレーナーのお掃除を行ってください。
※散水板やストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき以下の要領でお掃除してください。

■シャワー散水板のお手入れ

詳しくはシャワーの取扱説明書をご覧ください。

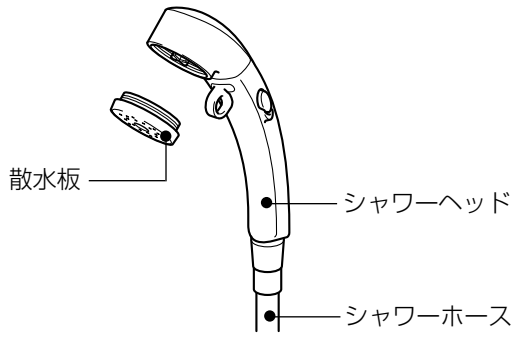
お願い

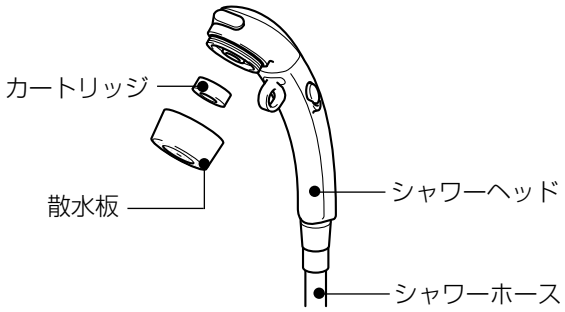
スイッチ付シャワーの場合、シャワーヘッドとシャワーホースは外さないでください。

年に１回

手で散水板を回して取り外し、ため水ですすぎ、ゴミをつまようじ等で洗い流します。

※ 取り外すことのできないシャワーもあります。





ONE POINT ワンポイント

散水板にゴミが詰まりますと、正しい方向に散水されなかったり止水後もポタポタとシャワーヘッドから水が垂れることがあります。この場合はシャワー散水板のゴミをつまようじ等で取り除いてください。

■ストレーナーのお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

ストレーナーをお掃除する際、配管、取付金具等に注意してください。
※ **ケガをしたりヤケドをする恐れ**があります。

ONE POINT ワンポイント

止水栓の開け閉めにより配管中のゴミが流れ出して再度ストレーナーが目詰りする場合があります。
ストレーナーを元に戻す前に止水栓をわずかにあけてゴミを洗い流し、止水栓を閉じてください。

● デッキ定量止水サーモ水栓の場合

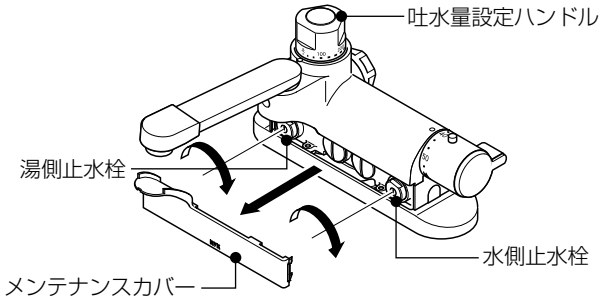
吐水量が少なくなってきたら〈必ず、お手入れしてください〉

❶ 屋外に設置された止水栓を閉じます。

❷ 正面下側にあるメンテナンスカバーを横のツメを持ち手前に引きます。

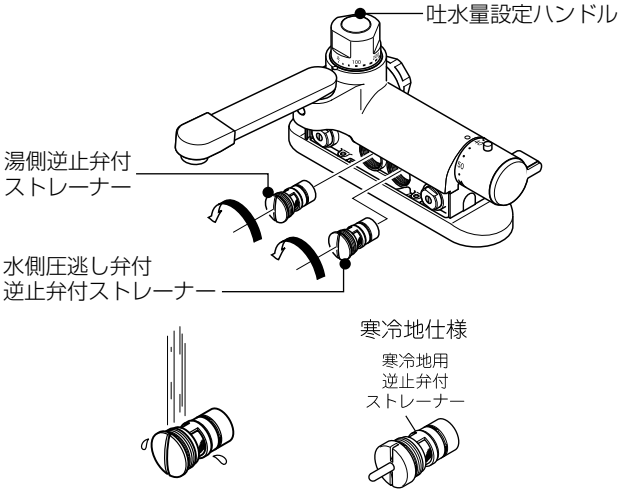
❸ 水栓本体の止水栓2か所をしっかり締めて、湯水が出ないことを確認します。

❹ 逆止弁付ストレーナー2個を取り外し、ゴミ等を取り除きます。



ONE POINT ワンポイント

逆止弁付ストレーナーは、湯側と水側で仕様が異なります。
取り外した際は、湯側と水側を混同しないようにご注意ください。



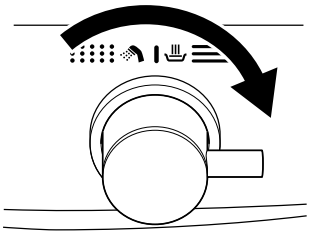
❺ 組付けは逆の手順で行います。逆止弁付ストレーナーを締め込むときは、吐水量設定ハンドルを吐水状態にしてください。

お手入れ方法/水栓のお手入れ

● カウンター埋込サーモ水栓の場合

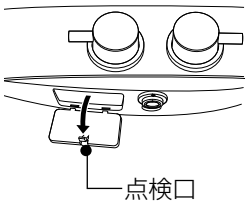
❶ 屋外に設置された止水栓を閉じます。

※ 止水栓を閉じますと、住戸全体の水が止まりますのでご注意ください。安全のため、すべての水栓は閉じておいてください。

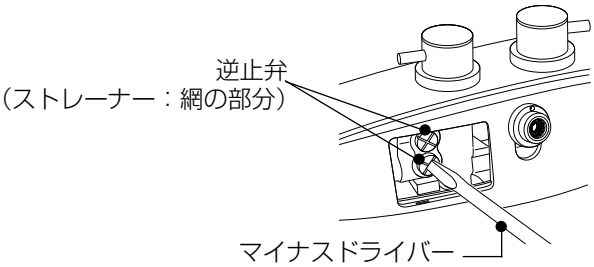


❷ シャワー・バス切替ハンドルを吐水側（ ）いっぱいに回します。

❸ カウンターの点検口を開きます。

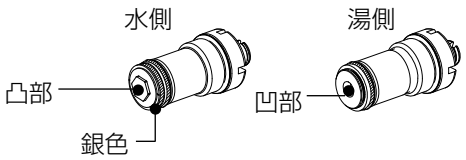


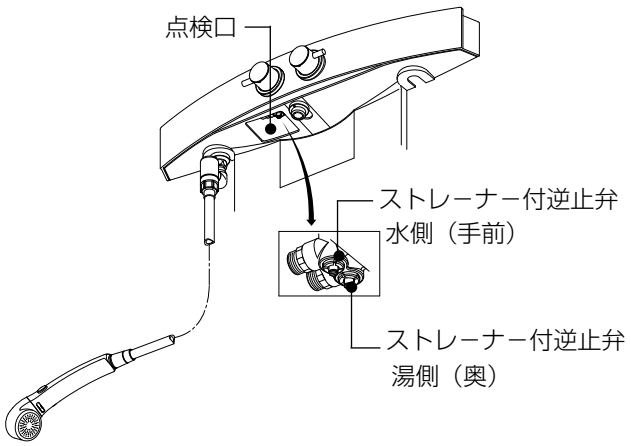
❹ 大型のマイナスドライバー等でストレーナー付逆止弁を取り外し、ストレーナーのゴミを歯ブラシ等で取り除きます。ストレーナーは、湯側（左）と水側（右）の両方に付いています。



❺ 組付けは湯側のストレーナーを奥に取り付けた後、水側のストレーナーを手前側に取り付けてください。シャワー・バス切替ハンドルを「I」位置に合わせ、屋外に設置された止水栓を元の位置に戻し通水します。

ストレーナーの見分け方



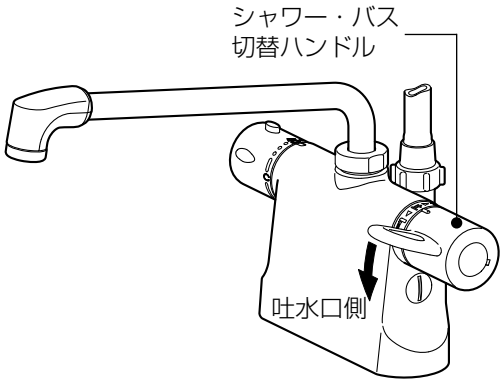


お手入れ方法/水栓のお手入れ

● デッキサーモ水栓の場合

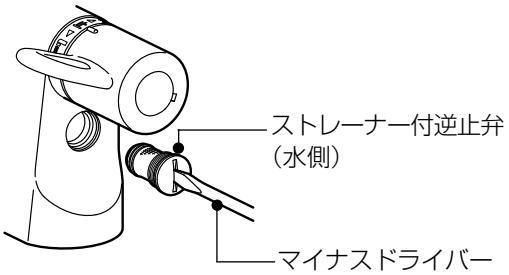
❶ 屋外に設置された止水栓を閉じます。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを吐水側いっぱいに回すことで圧力抜きを行い、再度「止」位置に戻します。



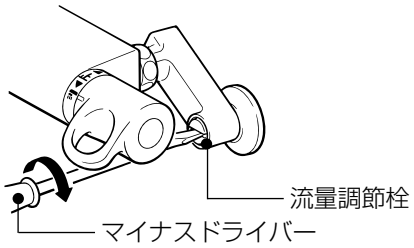
❸ 大型のマイナスドライバー等でストレーナー付逆止弁を取り外し、ストレーナーのゴミを歯ブラシ等で取り除きます。ストレーナーは、湯側（左）と水側（右）の両方に付いています。

❹ 組付けは逆の手順で行い、屋外に設置された止水栓を元の位置に戻し通水します。



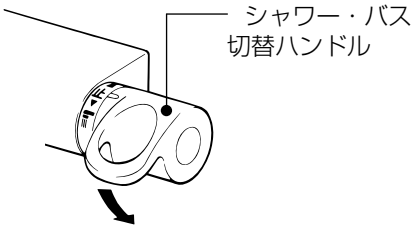
● 壁付サーモ水栓の場合

❶ 湯側（左）と水側（右）の流量調節栓をマイナスドライバー等で時計回りいっぱいねじ込みます。



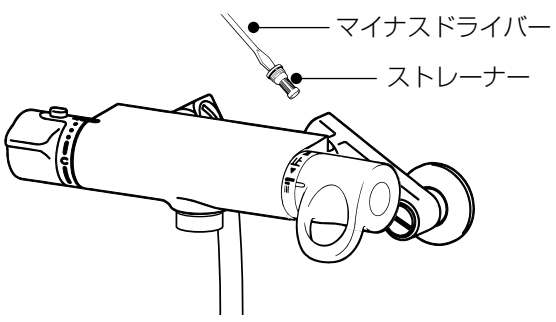
❷ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。

※ 止水されていることを確認してください。



❸ 大型のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を歯ブラシ等で取り除きます。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。

❹ 組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。



■冬期凍結の恐れがある場合

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

浴槽側水栓の水抜方法

● シングルデッキ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ レバーハンドルを上げます。

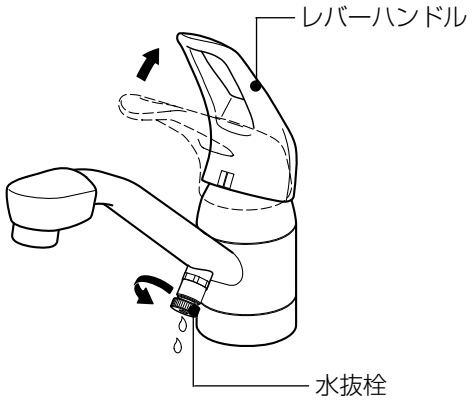
❸ 水抜栓を開けます。

❹ レバーハンドルを全開状態で数回、水側から湯側まで回します。

❺ 水栓の水が抜けたら、レバーハンドルを閉めます。

※ 開けたまま放置するとレバーハンドルを閉止できなくなることがあります。もしも凍結した場合は、無理な操作をせず自然解凍してください。

※ 再通水前には水抜栓を閉めてください。



● デッキ定量止水サーモ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ 水栓本体の止水栓（2か所）を締めます。

❸ 吐水量設定ハンドルを吐水状態にします。

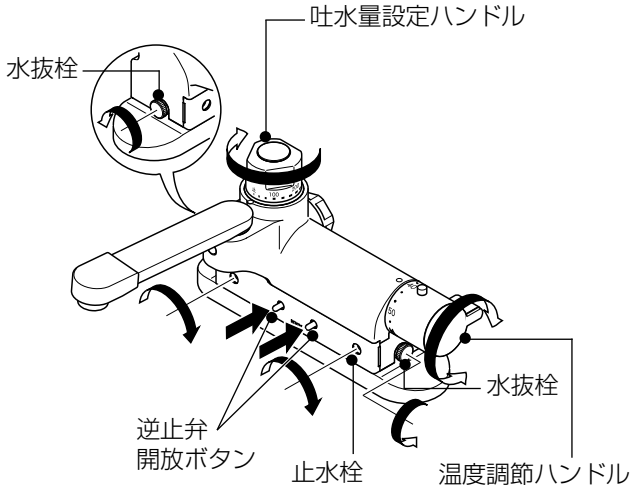
❹ 逆止弁開放ボタン（2か所）を押します

※ 逆止弁開放ボタンは通水時、自動復帰します。

❺ 水抜栓（2か所）を開けます。

❻ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

※ 再通水前には水抜栓を閉めてください。



洗い場側水栓の水抜方法

● スイッチシャワー止水バルブの開放（スイッチシャワー付の場合）

❶ シャワーヘッドをシャワーフック付スライドバー上端で固定します。スイッチシャワーの吐出スイッチ（青色）を押して、シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー』側へ回し、シャワーヘッドから水を出します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを止水位置に戻します。

● カウンター埋込サーモ水栓の水抜方法

❶ 配管の水抜栓を操作します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー』側に回します。

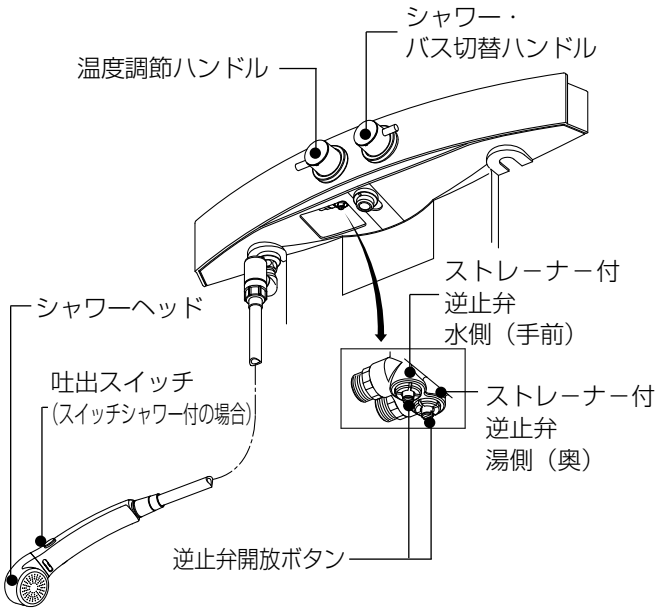
❸ 本体の逆止弁開放ボタン（2か所）を押します。

❹ 温度調節ハンドルを数回「C」側いっぱいから「45」側いっぱいまで回します。

❺ シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口』側に回します。

❻ シャワーヘッドを振って十分に水を切り、床に置きます。

※ 再通水前にはシャワー・バス切替ハンドルを止水位置「I」に回してください。



● デッキサーモ水栓の水抜方法

まず水栓外に設置されている湯側と水側配管途中の止水栓を閉じてください。

❶ 配管の水抜栓を操作します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『吐水口』側に回します。

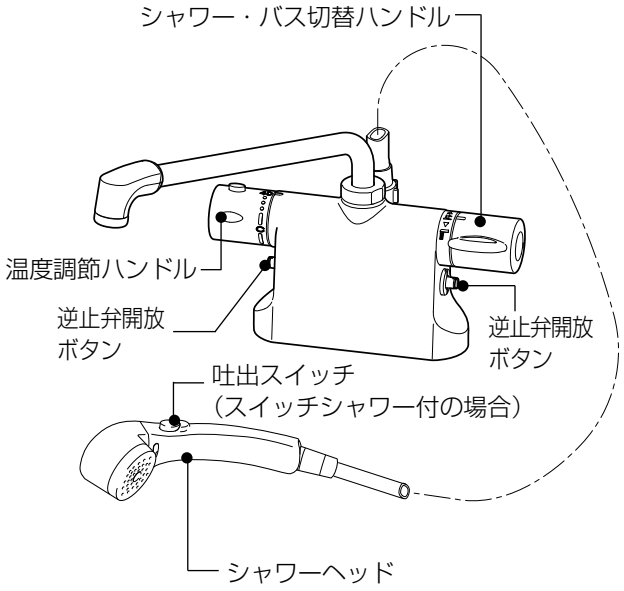
❸ 逆止弁開放ボタン（2か所）を押します。

❹ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❺ シャワー･バス切替ハンドルを『シャワー』側に回します。

❻ シャワーヘッドを振って水をよく切り、床に置きます。

※ 再通水前には、水栓外に設置された配管途中の止水栓を元の位置に戻してください。



お手入れ方法/水栓のお手入れ

● 壁付サーモ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。

❸ 温度調節ハンドルを「C」側いっぱいに回します。

❹ 本体の水抜栓を開けます。

❺ シャワーヘッドを最上段のシャワーフックにかけたまま、シャワー・吐水口切替ハンドルをシャワー側（上）に回します。

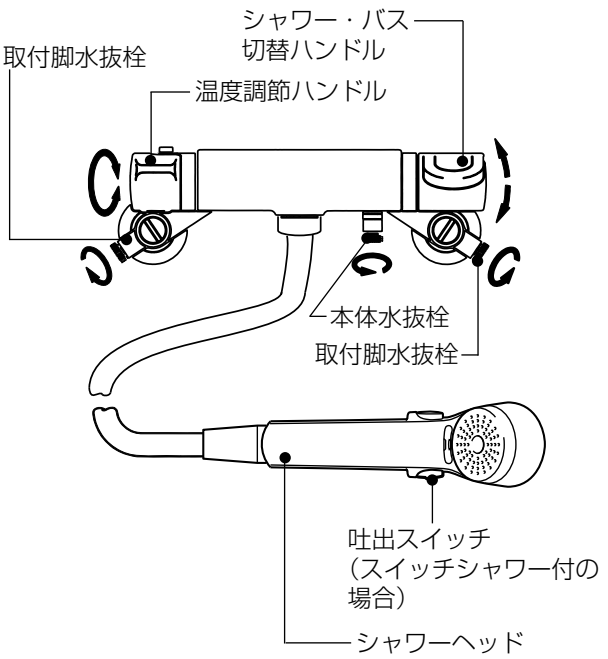
❻ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❼ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。

❽ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❾ シャワーヘッドを振って水をよく切り、シャワーヘッドをキズつけないよう注意して床に置き、水を排出します。

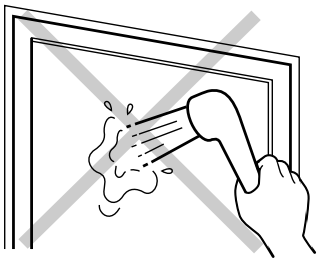
※ 再通水前には水抜栓（3か所）を閉めてください。



ドアのお手入れ

日常

飛び散ったシャンプー・リンス・石けんの泡をしめらせた布でふきとります。
このとき、ドアパッキンはカビが発生しやすいので、水分をよくふきとることをお勧めします。



※ ドアを洗う時に、ドアに直接水をかけないでください。ドア外へ水が飛散する場合があります。

※ ドア枠にたまったゴミはこまめに取り除いてください。キズの原因となります。

汚れが目立ってきたら

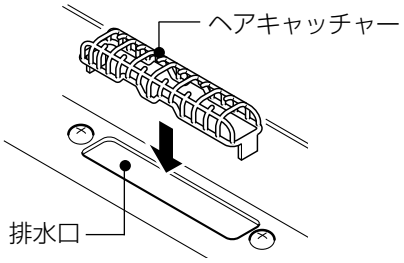
ドアやドアの下、ドアのまわりのパッキン等の汚れがひどい場合は、浴室用合成洗剤（中性）を薄めて歯ブラシ等につけ、洗ってください。

洗剤分が残らないように、湿らせた布でよくふきとってください。

※ ガラリ部分（空気取入口）も目詰まりしないよう、こまめに掃除機等で吸い取ってください。

■ドアのとびら下排水口について

ドアのとびら下排水口には、ヘアキャッチャーがついています。排水口のお掃除の際は、ヘアキャッチャーを取り外してゴミを取り除いてください。お掃除の後は、ヘアキャッチャーを忘れずに取り付けてください。



※ ヘアキャッチャーのツメを排水口に確実に取り付けてください。

※ 下枠部には浴室用合成洗剤（中性）以外は使用しないでください。
排水部品が損傷し、漏水の原因になります。

※ 下枠溝にたまったゴミは毛先の柔らかな使い古しの歯ブラシ等を使って取り除いてください。

※ ゴミは排水口へは、流さないでください。
排水管が詰まり、浴室外側への漏水の原因となります。

※ 下枠部のお掃除は週に1回程度は行ってください。

※ ヘアキャッチャーは誤って排水口に落としたりなくしたりしないよう注意してください。

お手入れ方法/ドアのお手入れ

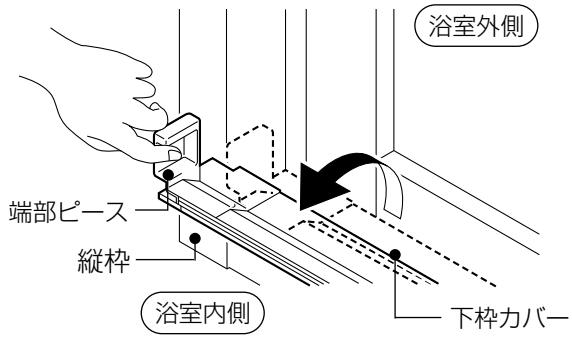
■ドアの排水溝のお手入れ

● 折り戸（親子折り戸共通）の下枠カバーの着脱方法

❶ ドアを閉めます。

❷ 端部ピースに指先をかけて、下枠カバーを外します。

❸ 取り付ける際は、逆の要領で行ってください。



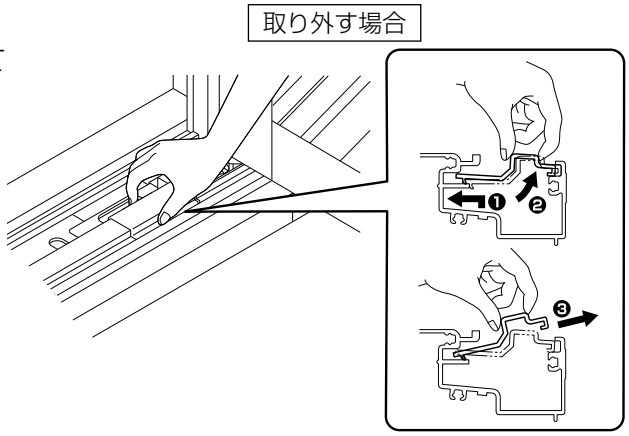
● 開き戸（親子開き戸・スタイリッシュ開き戸共通）の下枠カバーの着脱方法

❶ ドアを閉めます。

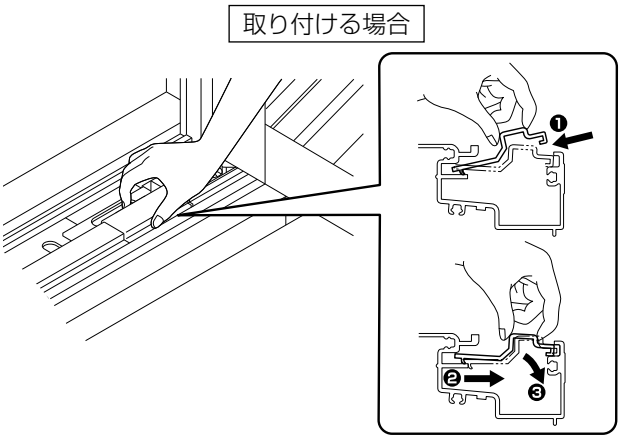
❷ 下枠カバーをつまんで浴室外側をもち上げてスライドします。

❸ 浴室内側を引き上げます。

❹ 浴室内側へ向けて取り外します。



❺ 取り付ける際は、逆の要領で行ってください。



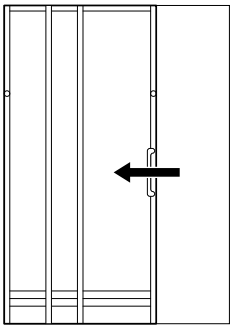
⚠ 注意

3枚引き戸は下枠カバーを外した状態でとびらを動かさないでください。
※ とびらが外れて**ケガをする恐れ**があります。

下枠カバーはお掃除の後、すぐに取り付けてください。
※ 取り外したままにすると**転倒事故の原因**となります。

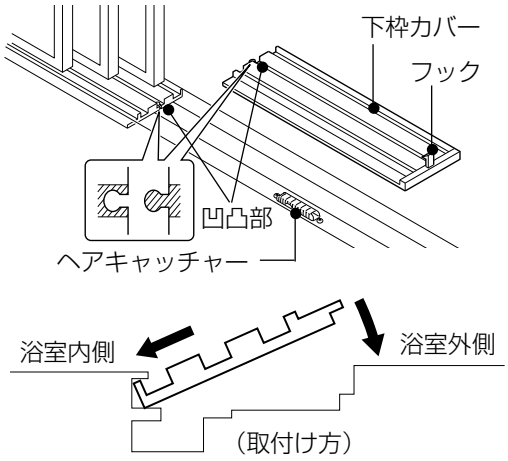
● 3枚引き戸の下枠カバーの取外方法

❶ とびらを片側によせます。



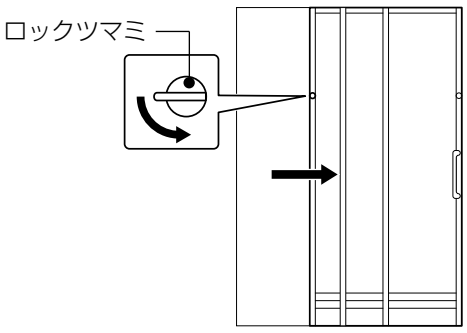
❷ 下枠カバーを取り外します。
下枠カバーのフックに指をかけて引き上げ、浴室外側に取り外し、レールやドア枠のゴミを取り除いてください。

※ お掃除の後は、取外しと逆の手順で浴室内側から取り付けてください。このとき、位置合わせの凹凸部をはめてください。



❸ 固定側とびらの下枠カバーを同じ手順で取り外し、お掃除してください。

※ 固定側とびらはロックツマミを回して解錠し、片側によせて下枠カバーを取り外してください。

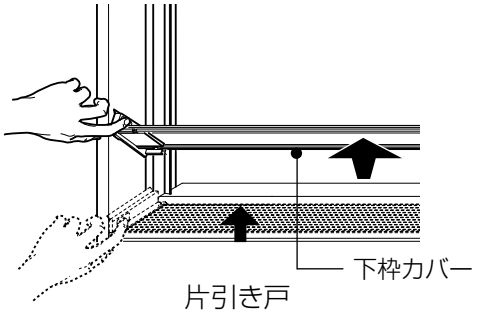


● 片引き戸の下枠カバーの取外方法

❶ ドアをいっぱいまで開きます。

❷ 下枠カバーのフックに指をかけて引き上げて取り外し、レールやドア枠のゴミを取り除いてください。

※ お掃除の後は、取外しと逆の手順で取り付けてください。



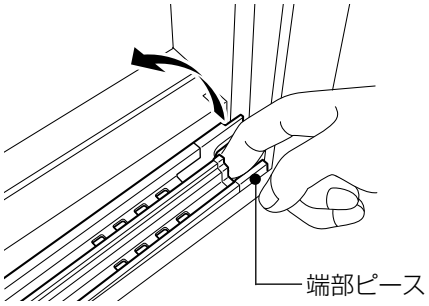
● スタイリッシュ片引き戸の下枠カバーの取外方法

❶ とびらを取り外します。
※ 非常時にとびらを取り外す（P.29）を参照してください。

❷ 下枠カバーの端部ピースに指先をかけて引き上げ、取り外します。
レールやドア枠のゴミを取り除いてください。

※ 取り除いたゴミ等は、直接流さないでください。排水管詰まりの原因になります。

❸ お掃除の後は、取外しと逆の手順で取り付けます。



照明のお手入れ

⚠ 警告

ランプの交換以外の照明器具の分解や照明器具の改造は絶対に行わないでください。
※ **感電や火災、ショート、故障の恐れ**があります。

ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
※ **火災の恐れ**があります。

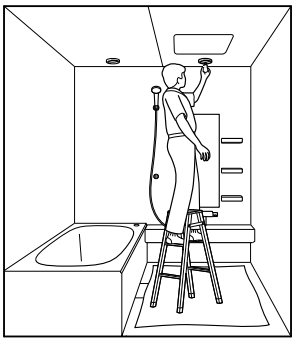
ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
※ **感電やショートする恐れ**があります。

照明カバーを外したり、破損したままで使わないでください。
※ **感電したりランプが割れてケガをする恐れ**があります。

ランプおよびゴムパッキン、キャップ等の部品は確実に取り付けてください。
※ **感電、ケガ、故障、動作不良の恐れ**があります。

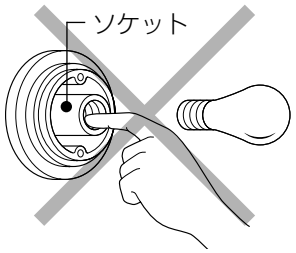
⚠ 注意

ランプの交換は高いところでの作業になります。足場に十分ご注意ください。
浴槽の上に乗って作業をしないでください。
※ **ケガをする恐れ**があります。



照明カバーは確実に取り付けてください。
※ 落下して**ケガをする恐れ**があります。

ソケット内部を布等でお手入れしたり、指を入れないでください。
※ **故障や感電の恐れ**があります。



ソケットに無理な力や衝撃を加えないでください。
※ **破損や故障の恐れ**があります。

ランプが切れてもすぐに交換しないでください。
※ 器具やランプが熱くなっており、**ヤケドをする恐れ**があります。

汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきます。

湿らせた布で洗剤をふきとってください。

※ 硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。キズがつく恐れがあります。

■照明用ランプのおとりかえ

電源スイッチを入れても照明がつかない場合はランプが切れていることが考えられます。
電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

お手入れ方法/照明のお手入れ

● 壁付照明・天井付照明の白熱ランプの交換方法

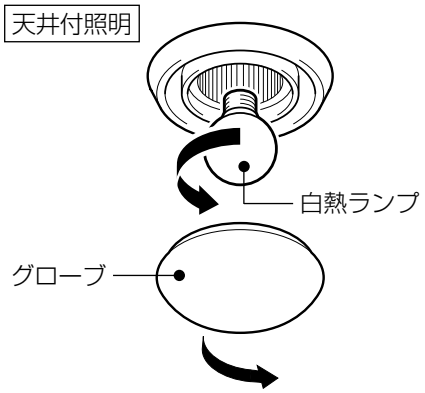
❶ 照明スイッチを切り、器具やランプが十分冷めるまで待ちます。

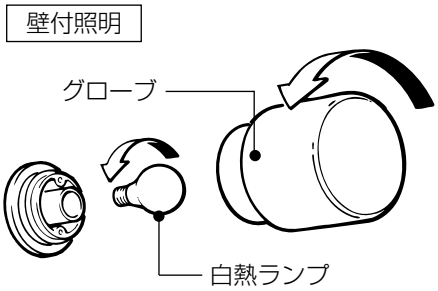
❷ グローブを左に回して取り外します。

❸ ランプを取り外し、新しいランプ（白熱ランプ）に交換します。

❹ グローブを右に回してしっかりと取り付けます。壁付照明のブラケット型および角型照明の場合は、上面が水平になるように取り付けます。

❺ 照明スイッチを入れて点灯することを確認します。





⚠ 警告

指定されたランプ以外（反射形ランプ等）は使用しないでください。
必ず本体表示をご確認ください。
※ **火災の恐れ**があります。

ランプ名称	ランプ品番
ホワイト電球 60W形54W	LW100V54W

● 天井付照明の蛍光ランプの交換方法

⚠ 注意

蛍光灯照明器具には白熱灯を取り付けないでください。
※ **火災の原因**になります。

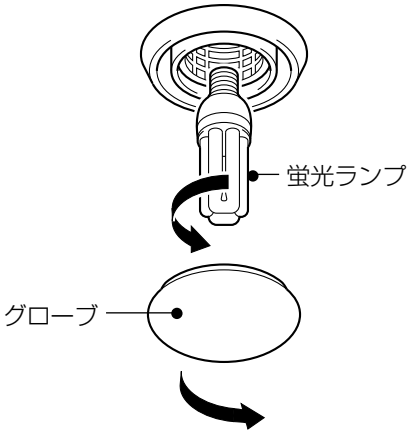
❶ 照明スイッチを切り、器具やランプが十分冷めるまで待ちます。

❷ グローブを左に回して取り外します。

❸ ランプを取り外し、新しいランプ（蛍光ランプ）に交換します。

❹ グローブを右に回してしっかりと取り付けます。

❺ 照明スイッチを入れて点灯することを確認します。



⚠ 警告

指定されたランプ以外（白熱ランプ等）は使用しないでください。
必ず本体表示をご確認ください。
※ **火災の恐れ**があります。

ランプ名称	ランプ品番
電球形蛍光ランプ（D形）22W形	EFD25EL/21

● ダウンライトの白熱ランプの交換方法

⚠ 注意

固定クリップのツマミ部分が本体内側にありますので注意してください。
固定クリップの位置は動かさないでください。
※ 本体が天井から外れて**ケガをする恐れ**があります。

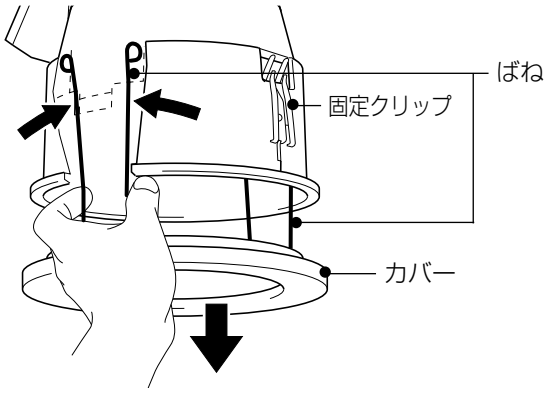
❶ 照明スイッチを切り、器具やランプが十分冷めるまで待ちます。

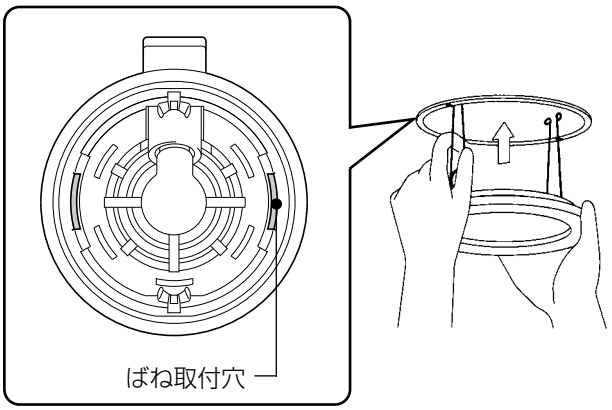
❷ カバーを引き下げ、ばねをせばめながら取り外します。

❸ ランプを取り外し、新しいランプ（白熱ランプ）と交換します。

❹ カバーのばねをせばめながら照明内のばね取付穴に差し込み、カバーを上方に押し上げてすき間がないように固定します。

❺ 照明スイッチをONにして点灯することを確認してください。





⚠ 警告

指定されたランプ以外（反射形ランプ等）は使用しないでください。
必ず本体表示をご確認ください。
※ **火災の恐れ**があります。

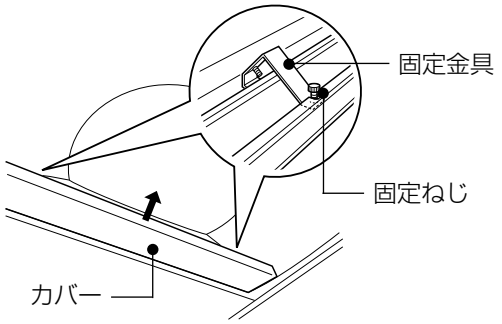
ランプ名称	ランプ品番
ミニクリプトン電球 60W形54W（E17口金）	LDS100V54W（ホワイト）

お手入れ方法/照明のお手入れ

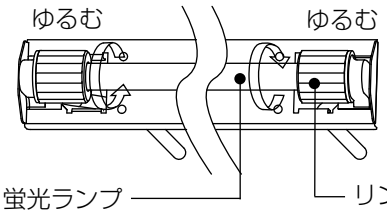
● ドームアップ天井用間接照明の蛍光ランプの交換方法

❶ 照明スイッチを切り、器具やランプが十分冷めるまで待ちます。

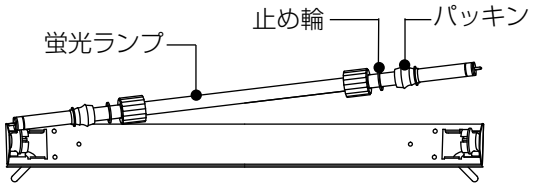
❷ 照明カバー裏2か所にある固定ねじをゆるめて外し、照明カバーを両手でゆっくりと手前にスライドさせて取り外します。



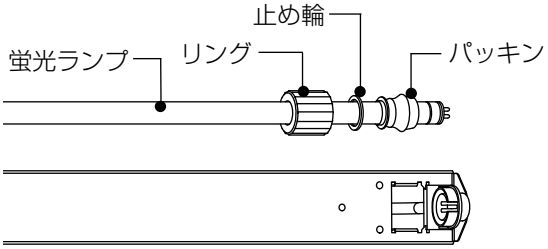
❸ 蛍光ランプ左右にあるリングをゆるめます。



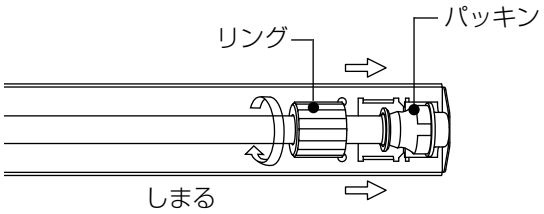
❹ リングの中にある止め輪、パッキンをずらし、蛍光ランプを外します。



❺ 新しい蛍光ランプにリングと止め輪、パッキンを付け替え、蛍光ランプの端子をソケットのミゾに合わせて取り付けます。

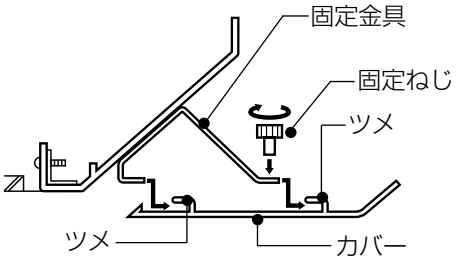


❻ パッキンがソケットに当たるまでずらし、止め輪を押し当てリングをきちんとねじ込みます。



❼ 取外しと逆の手順で取り付けます。
※ 照明カバーのツメ部分に固定金具がしっかりとはめ込まれていることを確認してから固定ねじを締め込みます。しっかりとはめ込まれていないとカバーが垂れていたりガタつきますので、触って確認してください。

❽ 照明スイッチをONにして点灯することを確認してください。



⚠ 警告

指定されたランプ以外は使用しないでください。必ず本体表示をご確認ください。
※ **火災の恐れ**があります。

ランプ名称	ランプ品番
高周波点灯専用細形蛍光ランプ　24W形	FHF24SEN

換気扇・暖房機のお手入れ

※ 製品により形状が異なる場合があります。代表的なお手入れ方法を説明しておりますので、詳しくは各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。
※ 当社の換気扇以外については各機器の取扱説明書をご確認ください。

⚠ 警告

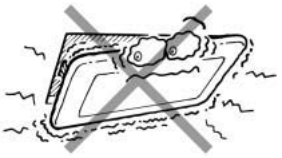
修理技術者以外の人は、絶対にフロントカバー以外は分解したり修理・改造は行わないでください。
※ **発火したり異常動作してケガをする恐れ**があります。

換気扇や暖房機のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
※ **感電やケガをする恐れ**があります。

⚠ 注意

換気扇や暖房機に水をかけないでください。
※ **故障や漏電する恐れ**があります。

フロントカバーやフィルターは確実に取り付けてください。
※ 落ちて**ケガをする恐れ**があります。



高い所での作業になります。
ホコリの落下と足場には十分にご注意ください。
浴槽やカウンターの上にのって作業をしないでください。
※ 転倒して**ケガをする恐れ**があります。

暖房機の場合、運転停止後はすぐにヒーター等本体にふれないでください。
※ **ヤケドをする恐れ**があります。

ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※ **ケガをする恐れ**があります。

お手入れ方法/換気扇・暖房機のお手入れ

■換気扇の場合

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、お手入れしてください。

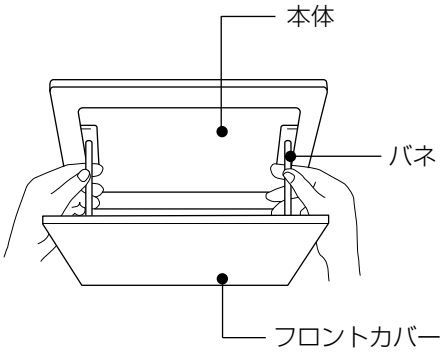
⚠ 注意

本体・スイッチに直接お湯や水をかけないでください。
※**漏電や故障、カビ等の恐れ**があります。

お願い

本体内部のファン等機械部分に無理な力をかけないでください。
※**故障の原因**となります。

月に１度



❶ 運転を停止し、フロントカバーを外します。

❷ 乾いたやわらかい布、または、ぬるま湯に浸し、かたく絞った布で汚れをふきとってください。

❸ フロントカバーを元通りに取り付けます。

※ フロントカバーは確実に取り付けてください。不確実ですと落下する恐れがあり危険です。

汚れが目立ってきたら

浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきます。

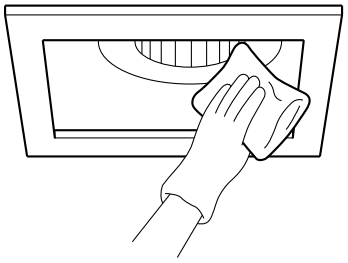
湿らせた布で洗剤をふきとってください。

フロントカバーを元通りに取り付けます。
※ フロントカバーは確実に取り付けてください。
不確実ですと落下する恐れがあり危険です。

● 本体

フロントカバーや羽根にホコリ等が付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。

月に１回



❶ 電源（分電盤のブレーカー）を切り、フロントカバーを外します。

❷ 浴室用合成洗剤（中性）を適量薄めて含ませてかたく絞った布でふきとります。
その後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふきとってください。

❸ フロントカバーを元通りに取り付けます。
※ フロントカバーは確実に取り付けてください。不確実ですと落下する恐れがあります。

お手入れ方法/換気扇・暖房機のお手入れ

■換気乾燥暖房機・洗面室暖房機の場合

当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、お手入れしてください。

⚠ 注意

本体・スイッチに直接お湯や水をかけないでください。
※漏電や故障、カビ等の恐れがあります。

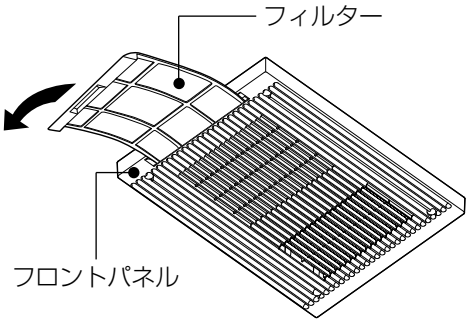
● **フィルター**（フィルターのない機種もあります。）

フィルターにゴミやホコリがたまると性能が低下します。

月に１度

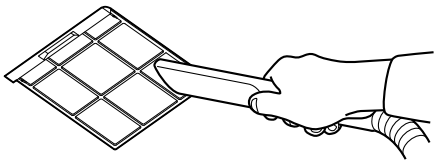
❶ 運転を停止し、吹出し口周辺が十分冷めるまで待ちます。

❷ フィルターの取っ手を引っ張りフィルターを取り外します。



❸ フィルターについているホコリは掃除機で吸い取ります。

❹ フィルターを元通りに取り付けます。



汚れが目立ってきたら

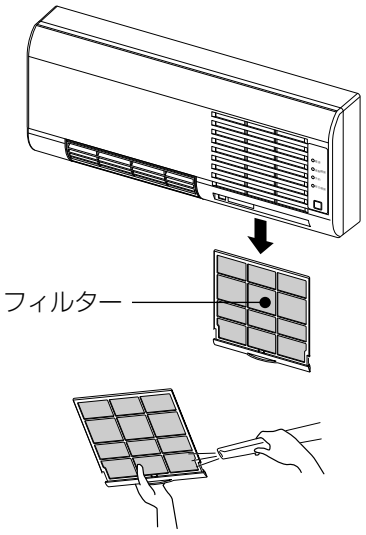
❶ 運転を停止し、吹出し口周辺が十分冷めるまで待ちます。

❷ フィルターの取っ手を引っ張りフィルターを取り外します。

❸ 浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄め、浸して軽く洗います。

❹ 湿らせた布で洗剤をふきとってください。

❺ フィルターを元通りに取り付けます。



お手入れ方法/換気扇・暖房機のお手入れ

● 本体、リモコン

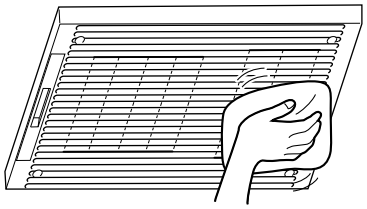
⚠ 注意

本体・スイッチに直接お湯や水をかけないでください。
※漏電や故障、カビ等の恐れがあります。

月に１度

❶ 運転を停止し、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。

❷ 乾いたやわらかい布、または、ぬるま湯に浸し、かたく絞った布で汚れをふきとってください。

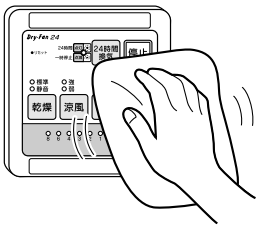


汚れが目立ってきたら

❶ 運転を停止し、吹出口周辺が十分冷めるまで待ちます。

❷ 浴室用合成洗剤（中性）を適量に薄めてやわらかい布やスポンジに含ませて、やさしくふきます。

❸ 湿らせた布で洗剤をふきとってください。



メンテナンス時の点検口の取外し

電気配線や配管関係等の点検・修理の際に電気・設備工事業者様へお知らせください。

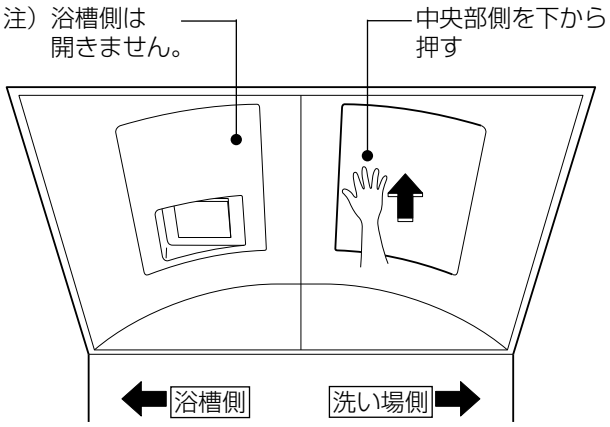
⚠ 注意

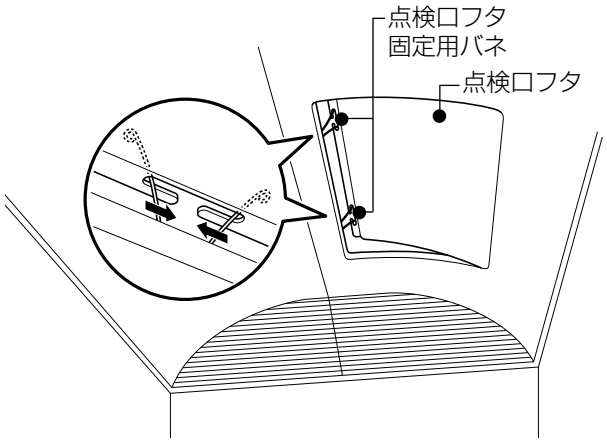
点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。
※ **火災・感電や天井破損の恐れ**があります。

点検口フタ固定用バネは、必ず掛けてください。
※ 点検口フタが落ちて**ケガをする恐れ**があります。

■ハイドーム天井の場合

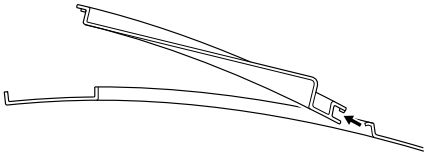
❶ 洗い場側点検口フタの中央よりを押し上げ、点検口フタを固定しているバネを内側につまんで、点検口フタから外します。





❷ 点検口フタを天井中央側にスライドさせると点検口フタが外れます。

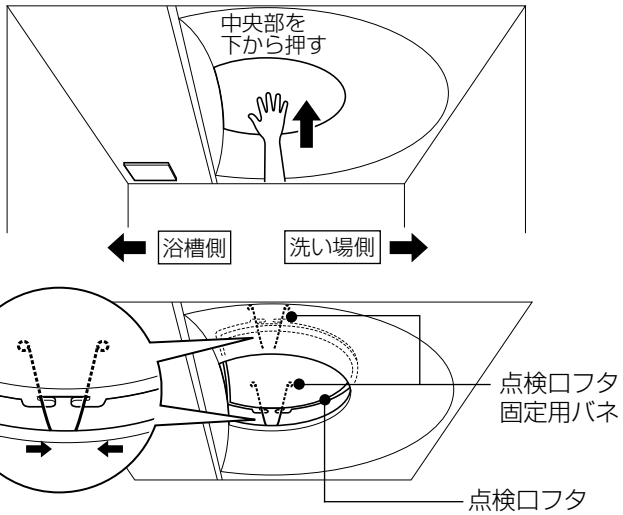
❸ 点検口を再び取り付ける際は❶❷と逆の手順で取り付けます。



お手入れ方法/メンテナンス時の点検口の取外し

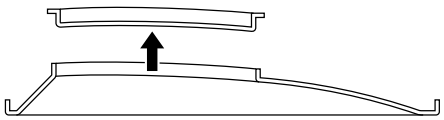
■ドームアップ天井の場合

❶ 洗い場側点検口フタの中央部を押し上げ、点検口フタを固定しているバネを内側につまんで、点検口フタから外します。



❷ 点検口フタを押し上げると外れます。

❸ 点検口を再び取り付ける際は❶❷と逆の手順で取り付けます。

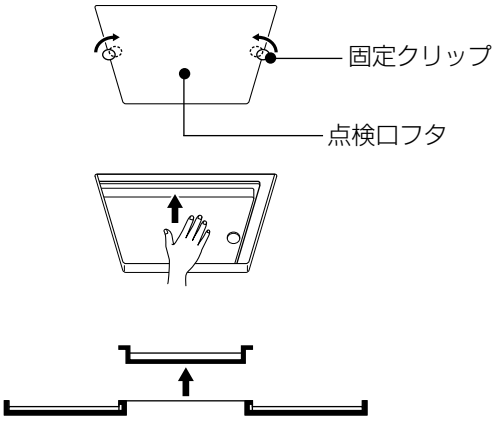


■平天井の場合

❶ 固定クリップを点検口側に回します。

❷ 天井点検口を押し上げます。

❸ 点検口を再び取り付ける場合は、点検口フタを天井にのせ、固定クリップを天井側に回します。



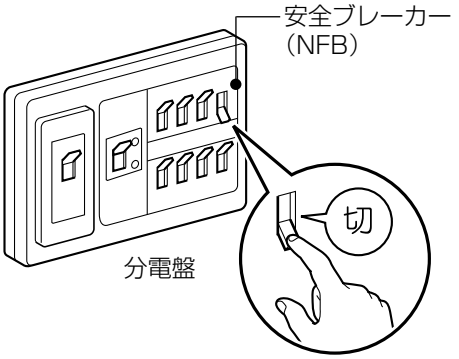
故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に

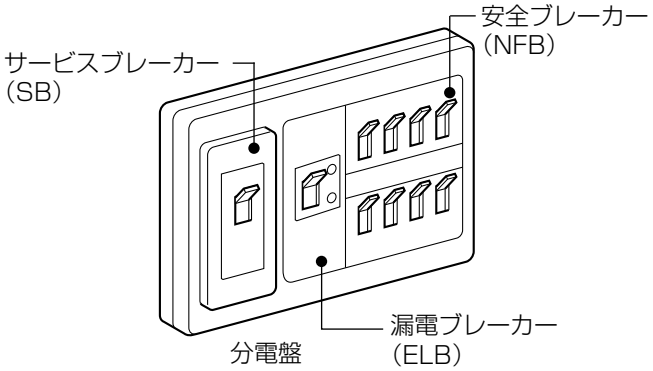
⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ **発火したり、異常作動してケガをする恐れ**があります。
※ 異常のまま運転を続けると**火災や漏電・漏水の恐れ**があります。

浴室周辺で異臭や異常音がする場合は、電気器具のスイッチおよび分電盤の安全ブレーカーを切り、すみやかに修理を依頼してください。
※ 異常のまま運転を続けると**火災や漏電の恐れ**があります。



浴室の電気器具とつながった分電盤のブレーカーが作動した場合は、使用を中止し、すみやかに修理を依頼してください。
※ **浴室の電気器具等に異常がある恐れ**があります。作動したブレーカーを入れ直してご使用を続けた場合、**火災や漏電等の重大故障の恐れ**があります。



商品が故障したらP90の「故障かな？と思ったら」を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合は当社お客さま相談センターにご相談ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら

部　位	現　象	原　因	確認・対応方法	参照ページ	
床	モザイクパターンの一部に水が流れない場所がある	モザイクパターンに汚れが付着している	モザイクパターンに沿って床をお掃除します	50	左記の対応をしても直らないときは、修理を依頼してください
床排水口	洗い場に流したお湯がなかなか排水されない	排水トラップまたはヘアキャッチャーが目詰まりしている	排水トラップまたはヘアキャッチャーのお掃除をします	52～59	
	排水口から異臭がする	封水筒が外れている（スタンダード排水口）	封水筒を正しく設置します	52	
		防水キャップが外れている（くるりんポイ排水口）	防臭キャップを正しく取り付けます	59	
		排水口内にゴミがたまっている	排水口内のゴミを取り除き、汚れがあればお掃除します	52～59	
追いだき口	湯沸し機能が正しく働かない	追いだき口のフィルターが毛髪等で目詰まりしている	フィルターのお掃除をします	46	
天井	音が発生する	ドーム天井の樹脂成型天井は材料の特性上、ご使用の条件（冬期における暖房機の使用や浴室使用後の窓開放等）により音が発生する場合がありますが、故障につながるものではありません		－	
	天井点検口がガタついている	天井点検口が固定されていない	天井点検口を固定します	87、88	
ドア	ドアが開かない	ドアが施錠されている	ドアを解錠します	21～25	
	ドアが閉らない	下枠カバーが正しく取付けられていない	下枠カバーを正しく取り付けます。	76～78	
	ドア下枠から脱衣室側へ水が出る	とびら下排水口に毛髪、ゴミがたまっていて、水が排水口へ流れない	とびら下排水口のゴミを取り除きます	75	
		排水トラップの逆流防止弁（スタンダード排水口）／逆流防止部材（くるりんポイ排水口）にゴミがたまり、目詰まりしている	逆流防止弁（スタンダード排水口）／逆流防止部材（くるりんポイ排水口）のゴミを取り除きます	53/58	
浴槽	お湯がたまらない（翌朝浴槽水が減っている）	排水栓、排水コアが正しく取り付いていない	排水栓および排水コアを正しく取り付けます	47、48	
	排水に時間がかかる	排水口、排水コアに毛髪、ゴミがたまっている	排水口、排水コアのゴミを取り除きます	47、48	
	次の方が入った時にはお湯が冷めている	風呂フタをしてないため、湯が冷めやすい	風呂フタをします	6	
プッシュワンウェイ排水栓	ボタンの動きが悪い	押ボタンが汚れたり、ゴミがたまっている	押ボタンをお掃除します	48	
水栓	水（湯）の出が悪い	ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのお掃除をします	69～71	
		給湯の能力が不足している	浴室以外でできるだけ同時にお湯を使わないようにします	－	
	湯温が上がらない、または一定にならない	給湯器の温度設定が低い	給湯器の設定温度を、使用する最高温度より10℃以上高く設定します	－	
		水栓からの吐水量が少なく、給湯器が着火していない	水栓からの吐水量を多くします	－	
		給湯の能力が不足している	浴室以外でできるだけ同時にお湯を使わないようにします	－	
		ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのお掃除をします	69～71	
		サーモスタット水栓の温度調節がズレている	温調ハンドルの設定をしなおします（水栓の取扱説明書をご覧ください）	15～17	
		キッチンや洗面所等他の場所でお湯を使っている	他の場所の流量をしぼります	－	
シャワー	止水後、数秒間シャワーヘッドからポタポタ水が垂れる	シャワーヘッド内の残留水によるものです。水栓の止水不良ではありません。	シャワーフックに戻す場合はシャワーヘッド内の残留水を良く切ってから戻してください	18～20	
収納	収納がガタつく	収納棚が正しく固定されていない	収納棚を正しく固定します	65	
照明	照明が点灯しない	ランプがソケットにしっかりとはまっていない	ランプをソケットに確実にはめます	79～82	
		ランプの寿命が切れている	ランプを交換します	79～82	
換気扇・換気乾燥暖房機・洗面室暖房機等	こげくさい 本体に異常を感じたら	直ちに停止ボタンを押して運転を終了させ、分電盤のブレーカーを切ってください。（P.89の警告参照） 詳しくは各取扱説明書をご覧ください		－	
給湯器・給湯器のリモコン	こちらの場合は、各取扱説明書をご覧になるか、給湯器メーカーへ連絡してください			－	

故障かな？と思ったら

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店またはLIXIL修理受付センターに修理を依頼してください。

保証期間中の修理	保証期間経過後の修理
保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって有料で修理いたします。料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容	
1.おなまえ・おところ・電話番号	
2.商品名・品番	←表紙裏ページの「対象品番の見方」参照
3.管理ナンバーシールの番号	←表紙裏ページの「対象品番の見方」参照
4.取付年月日	
5.故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）	←P.90の「故障かな？と思ったら」参照
6.訪問ご希望日	

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411

FAX 0120-179-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）

交換部品のご案内

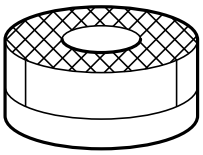
交換部品について

当社では、お客さまご自身で交換可能な部品を用意しております。（有料）
※仕様・価格は変更する場合がありますのでご了承ください。
※価格はすべて税別価格です。

■CC(塩素除去)シャワーのカートリッジ

詳しくは、CC（塩素除去）シャワーの取扱説明書をご覧ください。

交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
CCシャワー交換用 カートリッジ（2個入り）	KS-6E	2,800円



カートリッジは標準的な水道水で約4000L使用できます。
（1日に60L使用した場合、約2ヶ月です。）
次の場合はカートリッジを交換してください。
・ カルキ臭がしてきた時
・ 汚れた水が出たり、カートリッジが著しく汚れた時
・ シャワーの水量が著しく減った時
・ 長時間（夏期1ヶ月、冬期2ヶ月）使用しなかった時
※ 交換時期は使用水量、水質、水圧、水温によって短くなることがあります。

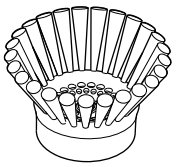
■お掃除シャワーのブラシ

詳しくはお掃除シャワーの取扱説明書をご覧ください。

ブラシには、毛を植えるための金属が埋め込まれています。廃棄される場合は、燃えないゴミとして廃棄してください。

当社では、お客さまご自身で交換可能な部品（ブラシセット）を用意しています。

交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
ブラシセット（2個入り）	SJS-BR1	2,200円

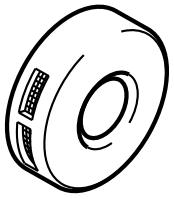


■アクアジェットの安全カバー（ヘアキャッチャー付）

詳しくはアクアジェットの取扱説明書をご覧ください。

ご使用の安全カバーが変形または破損した場合は、アクアジェットのご使用を中止してください。また、アクアジェットを安全にご使用していただくためにも、下記部品をご購入の上正規の状態でご使用ください。

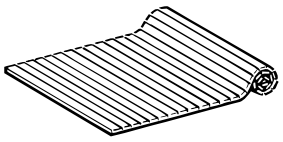
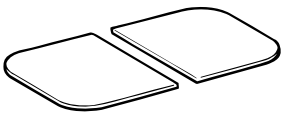
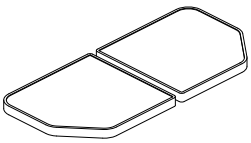
交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
安全カバー （ホワイト）	PJT-CIN121W	990円
安全カバー （ブラック）	PJT-CIN121B	990円



交換部品のご案内

■風呂フタ

ご使用のシステムバスルームサイズによって、適合風呂フタが異なります。下表をご参照の上、お求めください。

	巻フタ		組フタ		サーモバス用組フタ	
						
	交換部品品番	価格(税別・送料別)	交換部品品番	価格(税別・送料別)	交換部品品番	価格(税別・送料別)
1150浴槽（デッキ水栓あり）	BL-SC74110-K	5,200円	YFK-1179B(2)	15,000円	YFK-1179B-D	30,000円
1150浴槽（デッキ水栓なし）	BL-S74112-K	5,200円				
1200浴槽（デッキ水栓あり）	BL-SC74117-K	5,200円	YFK-1279B(2)	16,000円	YFK-1279B-D	32,000円
1200浴槽（デッキ水栓なし）	BL-S74117-K	5,200円				
1600スタンダード浴槽（デッキ水栓あり）	BL-SC72153-K	6,400円	YFK-1679(6)B	19,000円	YFK-1679B-D	36,000円
1600スタンダード浴槽（デッキ水栓なし）	BL-S72153-K	6,400円				
1600オーバルR浴槽*1	BL-SC74150(2)R-K	6,400円	—	—	YFK-1687CR-D	36,000円
1600オーバルL浴槽*2	BL-SC74150(2)L-K	6,400円	—	—	YFK-1687CL-D	36,000円
1600ワイド浴槽（デッキ水栓あり）	BL-SC88153(2)-K	8,000円	YFK-1694B(3)	20,000円	YFK-1694B-D	36,000円
1600ワイド浴槽（デッキ水栓なし）	BL-S88153-K	8,000円				
ラウンドワイド浴槽	—	—	YFK-1698B(2)	22,000円	YFK-1698B-D	36,000円

＊1 正面の鏡に向かって左側に浴槽がある場合
＊2 正面の鏡に向かって右側に浴槽がある場合

■浴槽排水栓

● プッシュワンウェイ排水栓

交換部品名称	交換部品品番	価格(税別・送料別)
排水栓	B21-SVAR2	940円
排水コア	B21-HCR	120円

排水栓

排水コア

● ゴム栓

お客さまご自身で交換される場合は、鎖の付け根にあるリングを外して取り替えてください。浴槽に取り付けてある金具を外すと、お湯が漏れる恐れがあります。

ご使用の床排水トラップによって適合する排水コアが異なります。下表をご参照の上、お求めください。

交換部品名称	交換部品品番	価格(税別・送料別)
ゴム栓	RC-5G-L500	1,100円
排水コア（スタンダード排水口用）	PBF-5H-C2	120円
排水コア（くるりんポイ排水口用）	PBF-5H-MB	150円

ゴム栓

排水コア
（スタンダード排水口用）

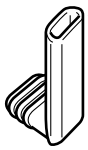
排水コア
（くるりんポイ排水口用）

交換部品のご案内

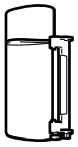
■排水トラップ

取付方法は床排水トラップのお手入れ（P.52～59）を参照してください。

交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
給気エルボ（くるりんポイ排水口用）	QP-1	600円
浴槽逆流防止弁（くるりんポイ排水口用）	DHG-2S	600円

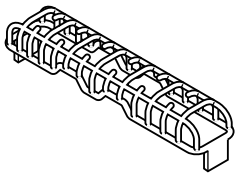


給気エルボ（くるりんポイ排水口用）



浴槽逆流防止弁（くるりんポイ排水口用）

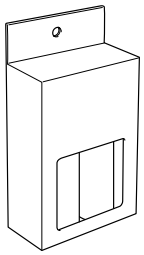
■ヘアキャッチャー（ドアのとびら下排水口）



交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
ヘアキャッチャー	DO-ZDE390	200円

■鏡くもり止めキット

詳しくは同梱の取扱説明書をご覧ください。

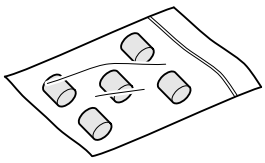


交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
鏡くもり止めキット	MKS-1	3,000円

■スポンジフィルター（洗濯用ふろ水利用システムの部品です。）

スポンジフィルターは、洗っても汚れが取れないときや古くなって使えなくなった場合に、購入時にセットされているスポンジフィルター（5個入り）を定期的に交換し、すべてなくなったら下記部品をご購入ください。

交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
スポンジフィルター（5個入り）	STC-SPN5	800円



■延長カバー（洗濯用ふろ水利用システムの部品です。）

当社では、お客さまご自身で交換可能な部品（延長カバー）を用意しています。

交換部品名称	交換部品品番	価格（税別・送料別）
延長カバー	STC-ELP	3,200円

交換部品のご案内

交換部品の購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
当社商品の販売店でお求めください。	LIXILパーツショップ水回り部品販売窓口の宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） 0120-126-015 受付時間　9：00～17：00 （土、日、祝日、年末年始、夏期休暇を除く）

※ ご必要になりました部品品番やその他ご不明点につきましては、裏表紙のお客さま相談センターにお問い合わせください。

アフターサービスについて

保証と保証期間について

当システムバスルームは、取付日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については2年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、有料による修理とさせていただく場合がございます。詳しくは、保証書（100ページ）をご覧ください。
※機器については、各商品に付属の取扱説明書をご覧ください。

地上デジタルチューナー内蔵浴室テレビをご使用の場合、浴室テレビに付属のB-CASカードは、当社保証の対象外となります。当社にて再発行、交換を行うことはできません。

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、この商品の製造打切後6ヶ年です。保有期間経過後の修理では、該当する部品がない場合がありますのでご承知願います。
※ 補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

定期点検のオススメ（有料）

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをお勧めします。
・ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、入居から2年を経過したもの
・温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
・別荘等、長期間にわたってご使用されていないもの
定期点検については、LIXIL修理受付センターまでご相談ください。
点検料金の内訳は、点検料（技術料）+出張料+部品代（交換した場合）です。

アフターサービスについて

廃棄について

浴室ユニットを廃棄処分する場合には、必ず公的な許可を受けている処理業者様にご依頼いただくようお願い致します。
浴室ユニット廃棄部材の不法投棄等がありました場合は、廃棄の依頼者が法律違反で罰せられます。

詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。
浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

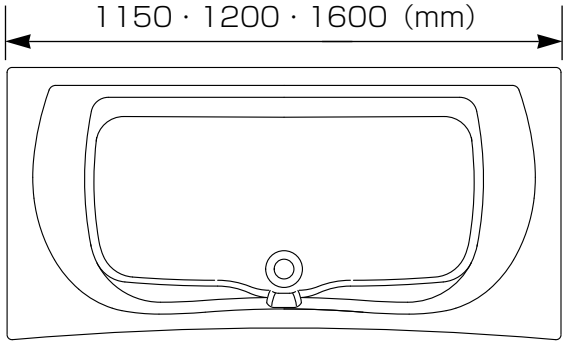
部位	種類	材料
床	—	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
壁	タイル	陶器質、セメント系無機質板、鋼管
	Lパネル	塩化ビニール樹脂金属積層板もしくはポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
天井	平天井	塩化ビニール樹脂金属積層板もしくはポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
	ドーム天井	ポリスチレン
浴槽	イデアトーン	基材…FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）、アクリル樹脂
	シャイントーン	基材…不飽和ポリエステル樹脂、ガラスフリット、FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
	シルフェ	基材…不飽和ポリエステル樹脂、炭酸カルシウム、ガラス繊維
	FRP	炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維
エプロン	—	ポリスチレン
カウンター	—	ABS

浴槽のサイズ・容量について

浴槽のサイズ・容量について

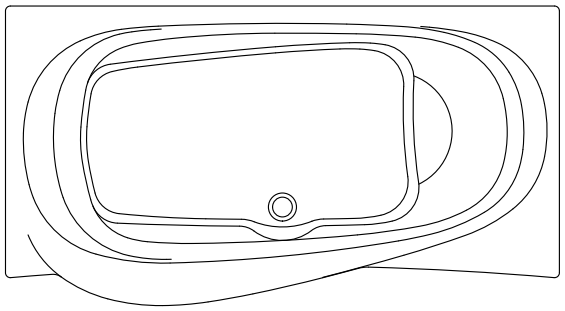
浴槽のサイズによって満水量や実用水量が異なります。実用水量は、実際に入浴後の最大水量の目安で、満水量-60L（成人1人分の容量）にて算出しています。

スタンダード浴槽



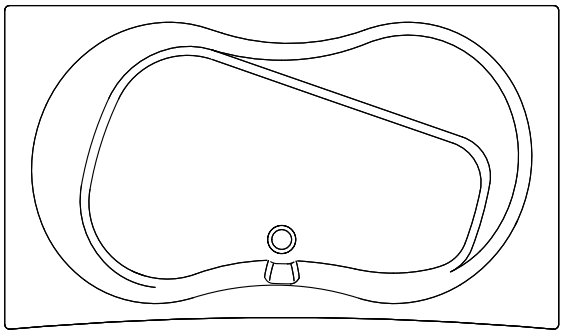
	1150サイズ	1200サイズ	1600サイズ
満水量（L）	240	255	310
実用水量（L）	180	195	250

オーバル浴槽



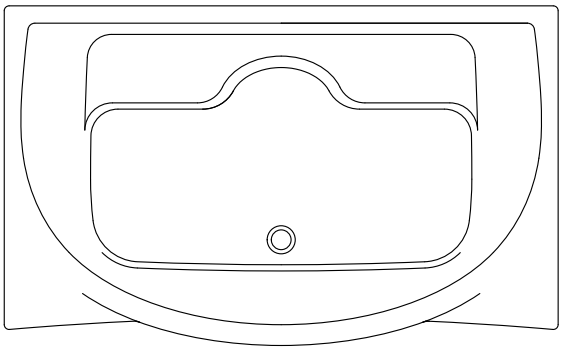
満水量（L）	295
実用水量（L）	235

ワイド浴槽



満水量（L）	355
実用水量（L）	295

ラウンドワイド浴槽



満水量（L）	395
実用水量（L）	335

保　証　書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名	システムバスルーム（PCXシリーズ）		
保証期間	取付日より 2ヶ年 ただし防水性能＊は取付日から 5ヶ年	取付日	年　月　日

＊防水性能とは「壁、床から浴室外部への漏水を防ぐ性能」をいいます。

無効

お客さま	おなまえ　様	取扱店名
	おところ	
	おでんわ （　　）　－	TEL （　　）　－

お客さまへ
- 保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
- お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居等で、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはLIXIL修理受付センターにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
   (1) 用途以外（車両、船舶および使用頻度が極度に高い業務用等）に使用した場合の故障および損傷等の不具合。
   (2) 指定業者や取付説明書等に基づかない取付およびユニットバス取付以外の工事に起因する不具合。
   (3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障および損傷等の不具合。
   (4) 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
   (5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）等製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合。
   (6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆等）または使用に伴う消耗部品の摩耗等により生じる不具合。
   (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガス等各種ガス）に起因する不具合
   (8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫等）の行為または蔓（つる）や根等の植物の害に起因する不具合。
   (9) 天災地変（火災、爆発等事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害等）に起因する不具合による故障および損傷。
   (10) 戦争・暴動等破壊行為または犯罪等の不法行為に起因する破損や不具合。
   (11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かび等の現象。
   (12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物の詰まり等による故障および損傷。
   (13) 水道水以外を給水したことに起因する故障および損傷不具合。（水道水とは水道事業体が供給する上水をいいます。）
   (14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障および損傷。
   (15) 給水・給湯配管のサビ、砂やゴミ等の異物の配管内流入および水アカ固着に起因する不具合。
   (16) ガス・電気・給水等の供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動等）に起因する故障および損傷等の不具合。
   (17) 指定規格以外のガス・電気・燃料等を使用したことに起因する不具合。
   (18) 熱量変更等に伴う調整等。
   (19) 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因する不具合。
   (20) 保証書の期限切れまたは提示がない場合。
   (21) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き換えられた場合。
   (22) 建物完成後、入居までの間の管理等の不備によるもの。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7. 修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

使い方・お手入れ方法等、商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ
TEL 0120-179-400　FAX 0120-179-430
受付時間：平日　9：00～18：00
土日・祝日 9：00～17：00
（ゴールデンウィーク、夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はLIXIL修理受付センターへ
TEL 0120-179-411　FAX 0120-179-456
受付時間：9：00～20：00
（365日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/

株式会社 LIXIL

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターへ

TEL 0120-179-400
FAX 0120-179-430

受付時間　平日　　9：00～18：00
　　土日・祝日　　9：00～17：00
　　（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話等ではご利用になれない場合がございます。
下記番号をご利用ください。
TEL.0562-40-4050　FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は（取扱説明書の「アフターサービスについて」をお読みください。）

お求めの販売店または
LIXIL修理受付センター

TEL 0120-179-411
FAX 0120-179-456

受付時間　9：00～20：00（365日受付）
ホームページアドレス　http://www.lixil.co.jp/support/

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

取扱店

GPU-0207X(14017)

プラ　袋:PE
　　ヒモ:PVC